

区議会年報

〔令和7年版〕

江戸川区議会

目 次

1	議会の構成	
(1)	議員数	1
(2)	議長・副議長	1
(3)	議員名簿〔1/1～12/31〕	1
(4)	会派所属議員及び無所属議員別名簿〔1/1～4/23〕	3
(5)	会派所属議員及び無所属議員別名簿〔4/24～5/25〕	4
(6)	会派所属議員及び無所属議員別名簿〔5/26～12/31〕	5
(7)	会派等の動き	6
(8)	会派役員の動き〔1/1～12/31〕	7
(9)	議席表〔1/1～12/31〕	8
(10)	常任委員会名簿〔1/1～5/25〕	9
(11)	常任委員会名簿〔5/26～12/31〕	10
(12)	議会運営委員会名簿〔1/1～4/23〕	11
(13)	議会運営委員会名簿〔4/24～5/25〕	11
(14)	議会運営委員会名簿〔5/26～12/31〕	11
(15)	特別委員会名簿〔1/1～5/25〕	12
(16)	特別委員会名簿〔5/26～12/31〕	13
(17)	予算・決算特別委員会名簿	14
(18)	区議会広報委員会名簿	14
(19)	附属機関その他委員名簿〔1/1～4/23〕	15
(20)	附属機関その他委員名簿〔4/24～5/25〕	16
(21)	附属機関その他委員名簿〔5/26～12/31〕	17
2	会議の開催状況	
(1)	定例会	18
(2)	臨時会	18
(3)	委員会（月別）	19
(4)	その他の会議（月別）	19
(5)	委員会の審査事項	20
3	議案・報告	
(1)	種類別議決件数	44
(2)	議案の審議結果	45
4	議員提出議案	
(1)	発議案の審議結果	58
(2)	発議案	59
5	一般質問事項一覧	
(1)	第1回定例会	70
(2)	第2回定例会	76
(3)	第3回定例会	82
(4)	第4回定例会	88
6	請願・陳情	
(1)	付託件数	95
(2)	参考送付件数	95
(3)	審査状況	95
(4)	請願・陳情の審議結果	96
(5)	新規付託の請願・陳情	103

7	議会日誌	140
8	議会の刊行物	
	(1) 区議会だより	152
	(2) 会議録	153
9	議会図書室	154
10	議会のホームページ	154
11	予算	155
12	議会事務局	156
13	他区市町村からの視察状況	157

この年報は、令和7年1月1日から令和7年12月31日までの活動状況を収録したものです。

記載内容は特に注記してあるものを除き、令和7年12月末現在です。

◎会派名と略称

会 派 名	略 称		備 考
区議会自由民主党	自民党	自民	7.1.1 ~ 7.12.31
江戸川区議会公明党	公明党	公明	7.1.1 ~ 7.12.31
超党会派えどがわ	超党えどがわ	超党	7.1.1 ~ 7.12.31
無所属の会	無所属の会	無会	7.1.1 ~ 7.12.31
日本共産党江戸川区議員団	日本共産党	共産	7.1.1 ~ 7.12.31
日本維新の会	維新の会	維新	7.1.1 ~ 7.12.31

1 議会の構成

(1) 議員数

条例定数 44人 現議員数 44人

(2) 議長・副議長

議長	令5.5.24～令7.5.25 藤澤進一	令7.5.26～令7.12.31 現在 島村和成
副議長	令5.5.24～令7.5.25 窪田龍一	令7.5.26～令7.12.31 現在 太田公弘

(3) 議員名簿[令7.1.1～令7.12.31]

議席	氏名	連絡所	電話	会派名等
1	中野 へんり	西葛西 8-3-11-102	(3659)1756	超党えどがわ
2	田村 ひろし	中央 4-1-13 202	090(3689)5133	超党えどがわ
3	五十嵐 まさお	南葛西 1-1-1-904	090(9812)2641	無所属
4	林 あきこ	西葛西 7-23-10-201	070(4095)9773	日本維新の会
5	丸山 れいこ	西瑞江 3-22-79	(3676)3043	日本維新の会
6	勝山 まゆみ	松島 2-8-2-101	(5607)7851	自由民主党
7	小林 智夫	南篠崎町 2-40-7 エムクリスタルワ 202	(5879)7000	自由民主党
8	金井 高志	北葛西 1-12-11 フェスタル I 102	(6661)4724	自由民主党
9	太田 彩花	平井 2-17-3	(3637)4050	日本共産党
10	牧野 けんじ	東小岩 5-12-18	(5876)8765	日本共産党
11	きもと 麻由	船堀 4-15-11	(6240)5850	超党えどがわ
12	本西 光枝	東小松川 3-35-13-205	(5607)5975	超党えどがわ
13	小林 あすか	一之江 6-10-24	(3651)8300	無所属の会
14	滝沢 泰子	平井 2-24-3	(5609)8111	無所属
15	佐野 朋子	東小岩 3-19-17 イクシア小岩リバーゼ 404	(3658)7694	公明党
16	川合 佐奈子	篠崎町 2-7-1-603 イーストハイム篠崎	(6337)0489	公明党
17	佐々木 勇一	北葛西 5-4-15	(5605)9262	公明党
18	所 隆宏	新堀 1-13-7	(3670)0334	公明党
19	田島 寛之	鹿骨 1-38-15	(3679)1261	自由民主党

20	鹿倉 勇	平井 7-14-19	(3616)5851	自由民主党
21	大橋 美枝子	中葛西 8-6-2	(5674)3753	日本共産党
22	伊藤 ひとみ	中葛西 3-17-4-702	(5607)5975	超党えどがわ
23	神尾 昭央	春江町 3-32-3	(5243)8311	無所属の会
24	榊 秀行	西葛西 6-16-4-5F(株)武田工業内	080(4179)5962	無所属の会
25	金井 しげる	南小岩 3-15-20	090(2656)9152	無所属の会
26	間宮 由美	松江 3-11-15	(6231)5200	無所属の会
27	太田 公弘	平井 6-33-18 ティックル平井 102	(6657)2641	公明党
28	窪田 龍一	中葛西 2-26-10-1005	080(1242)1642	公明党
29	堀江 創一	西小岩 2-17-1-603	(3658)8597	公明党
30	岩田 将和	篠崎町 7-3-10 ホノール・M101	090(5438)4998	自由民主党
31	野崎 信	西葛西 6-8-13-2F	(3869)8125	自由民主党
32	田中 寿一	船堀 3-1-3	(5679)0413	自由民主党
33	小俣 則子	中央 2-7-5	(3655)4422	日本共産党
34	笹本 ひさし	北小岩 6-12-1-303	(5668)2636	超党えどがわ
35	関根 麻美子	一之江 7-11-25	(3869)0978	公明党
36	伊藤 照子	中葛西 5-2-7-309	(6903)7742	公明党
37	中道 貴	大杉 1-1-1-703	(5607)0835	公明党
38	竹内 進	松江 3-14-19	(3652)6798	公明党
39	川瀬 泰徳	江戸川 2-6-26	(5636)5530	公明党
40	福本 光浩	東葛西 8-7-33	(3877)0541	自由民主党
41	高木 秀隆	一之江 5-30-8	(5661)4608	自由民主党
42	藤澤 進一	南小岩 6-28-11	(3658)0783	自由民主党
43	須賀 精二	江戸川 2-33-17	(3679)4477	自由民主党
44	島村 和成	平井 5-51-12	090(4827)3118	自由民主党

(4) 会派所属議員及び無所属議員別名簿〔令7.1.1～令7.4.23〕

会 派 名 等	氏 名 (◎幹事長、□団長、○副幹事長、●副団長、△幹事)		
区議会自由民主党 (13人)	◎島村 和成 △小林 智夫 鹿倉 勇 福本 光浩 須賀 精二	○田中 寿一 勝山 まゆみ 岩田 将和 高木 秀隆	△金井 高志 田島 寛之 野崎 信 藤澤 進一
江戸川区議会公明党 (12人)	□川瀬 泰徳 ○堀江 創一 ○所 隆宏 川合 佐奈子	●竹内 進 ○中道 貴 ○佐々木 勇一 太田 公弘	◎関根 麻美子 ○伊藤 照子 佐野 朋子 窪田 龍一
超党会派えどがわ (6人)	◎笹本 ひさし △きもと 麻由	○本西 光枝 △伊藤 ひとみ	○中野 へんり △田村 ひろし
無所属の会 (5人)	◎小林 あすか △金井 しげる	○間宮 由美 △榊 秀行	△神尾 昭央
日本共産党 江戸川区議員団 (4人)	◎小俣 則子 太田 彩花	○牧野 けんじ	△大橋 美枝子
日本維新の会 (2人)	◎丸山 れいこ	○林 あきこ	
無所属	滝沢 泰子		
	五十嵐 まさお		

(5) 会派所属議員及び無所属議員別名簿〔令7.4.24～令7.5.25〕

会 派 名 等	氏 名 (◎幹事長、□団長、○副幹事長、●副団長、△幹事)		
区議会自由民主党 (13人)	◎高木 秀隆 △勝山 まゆみ 田島 寛之 福本 光浩 島村 和成	○岩田 将和 小林 智夫 野崎 信 藤澤 進一	○鹿倉 勇 金井 高志 田中 寿一 須賀 精二
江戸川区議会公明党 (12人)	□川瀬 泰徳 ○堀江 創一 ○所 隆宏 川合 佐奈子	●竹内 進 ○中道 貴 ○佐々木 勇一 太田 公弘	◎関根 麻美子 ○伊藤 照子 佐野 朋子 窪田 龍一
超党会派えどがわ (6人)	◎笹本 ひさし △きもと 麻由	○本西 光枝 △伊藤 ひとみ	○中野 へんり △田村 ひろし
無所属の会 (5人)	◎小林 あすか △金井 しげる	○間宮 由美 △榊 秀行	△神尾 昭央
日本共産党 江戸川区議員団 (4人)	◎小俣 則子 太田 彩花	○牧野 けんじ	△大橋 美枝子
日本維新の会 (2人)	◎丸山 れいこ	○林 あきこ	
無所属	滝沢 泰子		
	五十嵐 まさお		

(6) 会派所属議員及び無所属議員別名簿〔令7.5.26～令7.12.31現在〕

会 派 名 等	氏 名 (◎幹事長、□団長、○副幹事長、●副団長、△幹事)		
区議会自由民主党 (13人)	◎高木 秀隆 △勝山 まゆみ 田島 寛之 福本 光浩 島村 和成	○岩田 将和 小林 智夫 野崎 信 藤澤 進一	○鹿倉 勇 金井 高志 田中 寿一 須賀 精二
江戸川区議会公明党 (12人)	□川瀬 泰徳 ○窪田 龍一 ○川合 佐奈子 堀江 創一	●竹内 進 ○中道 貴 ○佐野 朋子 所 隆宏	◎関根 麻美子 ○佐々木 勇一 伊藤 照子 太田 公弘
超党会派えどがわ (6人)	◎笹本 ひさし △きもと 麻由	○本西 光枝 △伊藤 ひとみ	○中野 へんり △田村 ひろし
無所属の会 (5人)	◎神尾 昭央 △榊 秀行	○金井 しげる △小林 あすか	△間宮 由美
日本共産党 江戸川区議員団 (4人)	◎小俣 則子 太田 彩花	○牧野 けんじ	△大橋 美枝子
日本維新の会 (2人)	◎丸山 れいこ	○林 あきこ	
無所属	滝沢 泰子		
	五十嵐 まさお		

(7) 会派等の動き

1/1～

12/31現在

自民 13人

自民 13人

公明 12人

公明 12人

超党 6人

超党 6人

無会 5人

無会 5人

共産 4人

共産 4人

維新 2人

維新 2人

無所属

無所属

無所属

無所属

(8) 会派役員の動き[令7.1.1～令7.12.31現在]

(◎幹事長、□団長、○副幹事長、●副団長、△幹事)

区議会自由民主党	
令7.1.1～令7.4.23	令7.4.24～
◎島村和成	◎高木秀隆
○田中寿一	○岩田将和
△金井高志	○鹿倉 勇
△小林智夫	△勝山まゆみ

江戸川区議会 公明党	
令7.1.1～令7.5.25	令7.5.26～
□川瀬泰徳	□川瀬泰徳
●竹内 進	●竹内 進
◎関根麻美子	◎関根麻美子
○堀江創一	○窪田龍一
○中道 貴	○中道 貴
○伊藤照子	○佐々木勇一
○所 隆宏	○川合佐奈子
○佐々木勇一	○佐野朋子

超党会派えどがわ
令7.1.1～
◎笹本ひさし
○本西光枝
○中野ヘンリ
△きもと麻由
△伊藤ひとみ
△田村ひろし

無所属の会	
令7.1.1～令7.5.25	令7.5.26～
◎小林あすか	◎神尾昭央
○間宮由美	○金井しげる
△神尾昭央	△間宮由美
△金井しげる	△榎 秀行
△榎 秀行	△小林あすか

日本共産党 江戸川区議員団
令7.1.1～
◎小俣則子
○牧野けんじ
△大橋美枝子

日本維新の会
令7.1.1～
◎丸山れいこ
○林 あきこ

(9) 議席表
[令和7年12月31日現在]

議長席
演壇

8	7	6	5	4	3	2	1
金井 高志	小林 智夫	勝山まゆみ	丸山れいこ	林 あきこ	五十嵐まさお	田村ひろし	中野ヘンリ

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9
鹿倉 勇	田島 寛之	所 隆宏	佐々木勇一	川合佐奈子	佐野 朋子	滝沢 泰子	小林あすか	本西 光枝	きもと麻由	牧野けんじ	太田 彩花

32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21
田中 寿一	野崎 信	岩田 将和	堀江 創一	窪田 龍一	太田 公弘	間宮 由美	金井しげる	榊 秀行	神尾 昭央	伊藤ひとみ	大橋美枝子

44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33
島村 和成	須賀 精二	藤澤 進一	高木 秀隆	福本 光浩	川瀬 泰徳	竹内 進	中道 貴	伊藤 照子	関根麻美子	笹本ひさし	小俣 則子

(10) 常任委員会名簿〔1/1～5/25〕

委 員 会 名	委員氏名(◎委員長、○副委員長)			
総 務 (定数9人)	◎高木 秀隆	○中道 貴	小林 智夫	小林あすか
	伊藤ひとみ	野崎 信	小俣 則子	笹本ひさし
	関根麻美子			
生活振興環境 (定数9人)	◎所 隆宏	○岩田 将和	田村ひろし	滝沢 泰子
	川合佐奈子	大橋美枝子	金井しげる	川瀬 泰徳
	須賀 精二			
福 祉 健 康 (定数9人)	◎堀江 創一	○本西 光枝	五十嵐まさお	丸山れいこ
	佐野 朋子	佐々木勇一	田島 寛之	間宮 由美
	藤澤 進一			
文 教 (定数9人)	◎福本 光浩	○伊藤 照子	林 あきこ	勝山まゆみ
	太田 彩花	きもと麻由	鹿倉 勇	榊 秀行
	窪田 龍一			
建 設 (定数8人)	◎田中 寿一	○竹内 進	中野ヘンリ	金井 高志
	牧野けんじ	神尾 昭央	太田 公弘	島村 和成

(11) 常任委員会名簿〔5/26～12/31現在〕

委 員 会 名	委員氏名(◎委員長、○副委員長)			
総 務 (定数9人)	◎鹿倉 勇	○佐々木勇一	中野ヘンリ	牧野けんじ
	榊 秀行	笹本ひさし	関根麻美子	福本 光浩
	高木 秀隆			
生活振興環境 (定数9人)	◎窪田 龍一	○小林 智夫	丸山れいこ	太田 彩花
	きもと麻由	佐野 朋子	神尾 昭央	太田 公弘
	野崎 信			
福 祉 健 康 (定数9人)	◎中道 貴	○伊藤ひとみ	金井 高志	滝沢 泰子
	川合佐奈子	間宮 由美	小俣 則子	伊藤 照子
	須賀 精二			
文 教 (定数9人)	◎田島 寛之	○竹内 進	田村ひろし	林 あきこ
	所 隆宏	大橋美枝子	金井しげる	藤澤 進一
	島村 和成			
建 設 (定数8人)	◎岩田 将和	○堀江 創一	五十嵐まさお	勝山まゆみ
	本西 光枝	小林あすか	田中 寿一	川瀬 泰徳

(12) 議会運営委員会名簿[1/1～4/23]

委員会名	委員氏名(◎委員長、○副委員長)			
議会運営委員会 (定数15人)	◎島村 和成	○関根麻美子	小林 智夫	金井 高志
	牧野けんじ	小林あすか	所 隆宏	伊藤ひとみ
	間宮 由美	堀江 創一	岩田 将和	田中 寿一
	小俣 則子	笹本ひさし	中道 貴	

(13) 議会運営委員会名簿[4/24～5/25]

委員会名	委員氏名(◎委員長、○副委員長)			
議会運営委員会 (定数15人)	◎高木 秀隆	○関根麻美子	勝山まゆみ	小林 智夫
	牧野けんじ	小林あすか	所 隆宏	鹿倉 勇
	伊藤ひとみ	間宮 由美	堀江 創一	岩田 将和
	小俣 則子	笹本ひさし	中道 貴	

(14) 議会運営委員会名簿[5/26～12/31現在]

委員会名	委員氏名(◎委員長、○副委員長)			
議会運営委員会 (定数15人)	◎高木 秀隆	○関根麻美子	勝山まゆみ	小林 智夫
	牧野けんじ	きもと麻由	佐野 朋子	川合佐奈子
	鹿倉 勇	神尾 昭央	金井しげる	窪田 龍一
	岩田 将和	小俣 則子	笹本ひさし	

(15) 特別委員会名簿[1/1～5/25]

委員会名	委員氏名(◎委員長、○副委員長)			
行財政改革・ SDGs推進 (定数12人)	◎佐々木勇一	○神尾 昭央	五十嵐まさお	林 あきこ
	きもと麻由	川合佐奈子	鹿倉 勇	間宮 由美
	田中 寿一	小俣 則子	竹内 進	高木 秀隆
災害対策・ 街づくり推進 (定数12人)	◎須賀 精二	○牧野けんじ	田村ひろし	小林 智夫
	金井 高志	本西 光枝	滝沢 泰子	川合佐奈子
	榊 秀行	岩田 将和	伊藤 照子	中道 貴
健康推進・ 熟年者支援 (定数12人)	◎川瀬 泰徳	○笹本ひさし	丸山れいこ	勝山まゆみ
	金井 高志	太田 彩花	佐野 朋子	所 隆宏
	伊藤ひとみ	金井しげる	関根麻美子	福本 光浩
子ども支援・ 教育力向上 (定数12人)	◎田島 寛之	○小林あすか	中野ヘンリ	林 あきこ
	勝山まゆみ	小林 智夫	本西 光枝	佐野 朋子
	佐々木勇一	大橋美枝子	堀江 創一	島村 和成

(16) 特別委員会名簿〔5/26～12/31現在〕

委員会名	委員氏名(◎委員長、○副委員長)			
行財政改革・ SDGs推進 (定数12人)	◎川瀬 泰徳	○金井しげる	勝山まゆみ	小林 智夫
	金井 高志	きもと麻由	本西 光枝	滝沢 泰子
	佐野 朋子	田島 寛之	堀江 創一	小俣 則子
災害対策・ 街づくり推進 (定数12人)	◎須賀 精二	○間宮 由美	中野へんり	丸山れいこ
	勝山まゆみ	牧野けんじ	佐野 朋子	田島 寛之
	鹿倉 勇	神尾 昭央	窪田 龍一	堀江 創一
健康推進・ 熟年者支援 (定数12人)	◎伊藤 照子	○笹本ひさし	田村ひろし	五十嵐まさお
	小林 智夫	川合佐奈子	大橋美枝子	梶 秀行
	岩田 将和	竹内 進	高木 秀隆	藤澤 進一
子ども支援・ 教育力向上 (定数12人)	◎田中 寿一	○牧野けんじ	林 あきこ	金井 高志
	太田 彩花	小林あすか	川合佐奈子	佐々木勇一
	伊藤ひとみ	関根麻美子	中道 貴	福本 光浩

(17) 予算・決算特別委員会名簿

委員会名	委員氏名(◎委員長、○副委員長)			
予算特別委員会 (定数20人) 設置期間 2/14～3/25 審査期間 2/21～3/11	◎鹿倉 勇	○中道 貴	中野ヘンリ	田村ひろし
	五十嵐まさお	林 あきこ	丸山れいこ	勝山まゆみ
	小林 智夫	金井 高志	太田 彩花	牧野けんじ
	きもと麻由	本西 光枝	小林あすか	佐野 朋子
	佐々木勇一	大橋美枝子	伊藤ひとみ	神尾 昭央
	榊 秀行	金井しげる	間宮 由美	堀江 創一
	岩田 将和	田中 寿一	小俣 則子	笹本ひさし
	伊藤 照子	須賀 精二		
決算特別委員会 (定数20人) 設置期間 9/19～10/27 審査期間 9/29～10/14	◎藤澤 進一	○川瀬 泰徳	中野ヘンリ	田村ひろし
	林 あきこ	丸山れいこ	勝山まゆみ	小林 智夫
	金井 高志	太田 彩花	牧野けんじ	きもと麻由
	本西 光枝	小林あすか	滝沢 泰子	川合佐奈子
	田島 寛之	鹿倉 勇	大橋美枝子	伊藤ひとみ
	神尾 昭央	榊 秀行	金井しげる	間宮 由美
	窪田 龍一	堀江 創一	岩田 将和	田中 寿一
	小俣 則子	笹本ひさし	関根麻美子	福本 光浩
	高木 秀隆	須賀 精二		

※ 委員の途中交代あり

(18) 区議会広報委員会名簿

期 間	委員氏名(◎委員長、○副委員長、※オブザーバー)			
1/1～4/23	◎島村 和成	○関根麻美子	笹本ひさし	小林あすか
	小俣 則子	※藤澤 進一	※窪田 龍一	
4/24～5/25	◎高木 秀隆	○関根麻美子	笹本ひさし	小林あすか
	小俣 則子	※藤澤 進一	※窪田 龍一	
5/26～12/31現在	◎高木 秀隆	○関根麻美子	笹本ひさし	神尾 昭央
	小俣 則子	※島村 和成	※太田 公弘	

(19) 附属機関その他委員名簿〔1/1～4/23〕

委 員 会 名	委 員 氏 名			
監査委員(2人)	太田 公弘	野崎 信		
防災会議(7人)	所 隆宏	窪田 龍一	堀江 創一	田中 寿一
	福本 光浩	高木 秀隆	藤澤 進一	
財産価格審議会(7人)	勝山まゆみ	牧野けんじ	鹿倉 勇	伊藤ひとみ
	神尾 昭央	関根麻美子	伊藤 照子	
表彰審査会(7人)	小林あすか	窪田 龍一	小俣 則子	笹本ひさし
	関根麻美子	藤澤 進一	島村 和成	
消防団運営委員会(6人)	中野ヘンリ	小林 智夫	金井 高志	太田 彩花
	佐野 朋子	間宮 由美		
国民健康保険事業の運営に関する協議会(6人)	田村ひろし	佐野 朋子	田島 寛之	大橋美枝子
	金井しげる	田中 寿一		
民生委員推薦会(2人)	本西 光枝	堀江 創一		
青少年問題協議会(5人)	きもと麻由	小林あすか	川合佐奈子	岩田 将和
	小俣 則子			
都市計画審議会(5人)	牧野けんじ	本西 光枝	榊 秀行	野崎 信
	関根麻美子			
文化振興審議会(7人)	小林あすか	窪田 龍一	小俣 則子	笹本ひさし
	関根麻美子	藤澤 進一	島村 和成	
廃棄物減量等推進審議会(2人)	所 隆宏	岩田 将和		
国民保護協議会(7人)	所 隆宏	窪田 龍一	堀江 創一	田中 寿一
	福本 光浩	高木 秀隆	藤澤 進一	
熟年しあわせ計画及び介護保険事業計画検討委員会(2人)	小林 智夫	川合佐奈子		
江戸川区子ども・子育て応援会議(2人)	本西 光枝	堀江 創一		
江戸川区産業賞表彰選考委員会(9人)	田村ひろし	滝沢 泰子	川合佐奈子	所 隆宏
	大橋美枝子	金井しげる	岩田 将和	川瀬 泰徳
	須賀 精二			

(20) 附属機関その他委員名簿〔4/24～5/25〕

委 員 会 名	委 員 氏 名			
監査委員(2人)	太田 公弘	野崎 信		
防災会議(7人)	所 隆宏	窪田 龍一	堀江 創一	田中 寿一
	福本 光浩	高木 秀隆	藤澤 進一	
財産価格審議会(7人)	勝山まゆみ	牧野けんじ	鹿倉 勇	伊藤ひとみ
	神尾 昭央	関根麻美子	伊藤 照子	
表彰審査会(7人)	小林あすか	窪田 龍一	小俣 則子	笹本ひさし
	関根麻美子	高木 秀隆	藤澤 進一	
消防団運営委員会(6人)	中野ヘンリ	小林 智夫	金井 高志	太田 彩花
	佐野 朋子	間宮 由美		
国民健康保険事業の運営に関する協議会(6人)	田村ひろし	佐野 朋子	田島 寛之	大橋美枝子
	金井しげる	田中 寿一		
民生委員推薦会(2人)	本西 光枝	堀江 創一		
青少年問題協議会(5人)	きもと麻由	小林あすか	川合佐奈子	岩田 将和
	小俣 則子			
都市計画審議会(5人)	牧野けんじ	本西 光枝	榊 秀行	野崎 信
	関根麻美子			
文化振興審議会(7人)	小林あすか	窪田 龍一	小俣 則子	笹本ひさし
	関根麻美子	高木 秀隆	藤澤 進一	
廃棄物減量等推進審議会(2人)	所 隆宏	岩田 将和		
国民保護協議会(7人)	所 隆宏	窪田 龍一	堀江 創一	田中 寿一
	福本 光浩	高木 秀隆	藤澤 進一	
熟年しあわせ計画及び介護保険事業計画検討委員会(2人)	小林 智夫	川合佐奈子		
江戸川区子ども・子育て応援会議(2人)	本西 光枝	堀江 創一		
江戸川区産業賞表彰選考委員会(9人)	田村ひろし	滝沢 泰子	川合佐奈子	所 隆宏
	大橋美枝子	金井しげる	岩田 将和	川瀬 泰徳
	須賀 精二			

(21) 附属機関その他委員名簿〔5/26～12/31現在〕

委員会名	委員氏名			
監査委員(2人)	所 隆宏	野崎 信		
防災会議(7人)	田島 寛之	鹿倉 勇	太田 公弘	窪田 龍一
	岩田 将和	中道 貴	島村 和成	
財産価格審議会(7人)	牧野けんじ	本西 光枝	神尾 昭央	堀江 創一
	岩田 将和	野崎 信	関根麻美子	
表彰審査会(7人)	神尾 昭央	太田 公弘	小俣 則子	笹本ひさし
	関根麻美子	高木 秀隆	島村 和成	
消防団運営委員会(6人)	太田 彩花	きもと麻由	佐々木勇一	田島 寛之
	鹿倉 勇	間宮 由美		
国民健康保険事業の運営に関する協議会(6人)	田村ひろし	勝山まゆみ	小林あすか	川合佐奈子
	大橋美枝子	岩田 将和		
民生委員推薦会(2人)	伊藤ひとみ	中道 貴		
青少年問題協議会(5人)	中野ヘンリ	金井 高志	佐野 朋子	金井しげる
	小俣 則子			
都市計画審議会(5人)	牧野けんじ	伊藤ひとみ	榊 秀行	関根麻美子
	須賀 精二			
文化振興審議会(7人)	神尾 昭央	太田 公弘	小俣 則子	笹本ひさし
	関根麻美子	高木 秀隆	島村 和成	
廃棄物減量等推進審議会(2人)	小林 智夫	窪田 龍一		
国民保護協議会(7人)	田島 寛之	鹿倉 勇	太田 公弘	窪田 龍一
	岩田 将和	中道 貴	島村 和成	
熟年しあわせ計画及び介護保険事業計画検討委員会(2人)	小林 智夫	佐野 朋子		
江戸川区子ども・子育て応援会議(2人)	伊藤ひとみ	中道 貴		
江戸川区産業賞表彰選考委員会(9人)	丸山れいこ	小林 智夫	太田 彩花	きもと麻由
	佐野 朋子	神尾 昭央	太田 公弘	窪田 龍一
	野崎 信			

2 会議の開会状況

(1) 定例会

会議名	会 期	日 数	本会議日数	傍聴者数 (内、映像傍聴)
第1回	令7. 2. 14 (金) ～ 3. 25 (火)	40日	4日	23人 (0人)
第2回	令7. 6. 6 (金) ～ 6. 24 (火)	19日	4日	30人 (0人)
第3回	令7. 9. 19 (金) ～10. 27 (月)	39日	5日	25人 (0人)
第4回	令7. 11. 21 (金) ～12. 11 (木)	21日	4日	35人 (0人)

定例会傍聴者数合計 113人
(内、映像傍聴者数 0人)

(2) 臨時会

会議名	会 期	日 数	本会議日数	傍聴者数 (内、映像傍聴)
第1回	令7. 5. 26 (月)	1日	1日	2人 (0人)
第2回	令7. 8. 1 (金)	1日	1日	1人 (0人)

臨時会傍聴者数合計 3人
(内、映像傍聴者数 0人)

傍聴者数 総合計 116人
(内、映像傍聴者 総合計 0人)

(3) 委員会 (月別)

委員会名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	傍聴者数
常任委員会	総務	1	2	3	1	2	2	1	1	2	2	2	3	22	15
	生活振興環境	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	14	34
	福祉健康	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	14	9
	文教	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	2	15	69
	建設	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	15	32
	小計	5	6	8	5	10	6	5	5	6	6	7	11	80	159
議会運営委員会		0	5	1	1	4	5	1	1	5	3	7	1	34	0
特別委員会	行財政改革・SDGs推進	1	1	0	1	2	1	1	0	1	0	0	1	9	3
	災害対策・街づくり推進	1	1	0	1	2	1	1	0	1	0	0	1	9	1
	健康推進・熟年者支援	1	1	0	1	2	1	1	0	1	0	0	1	9	0
	子ども支援・教育力向上	1	1	0	1	2	1	1	0	1	0	0	1	9	0
	予算	—	5	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	4
	決算	—	—	—	—	—	—	—	—	3	6	—	—	9	7
	小計	4	9	4	4	8	4	4	0	7	6	0	4	54	15
合計		9	20	13	10	22	15	10	6	18	15	14	16	168	174

(4) その他の会議 (月別)

会議名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
議運理事会	2	6	2	2	6	7	4	2	6	4	7	2	50
幹事長会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
広報委員会	0	0	2	0	1	1	2	0	1	2	1	2	12
委員長会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
全員協議会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
合計	3	7	5	3	8	9	7	3	8	7	9	6	75

(5) 委員会の審査事項

総務委員会

開催月日	審査事項
1月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)「東京都による高潮浸水想定区域図の改定」及び「江戸川区水害ハザードマップの改定」について (2)令和6年度江東5区広域避難推進シンポジウムの開催について (3)学校施設の請負工事契約における不適切事務の調査結果について (4)令和7年度 税制改正大綱に係る主な改正点(地方税関係) (5)令和6年度定額減税補足給付金の支給状況(実績報告)
2月3日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)請負工事契約等の全庁調査結果について (2)原付等ご当地ナンバープレートデザインの決定
2月14日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年第1回定例会付託議案審査
3月12日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年第1回定例会付託議案審査
3月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)自治体システムの標準化について (2)船堀四丁目地区市街地再開発組合設立認可申請について (3)不適切契約事案の検証及び再発防止対策検討委員会の設置について
3月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年第1回定例会付託議案審査
4月11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・異動幹部職員の紹介 ・陳情の審査 ・報告 (1)令和7年度 組織改正について(令和7年4月1日) (2)「江戸川」ナンバー交付開始について (3)自治体システムの標準化について (4)第38回江戸川区民世論調査の実施について (5)防災行政無線によるJアラート緊急情報の試験放送の実施について (6)第73回利根川水系連合・総合水防演習について (7)生活保護基準引下げ違憲国家賠償等請求事件に係る上訴について (8)内部公益通報(児童相談所)への対応について
5月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・審査・調査経過概要(案)の確認

	<ul style="list-style-type: none"> ・報 告 (1)地域防災計画改定における意見募集について (2)第 20 回 江戸川区合同水防訓練の実施概要 (3)第 60 回 江戸川区総合防災訓練の変更点 (案)
5 月 26 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正副委員長の互選
6 月 13 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座席の指定 ・ 令和 7 年第 2 回定例会付託議案審査
6 月 17 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 執行部職員紹介 ・ 陳情の審査 ・ 報 告 (1)財政状況の公表 (令和 6 年度下半期) (2)東葛西 5 丁目の爆発事故について (3)不適切契約事案について (4)令和 6 年度に終了した訴訟事件について (5)係争中の訴訟事件について
7 月 9 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陳情の審査 ・ 報 告 (1)江戸川区公式キャラクターのデザイン募集 (2)水害ハザードマップの改定及び全戸配布について (3)江戸川区防災会議及び国民保護協議会の開催について (4)自転車盗撲滅キャンペーンの実施
8 月 1 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陳情の審査 ・ 報 告 (1)江戸川区公式 Tiktok「えど Tok」の開設 (2)江戸川区球場ネーミングライツ・パートナーの決定 (3)船堀四丁目地区市街地再開発組合設立認可について (4)台風 9 号の接近について (5)カムチャツカ地震による津波について (6)原付等ご当地ナンバーの交付開始 (7)東京都議会議員選挙・参議院議員選挙の結果について ・ 令和 7 年第 2 回臨時会付託議案審査
8 月 27 日 (水) ～ 8 月 29 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管事務調査に伴う都市視察 (北海道旭川市、公益社団法人北海道観光機構、公益社団法人 さっぽろ青少年女性活動協会)
9 月 9 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陳情の審査 ・ 報 告 (1)令和 6 年度決算状況 (2)令和 7 年度都区財政調整区別算定結果 (当初算定) (3)「サイバーセキュリティ基本方針」の策定・公表 (4)SDGs シーズンの開催 (5)第 38 回江戸川区民世論調査 結果概要 (6)公共施設整備における SDGs 民間活力導入指針について (7)本庁舎跡地への小松川警察署移転に向けた意見交

	<p>換会について</p> <p>(8) 船堀四丁目地区歩行者デッキの駅接続に関わる都市計画変更手続きの開始について（高台まちづくり）</p> <p>(9) 「江戸川区客引き防止条例」意見募集の実施について</p> <p>(10) 台風 15 号の対応報告について</p>
9 月 19 日（金）	・ 令和 7 年第 3 回定例会付託議案審査
10 月 15 日（水）	・ 令和 7 年第 3 回定例会付託議案審査
10 月 20 日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副区長就任挨拶及び異動幹部職員の紹介 ・ 陳情の審査 ・ 報 告 (1) 「INTERNATIONAL SDGs FES in EDOGAWA」の開催 <li style="padding-left: 20px;">(2) 江戸川区不適切契約事案の検証及び再発防止対策検討委員会報告書について <li style="padding-left: 20px;">(3) 職員へのカスタマー・ハラスメントに係る基本方針の策定等について <li style="padding-left: 20px;">(4) 第 3 次男女共同参画推進計画策定のための区民基礎調査の実施
11 月 7 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陳情の審査 ・ 報 告 (1) 令和 8 年度江戸川区一般会計歳出予算の要求額状況 <li style="padding-left: 20px;">(2) 自治体システム標準化に係る特定移行支援システムの申請について <li style="padding-left: 20px;">(3) えどがわ共創プラットフォームの開催について <li style="padding-left: 20px;">(4) 区役所本庁舎跡地への小松川警察署移転に向けた意見交換会の NEWS について <li style="padding-left: 20px;">(5) イノシシの目撃情報への対応について <li style="padding-left: 20px;">(6) さらなる財源の確保 ～ご当地ナンバーによる寄附金と資源売却～ <li style="padding-left: 20px;">(7) 非来庁化と業務集約 ～サービス低下は皆無～ <li style="padding-left: 20px;">(8) 戦争時の様子を伝える資料・証言を募集します
11 月 27 日（木）	・ 令和 7 年第 4 回定例会付託議案審査
12 月 2 日（火）	・ 令和 7 年第 4 回定例会付託議案審査
12 月 3 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陳情の審査 ・ 報 告 (1) 財政状況の公表（令和 7 年度上半期） <li style="padding-left: 20px;">(2) 船堀四丁目地区市街地再開発事業のスケジュールについて <li style="padding-left: 20px;">(3) 令和 7 年度東京都国民保護共同訓練の実施予定について <li style="padding-left: 20px;">(4) 江戸川区地域防災計画（令和 7 年度修正）の江戸川区 HP 掲載について <li style="padding-left: 20px;">(5) 「江戸川区防災・防犯 FES」の開催結果

12月19日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・五十嵐まさお議員に対する処分要求の審査 ・陳情の審査 ・報 告 (1) 令和7年度江戸川区行政評価実施結果の報告 (2) 江戸川区PR キャラクター区民投票の実施 (3) えどがわ共創プラットフォーム実施報告 (4) 令和7年度職員防災訓練（地震編）の実施について (5) 「令和8年 新年賀詞交歓会」について
-----------	--

生活振興環境委員会

開催月日	審査事項
1月9日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報 告 (1) 地下水のPFAS 調査結果について (2) おくやみ手続きナビの導入について (3) 住基印鑑システムの障害について (4) 令和6年度「えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト」第22回新作発表会 (5) 第11回小松菜まつり 2025 の開催について
2月3日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報 告 (1) JR 小岩駅・船堀駅屋外喫煙所の継続について (2) 八潮市道路陥没事故に伴う下水道管破損による下水道汚水の河川放流について (3) 江戸川区街路樹指針～新しい街路樹デザイン～の改定について (4) 衣装ケース回収実証実験の実施 (5) ライオン株式会社と連携したハブラシリサイクル事業（実証実験）の実施 (6) 令和7年江戸川区国勢調査の実施について (7) 公共施設予約システム「えどねっと」のシステムエラーについて (8) 戸籍等への氏名の振り仮名の記載について (9) 課税証明書のコンビニ交付一時停止について (10) 学校給食出荷に取り組む農業者表彰 都知事感謝状の贈呈について
3月13日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・異動幹部職員の紹介 ・令和7年第1回定例会付託議案審査 ・陳情の審査 ・報 告 (1) 第6次環境行動計画令和5年度結果報告 (2) 再生可能エネルギー電力導入に向けたリバーズオークションの実施報告 (3) 令和6年版 統計江戸川の掲載について (4) 金魚PR 冊子「きんぎよのーと」の完成について
4月11日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・異動幹部職員の紹介

	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)「みんなのこうえんガイドライン」の策定 <li style="padding-left: 20px;">(2)「江戸川区公園遊具等設置基準」の公表及び意見募集の実施 <li style="padding-left: 20px;">(3)江戸川区街路樹指針～新しい街路樹デザイン～の改定について <li style="padding-left: 20px;">(4)新設公園の開園について <li style="padding-left: 20px;">(5)本庁舎でのフードドライブ常設回収の実施 <li style="padding-left: 20px;">(6)衣装ケース回収実証実験の実施結果 <li style="padding-left: 20px;">(7)令和7年度 施設の貸出休止について <li style="padding-left: 20px;">(8)第50回江戸川区花火大会 <li style="padding-left: 20px;">(9)第51回花の祭典～フラワーフェスティバル2025～ <li style="padding-left: 20px;">(10)第69回江戸川区特産バラ品評展示即売会 <li style="padding-left: 20px;">(11)特別相談窓口の設置について
5月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・審査・調査経過概要(案)の確認 ・陳情の審査 ・報告 (1)「地域脱炭素の実現に向けた江戸川区の考え方」の公表及び意見募集の実施 <li style="padding-left: 20px;">(2)今夏の熱中症対策について <li style="padding-left: 20px;">(3)世界陸上及びデフリンピック開催を契機とした廃食用油回収拠点の設置 <li style="padding-left: 20px;">(4)戸籍・住民票への氏名等の振り仮名の記載について <li style="padding-left: 20px;">(5)江戸川区運送事業者等燃料費高騰対策支援金について <li style="padding-left: 20px;">(6)第50回江戸川区花火大会 有料席販売開始
5月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・正副委員長の互選
6月17日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・座席の指定 ・執行部職員紹介 ・令和7年第2回定例会付託議案審査 ・陳情の審査 ・報告 (1)「地域脱炭素の実現に向けた江戸川区の考え方」意見公募の結果について <li style="padding-left: 20px;">(2)「江戸川区公園遊具等設置基準」の策定について <li style="padding-left: 20px;">(3)荒川将来像計画 地区別計画改定について <li style="padding-left: 20px;">(4)じゃぶじゃぶ池等の開設について
7月9日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)振り仮名通知書の発送について <li style="padding-left: 20px;">(2)総合レクリエーション公園における指定管理者によるアンケート実施について <li style="padding-left: 20px;">(3)第54回江戸川区特産金魚まつり <li style="padding-left: 20px;">(4)江戸川区花火大会について

8月1日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・異動幹部職員の紹介 ・陳情の審査 ・報告 (1)第50回江戸川区花火大会について (2)令和7年度商品券まつり(紙券)の抽選販売開始について (3)令和7年度江戸川区産業賞表彰選考委員会の委員委嘱および開催について
8月6日(水) ～8月8日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査に伴う都市視察(愛知県弥富市、愛知県名古屋市、メタウォーター下水道科学館なごや、MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪))
9月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)ちよこ美化BOXの設置について (2)「江戸川区不良な生活環境の解消に関する条例」意見募集の実施について (3)「(仮称)江戸川区公園樹木管理指針」策定のためのアンケート調査の実施について (4)製品プラスチックの拠点回収の実施について (5)特別区区民葬儀における助成制度の創設について (6)第50回江戸川区花火大会実績報告
10月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・異動幹部職員の紹介 ・陳情の審査
11月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)「ポニーランド50周年祭ポニフェス!!」開催について (2)第48回江戸川区民まつり結果報告について (3)第27回産業ときめきフェア in EDOGAWA (4)区施設における金魚水槽の設置について (5)小松菜スタンプラリーの実施とPR冊子の発行について
12月3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年第4回定例会付託議案審査 ・陳情の審査 ・報告 (1)地域エネルギー会社設立発起人会の開催 (2)第27回産業ときめきフェア in EDOGAWAについて (3)令和7年度江戸川区産業賞表彰式 (4)出合いイベント「えど恋」
12月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)環境をよくする星くず拾い大会の結果報告 (2)年末年始のごみ収集・資源回収について

福祉健康委員会

開催月日	審査事項
1月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・発議案の審査 ・請願・陳情の審査 ・報告 (1)令和6年度江戸川区物価高騰負担軽減給付金の給付について <li style="padding-left: 2em;">(2)「江戸川区こども計画」及び「社会的養育推進計画」の意見募集について <li style="padding-left: 2em;">(3)区立母子生活支援施設の維持補修工事の報告について <li style="padding-left: 2em;">(4)児童相談所の虐待相談対応状況について
2月3日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・発議案の審査 ・請願・陳情の審査 ・報告 (1)令和6年度「熟年文化祭」の開催について <li style="padding-left: 2em;">(2)社会的養護自立支援拠点「Youテラス」開設 <li style="padding-left: 2em;">(3)令和7年度の国民健康保険、後期高齢者医療制度の改正について
3月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年第1回定例会付託議案審査 ・発議案の審査 ・請願・陳情の審査 ・報告 (1)特別養護老人ホーム(共生型の複合施設)の開設について <li style="padding-left: 2em;">(2)生活保護利用者・くらしごと相談室利用者へのアンケートの実施について <li style="padding-left: 2em;">(3)自治体システムの標準化について <li style="padding-left: 2em;">(4)快適睡眠フェア2025
4月11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・異動幹部職員の紹介 ・発議案の審査 ・陳情の審査 ・報告 (1)「令和6年度江戸川区民生・児童委員訪問調査」の実施結果 <li style="padding-left: 2em;">(2)自治体システムの標準化について <li style="padding-left: 2em;">(3)令和7年度版障害者福祉のしおりについて <li style="padding-left: 2em;">(4)令和5年度・6年度ひきこもり実態調査の結果報告書(概要) <li style="padding-left: 2em;">(5)生活保護基準引下げ違憲国家賠償等請求事件に係る上訴について <li style="padding-left: 2em;">(6)未来を支える江戸川こどもプラン～江戸川区こども計画～の策定 <li style="padding-left: 2em;">(7)令和8年4月開設 保育施設の整備計画 <li style="padding-left: 2em;">(8)江戸川区社会的養育推進計画 <li style="padding-left: 2em;">(9)後期高齢者に係る資格確認書の暫定運用の継続について

5月12日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発議案の審査 ・ 陳情の審査 ・ 審査・調査経過概要（案）の確認 ・ 報 告 (1) 平井・小松川地区の熟年相談室（地域包括支援センター）の分室廃止及び新規開設 <li style="padding-left: 2em;">(2) 「障害のある人が自分らしく暮らせるまち条例」啓発漫画の作成について <li style="padding-left: 2em;">(3) おやこで体験 障がい福祉フェスタ in アリオ葛西 <li style="padding-left: 2em;">(4) 令和7年度 Blue Sky Market（ブルースカイマーケット）船堀駅前北口広場販売会 <li style="padding-left: 2em;">(5) 江戸フィルふれあいコンサート 2025 <li style="padding-left: 2em;">(6) 令和7年度認可保育施設の待機児童について <li style="padding-left: 2em;">(7) 国民健康保険・後期高齢者医療制度の資格確認書等の一斉交付について
5月26日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正副委員長の互選
6月17日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座席の指定 ・ 執行部職員紹介 ・ 令和7年第2回定例会付託議案審査 ・ 発議案の審査 ・ 陳情の審査 ・ 報 告 (1) 令和7年度介護保険料額決定通知書等の発送について <li style="padding-left: 2em;">(2) 公開シンポジウム「子育て×発達応援フェア」について <li style="padding-left: 2em;">(3) 内部公益通報（令和6年度公益通報第一号）に係る報告について <li style="padding-left: 2em;">(4) がん患者アピアランスケア支援事業の助成拡充について <li style="padding-left: 2em;">(5) コロナ定期接種における有効期限を過ぎた製剤の使用について <li style="padding-left: 2em;">(6) 国民健康保険・後期高齢者医療制度の資格確認書等の一斉交付について
7月9日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発議案の審査 ・ 陳情の審査 ・ 報 告 (1) 令和6年度江戸川区の高齢者虐待対応状況について <li style="padding-left: 2em;">(2) 令和6年度江戸川区の障害者虐待対応状況について <li style="padding-left: 2em;">(3) Edogawa Beer Project 推進パートナー事業者の決定について <li style="padding-left: 2em;">(4) 夏の祭典 2025 について <li style="padding-left: 2em;">(5) 区内小児科の状況について <li style="padding-left: 2em;">(6) 健康保険証の有効期限切れに伴う暫定的な取扱い

	<p>について</p> <p>(7)ゲートキーパー養成講座について</p>
8月1日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・発議案の審査 ・陳情の審査 ・報告 (1)心身障害者福祉手当・難病患者福祉手当制度の改正について (2)児童発達支援等の利用者負担の第一子無償化について (3)Edogawa Beer Project 江戸川区花火大会における場外販売について (4)熟年相談室での障害相談の実施について (5)児童育成手当制度の改正について (6)令和8年度区立保育園給食調理業務委託について (7)E. I. S 健康弁当プロジェクトイベントについて (8)後期高齢者医療制度資格確認書の誤記について
8月6日(水) ～8日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査に伴う都市視察(医療法人聖粒会慈恵病院、熊本県熊本市、厚生労働省福岡労働局、株式会社福岡丸福水産、福岡市認知症フレンドリーセンター)
9月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・発議案の審査 ・陳情の審査 ・報告 (1)令和7年度『笑顔いっぱい長寿の集い』開催日程について (2)えどがわ障害者支援アプリ(ミライク)の機能追加について (3)生活保護・くらしごと相談室利用者アンケート調査結果の公表及び生活に困窮しても安心して暮らせるまち条例(案)の意見募集の実施について (4)ベビーシッター利用支援事業対象拡大について (5)保育所等の職員による虐待に関する通告義務等について (6)令和7年度予防接種事業(10月開始)について
10月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年第3回定例会付託議案審査 ・発議案の審査 ・陳情の審査 ・報告 (1)江戸川区物価高騰負担軽減給付金の支給状況について (2)第53回 さわやか体育祭について (3)令和7年度江戸川区もの忘れ検診の実施概要について (4)「障害のある子が主役になれる拠点」公募型プロポーザルの実施について (5)FM えどがわ「心のよりみちラジオ」の放送について

	<p>(6)「ひきこもり講演会～そうだ ひきこもりについて、知ろう。～」の開催について</p> <p>(7)東京都後期高齢者医療広域連合報道発表資料について</p>
11月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・発議案の審査 ・陳情の審査 ・報告 (1)2025 介護の講演・相談会について <li style="padding-left: 20px;">(2)自治体システム標準化に係る特定移行支援システムの申請について <li style="padding-left: 20px;">(3)がん検診受診率向上及びがん予防対策に関する連携協定の締結 <li style="padding-left: 20px;">(4)令和7年度 家族のための精神保健講演会 回復を見守る家族のかたち
12月3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年第4回定例会付託議案審査 ・発議案の審査 ・陳情の審査 ・報告 (1)障害者週間啓発事業について <li style="padding-left: 20px;">(2)(仮称)江戸川区住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例案について
12月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・発議案の審査 ・陳情の審査 ・報告 (1)民生・児童委員一斉改選の報告について <li style="padding-left: 20px;">(2)12月27日・28日・1月4日の電話相談について

文教委員会

開催月日	審査事項
1月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)学校施設の請負工事契約における不適切事務の調査結果について <li style="padding-left: 20px;">(2)令和7年度周年記念行事日程 <li style="padding-left: 20px;">(3)「江戸川区立学校プール整備方針(案)」への意見募集について <li style="padding-left: 20px;">(4)江戸川区立小学校特別支援学級 連合てんらんかい
2月3日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)令和7年江戸川区二十歳を祝う会実績報告 <li style="padding-left: 20px;">(2)請負工事契約等の全庁調査結果について <li style="padding-left: 20px;">(3)令和5年度事務事業点検・評価報告書 <li style="padding-left: 20px;">(4)ライオン株式会社と連携したハブラシリサイクル事業(実証実験)の実施 <li style="padding-left: 20px;">(5)令和6年度 東京都児童・生徒 体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果報告 <li style="padding-left: 20px;">(6)一人一台タブレット端末を活用した心の健康観察

	の実施について
3月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年第1回定例会付託議案審査 ・ 陳情の審査 ・ 報 告 (1) 第18回10代の挑戦 EDOGAWA <li style="padding-left: 20px;">(2) 江戸川区少年少女合唱団 第38回定期演奏会 <li style="padding-left: 20px;">(3) 子ども未来館 令和8年度子どもアカデミーゼミ <li style="padding-left: 20px;">(4) 平井東小学校渡り廊下の屋根等の撤去について <li style="padding-left: 20px;">(5) 不適切契約事案の検証及び再発防止対策検討委員会の設置について <li style="padding-left: 20px;">(6) 令和7年度学校閉庁日の設定について <li style="padding-left: 20px;">(7) 「第四次江戸川区学校教育情報化推進計画(案)」への意見募集について <li style="padding-left: 20px;">(8) 令和6年度全国大会等出場及び結果(秋冬) <li style="padding-left: 20px;">(9) 令和7年度地域学習塾「EDO塾」実施報告 <li style="padding-left: 20px;">(10) 学校サポート教室の名称変更について
4月11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異動幹部職員の紹介 ・ 陳情の審査 ・ 報 告 (1) 令和7年度(第23回)青少年の翼の実施について <li style="padding-left: 20px;">(2) 第1回江戸川区不適切契約事案の検証及び再発防止策対策検討委員会 <li style="padding-left: 20px;">(3) 旧下鎌田小学校の後利用について(都立特別支援学校の新設) <li style="padding-left: 20px;">(4) 令和7年度江戸川区教育課題実践推進校における説明会等の日程について <li style="padding-left: 20px;">(5) 令和7年度体育的行事日程一覧 <li style="padding-left: 20px;">(6) 令和7年度土曜授業日程一覧 <li style="padding-left: 20px;">(7) 令和7年度チャレンジ・ザ・ドリーム実施日予定一覧 <li style="padding-left: 20px;">(8) 下小岩小学校 新校舎の竣工について <li style="padding-left: 20px;">(9) 江戸川小学校・下鎌田東小学校の統合・改築について <li style="padding-left: 20px;">(10) 「江戸川区立学校プール整備方針(案)」への意見募集結果及び「江戸川区学校プール整備方針」の公表について <li style="padding-left: 20px;">(11) 東京シューレ学園の移転について
5月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陳情の審査 ・ 審査・調査経過概要(案)の確認 ・ 報 告 (1) 図書館サービスの拡充について <li style="padding-left: 20px;">(2) 不適切契約事案に関する暫定的な再発防止策及び検証経過と区の考えの公表について <li style="padding-left: 20px;">(3) 令和6年度 水泳指導実施状況について <li style="padding-left: 20px;">(4) 清新第一中学校 ISLAND PACIFIC ACADEMY との交流について(ホノルル市との連携・交流事業)

5月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・正副委員長の互選
6月17日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・座席の指定 ・執行部職員紹介 ・令和7年第2回定例会付託議案審査 ・陳情の審査 ・報告 (1) (一社)江戸川区文化芸術協会の設立 <li style="padding-left: 20px;">(2)魔法の文学館 令和6年度全建賞の受賞について <li style="padding-left: 20px;">(3)「令和8年 江戸川区二十歳を祝う会」Next Stage～えどがわ20(トゥエンティ)～(運営委員)募集 <li style="padding-left: 20px;">(4)「第四次江戸川区学校教育情報化推進計画(案)」への意見募集の結果について <li style="padding-left: 20px;">(5)すくすくスクールの実施状況について <li style="padding-left: 20px;">(6)不適切契約事案について <li style="padding-left: 20px;">(7)外国籍の児童・生徒の就学状況の確認について <li style="padding-left: 20px;">(8)区立小・中学校の児童(生徒)数・学級数 <li style="padding-left: 20px;">(9)就学援助制度について(報告) <li style="padding-left: 20px;">(10)令和10年度改築予定校について <li style="padding-left: 20px;">(11)清新第一中学校 ISLAND PACIFIC ACADEMY (アイランド パシフィック アカデミー)との交流について(報告)(ホノルル市との連携・交流事業) <li style="padding-left: 20px;">(12)いじめの重大事態に係る調査について
7月9日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)不適切契約事案に関する区の検証と対応状況について <li style="padding-left: 20px;">(2)自閉症・情緒障害特別支援学級の開設について
8月1日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)南魚沼市・江戸川区友好都市盟約5周年記念式典 <li style="padding-left: 20px;">(2)令和7年度(第23回)鈴木「青少年の翼」の出版・帰国 <li style="padding-left: 20px;">(3)EDOGAWA ストリートダンスチャレンジ2025 Supported by LDH JAPAN 出場者募集について <li style="padding-left: 20px;">(4)登校時間前の小学生の居場所づくり事業の先行実施について <li style="padding-left: 20px;">(5)いじめの重大事態調査結果報告の公表について
8月27日(水) ～29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査に伴う都市視察(広島県立広島中学校・広島高等学校、少年サポートセンターひろしま、ひめじ防災プラザ)
9月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)第1回江戸川区文化芸術祭の開催について <li style="padding-left: 20px;">(2)令和8年度小学校入学予定者に対する希望調査の結果及び抽選会について <li style="padding-left: 20px;">(3)就学援助制度の対象者拡大について

	<p>(4)江戸川区私立学校等就学者給食費補助金のお知らせについて</p> <p>(5)下鎌田小学校及び小岩第一中学校の新校舎竣工について</p> <p>(6)不適切契約事案に係る施工業者への損害賠償請求について</p> <p>(7)「いじめ」の問題に関する江戸川区教育委員会の基本方針～豊かな心をはぐくむために～</p>
10月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報告 (1)EDOGAWA ストリートダンスチャレンジ 2025 Supported by LDH JAPAN 開催報告 (2)東京 2025 デフリンピック キャラバンカー来庁イベント (3)令和8年度 学校用務業務委託導入校(案)について (4)江戸川区不適切契約事案の検証及び再発防止対策検討委員会報告書について (5)学校徴収金業務等のアウトソーシング化(案)について
11月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・発議案の審査 ・陳情の審査 ・報告 (1)令和7年度文化賞・文化功績賞の決定について (2)えどがわ共創プラットフォームの開催について (3)令和8年度中学校入学予定者に対する希望調査の結果について (4)令和7年度全国学力・学習状況調査結果報告
11月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年第4回定例会付託議案審査
12月3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年第4回定例会付託議案審査 ・発議案の審査 ・陳情の審査 ・報告 (1)令和9年二十歳を祝う会 会場変更について (2)「文化・スポーツ基本構想」の策定 (3)東京 2025 デフリンピック 結果報告 (4)令和8年度改築予定校のスケジュール変更について (5)鎌田小学校の改築事業スケジュール変更について (6)松江第一中学校の改築事業スケジュール変更について (7)令和6年度における本区の暴力行為・いじめ認知件数・不登校の状況について (8)生命(いのち)の安全教育授業のご案内について
12月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・執行部職員紹介 ・発議案の審査

	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報 告 (1)塩沢江戸川荘特別室の利用開始について (2)令和8年江戸川区二十歳を祝う会について (3)登校時間前の小学生の居場所づくり事業の追加実施について (4)英語体験イベント「Edogawa English World」について
--	--

建設委員会

開催月日	審査事項
1月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報 告 (1)江戸川水閘門改築事業について
2月3日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情の審査 ・報 告 (1)東京都防災都市づくり推進計画の改定について (2)八潮市道路陥没事故に伴う下水道管破損による下水道汚水の河川放流について (3)令和6年区内交通事故の状況(1月～12月) (4)春江橋架替工事(その3)受注業者について
3月12日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年第1回定例会付託議案審査
3月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年第1回定例会付託議案審査 ・陳情の審査 ・報 告 (1)船堀四丁目地区市街地再開発事業の組合設立認可申請について (2)江戸川区街路灯灯具更新事業 (3)八潮市道路陥没事故に伴う下水道管破損による下水道汚水の河川放流の終了について (4)路面下空洞調査の速報
4月11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・異動幹部職員の紹介 ・陳情の審査 ・報 告 (1)下小岩小学校 新校舎の竣工について (2)江戸川小学校・下鎌田東小学校の統合・改築について (3)密集事業における公園の新設及び改修について (4)気候変動を踏まえた「荒川水系河川整備基本方針」変更概要 (5)「中川・綾瀬川流域水害対策計画」の策定について (6)「災害に強い首都「東京」の形成に向けた高台まちづくり整備の基本的な考え方」の策定について (7)国道357号 東京湾岸道路 荒川河口橋(海側)歩道橋 (8)第73回利根川水系連合・総合水防演習について

	(9) 令和7年度自転車用ヘルメットの購入補助について
5月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査・調査経過概要(案)の確認 ・ 陳情の審査 ・ 報告 (1) 令和7年5月8日に発生した停電事故について (2) 江戸川区土木特定施設長寿命化修繕計画の更新について (3) 路面下空洞調査 二次調査結果
5月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正副委員長の互選
6月17日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年第2回定例会付託議案審査 ・ 陳情の審査 ・ 報告 (1) 令和6年度 全建賞の受賞について 角野栄子児童文学館(通称:『魔法の文学館』) 新築工事 (2) 令和10年度改築予定校について (3) 荒川将来像計画 地区別計画改定について
7月9日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陳情の審査 ・ 報告 (1) JR小岩駅周辺地区まちづくり南小岩地区 まちづくりニュース特別号について (2) 第75回 利根川治水同盟治水大会について
8月1日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陳情の審査 ・ 報告 (1) 船堀四丁目地区市街地再開発組合設立認可について
8月6日(水) ～8日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管事務調査に伴う都市視察(北海道室蘭市、北海道登別市、北海道石狩市)
9月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陳情の審査 ・ 報告 (1) 下鎌田小学校及び小岩第一中学校の新校舎竣工について
10月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年第3回定例会付託議案審査 ・ 陳情の審査 ・ 報告 (1) 第36回 東京都道路整備事業推進大会について (2) 春江橋架替工事の現場見学会について
11月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陳情の審査 ・ 報告 (1) JR総武線平井駅ホームドアの供用開始について (2) 利根川近代改修150周年記念事業(パネルリレー展)について (3) R6江戸川右岸篠崎地先高規格堤防工事の概要について
12月3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年第4回定例会付託議案審査 ・ 陳情の審査 ・ 報告 (1) グリーンスローモビリティ試験走行について (2) 東京都下水道局工事における不適切な工事の事案について

	(3) 上篠崎一丁目北部土地区画整理事業造成工事（その4）について (4) 春江橋架替工事の現場見学会について
12月19日（金）	・陳情の審査 ・報告 (1) 西瑞江三丁目南地区まちづくりについて (2) 「東京における都市計画道路の整備方針（案）」意見募集について

議会運営委員会

開催月日	審査事項
2月6日（木）	・報告 第1回定例会に提出予定の議案について ・先議の依頼があった議案の取扱いについて ・予算特別委員会審査日程について ・予算特別委員会委員について ・予算特別委員会の会派等持ち時間について ・発議案の審査
2月13日（木）	・会期日程案、議事日程（第1号）案について ・予算特別委員会委員の交代について ・発議案の審査
2月14日（金）	・会期日程案、議事日程（第1号）案について ・発議案の審査
2月19日（水）	・報告 第1回定例会に追加提出する議案について ・追加議案の取扱いについて ・議事日程（第2号）案について ・報道機関による本会議の撮影及び録音について
2月20日（木）	・議事日程（第3号）案について
3月25日（火）	・報告 第1回定例会に追加提出する議案について ・追加議案の取扱いについて ・発議案の審査 ・陳情の審査 ・議事日程（第4号）案及び追加議事日程（第4号の追加1）案について ・令和7年第1回臨時会及び第2回定例会の会期日程案について ・令和7年第3回定例会の会期日程案について
4月24日（木）	・委員の辞任の報告 ・委員長の互選について ・座席の指定 ・理事の選出について ・臨時会の招集請求事項について
5月23日（金）	・審査・調査経過概要（案）の確認

	<ul style="list-style-type: none"> ・報 告 第1回臨時会に追加提出する議案について ・議事日程（第1号）案等について ・発議案の審査 ・陳情の審査
5月26日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・議事日程（第1号）案等について ・議長選挙について ・発議案の審査 ・陳情の審査
5月26日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・正副委員長の互選について ・発議案・陳情審査について ・理事の選出について
5月29日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・座席の指定 ・報 告 第2回定例会に提出予定の議案について ・発議案の審査 ・陳情の審査
6月5日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・報 告 第2回定例会に追加提出する議案について ・追加議案の取扱いについて ・会期日程案、議事日程（第1号）案について ・発議案の審査 ・陳情の審査
6月6日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・会期日程案、議事日程（第1号）案について ・発議案の審査 ・陳情の審査
6月11日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・議事日程（第2号）案について
6月12日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・議事日程（第3号）案について
6月24日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・発議案の審査 ・陳情の審査 ・議事日程（第4号）案について ・令和7年第3回定例会の会期日程（案） について ・令和7年第4回定例会の会期日程（案） について
7月31日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・報 告 議案について ・議案等の取扱いについて ・議事日程（第1号）案及び追加議事日程（第1号の追加1）案について ・発議案の審査 ・陳情の審査
8月1日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・議事日程（第1号）案及び追加議事日程（第1号の追加1）案について ・発議案の審査 ・陳情の審査

9月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告 第3回定例会に提出予定の議案について ・決算特別委員会委員について ・決算特別委員会の会派等持ち時間について ・発議案の審査 ・陳情の審査
9月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告 第3回定例会に追加提出する議案について ・追加議案の取扱いについて ・会期日程案、議事日程(第1号)案について ・決算特別委員会委員の交代について ・発議案の審査 ・陳情の審査
9月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・会期日程案、議事日程(第1号)案について ・決算特別委員会委員の交代について ・発議案の審査 ・陳情の審査
9月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・議事日程(第2号)案について ・発議案の審査 ・陳情の審査
9月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・議事日程(第3号)案について
10月7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告 第3回定例会に追加提出する議案について ・追加議案の取扱いについて
10月14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・議事日程(第4号)案について
10月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・発議案の審査 ・陳情の審査 ・議事日程(第5号)案について ・令和7年第4回定例会の会期日程(案)について ・令和8年第1回定例会の会期日程(案)について
11月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告 第4回定例会に提出予定の議案について ・発議案の審査 ・陳情の審査
11月20日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告 カスタマー・ハラスメントに関する、都条例及び区の基本方針について ・会期日程案、議事日程(第1号)案について ・議会運営委員会申し合わせ事項の一部改正について ・「江戸川区議会傍聴規則」及び「江戸川区議会委員会傍聴規則」の改正について ・発議案の審査 ・陳情の審査
11月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・会期日程案、議事日程(第1号)案について ・発議案の審査 ・陳情の審査
11月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告 第4回定例会に追加提出する議案について ・追加議案の取扱いについて

11月27日(木)	・議事日程(第2号)案について
11月28日(金)	・議事日程(第3号)案について
11月28日(金)	・本会議開議予定時刻
12月11日(木)	・発議案の審査 ・陳情の審査 ・議事日程(第4号)案について ・令和8年第1回定例会の会期日程(案)について ・令和8年第1回臨時会及び第2回定例会の会期日程(案)について

行財政改革・SDGs推進特別委員会

開催月日	審査事項
1月14日(月)	・本区の新庁舎等についての意見交換 ・メタバース区役所について
2月10日(月)	・視察 SDGsの推進について (JICA 地球ひろば)
4月15日(火)	・異動幹部職員の紹介 ・委員会調査概要の作成に向けた意見交換 ・報告(1)「江戸川」ナンバー交付開始について (2)第38回江戸川区民世論調査の実施について
5月14日(水)	・委員会調査概要の確認 ・報告(1)「江戸川」ナンバー交付開始に関する前回委員会での質問への回答
5月26日(月)	・正副委員長の互選
6月4日(水)	・座席の指定 ・執行部職員紹介 ・今年度の年間活動予定について
7月2日(水)	・年間活動予定について ・本区におけるミニ区役所とメタバース区役所の取組み及びAIの活用について ・報告(1)江戸川区公式キャラクターのデザイン募集
9月11日(木)	・年間活動予定について ・視察 SDGsの取組みについて (堀口養魚場、江環境エコセンター) ・報告(1)「サイバーセキュリティ基本方針」の策定・公表 (2)SDGsシーズンの開催 (3)第38回江戸川区民世論調査 結果概要 (4)「公共施設整備における民間活力導入指針」の策定

	<p>(5) 本庁舎跡地への小松川警察署移転に向けた意見交換会について</p> <p>(6) 船堀四丁目地区歩行者デッキの駅接続に関わる都市計画変更手続きの開始について（高台まちづくり）</p>
12月23日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・異動幹部職員の紹介 ・年間活動予定について ・新庁舎実施設計等の報告について ・報 告 (1) 令和7年度江戸川区行政評価実施結果の報告 <li style="padding-left: 20px;">(2) 江戸川区PRキャラクター区民投票の実施 <li style="padding-left: 20px;">(3) えどがわ共創プラットフォーム実施報告 <li style="padding-left: 20px;">(4) 船堀四丁目地区市街地再開発事業のスケジュール見直しについて <li style="padding-left: 20px;">(5) 新庁舎開庁までのスケジュール及び工事費について

災害対策・街づくり推進特別委員会

開催月日	審査事項
1月16日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・視 察 公共交通への自動運転バス導入に向けた取組みについて（羽田イノベーションシティ） ・報 告 (1) 「東京都による高潮浸水想定区域図の改定」及び「江戸川区水害ハザードマップの改定」について <li style="padding-left: 20px;">(2) 令和6年度 江東5区広域避難推進シンポジウムの開催について <li style="padding-left: 20px;">(3) 江戸川水閘門改築事業について
2月7日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・視 察 災害時の電力確保について（東京電力パワーグリッド株式会社江東支社） ・報 告 (1) 東京都防災都市づくり推進計画の改定について <li style="padding-left: 20px;">(2) 八潮市道路陥没事故に伴う下水道管破損による下水道汚水の河川放流について
4月21日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・異動幹部職員の紹介 ・委員会調査概要作成に向けての意見交換
5月13日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会調査概要の確認 ・報 告 (1) 地域防災計画改定における意見募集について <li style="padding-left: 20px;">(2) 第20回江戸川区合同水防訓練の実施概要 <li style="padding-left: 20px;">(3) 第60回江戸川区総合防災訓練の変更点（案） <li style="padding-left: 20px;">(4) 令和7年5月8日に発生した停電事故について <li style="padding-left: 20px;">(5) 江戸川区土木特定施設長寿命化修繕計画の更新について <li style="padding-left: 20px;">(6) 路面下空洞調査 二次調査結果
5月26日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・副委員長辞任の件 ・副委員長の互選

6月3日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・座席の指定 ・執行部職員紹介 ・今年度の年間活動予定について ・報告 (1) 東葛西五丁目の爆発事故について
7月7日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・視察 小松川エリアにおける浸水対策事業について (東大島幹線工事 発進立坑) ・報告 (1) 水害ハザードマップの改定及び全戸配布について (2) 環七高速鉄道(メトロセブン) 促進協議会 令和7年度総会開催について (3) 令和10年度 改築予定校について (4) 第75回 利根川治水同盟治水大会について
9月8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・視察 小岩駅前の再開発事業について (南小岩六丁目地区(Ⅲ街区))
12月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・輪島市の復興状況について ・報告 (1) 令和7年度 職員防災訓練(地震編)の実施について (2) 令和7年度 東京都国民保護共同訓練の実施予定について (3) グリーンスローモビリティ試験走行について (4) 西瑞江三丁目南地区まちづくりについて (5) 「東京における都市計画道路の整備方針(案)」意見募集について (6) 上篠崎一丁目北部土地区画整理事業造成工事(その4)について

健康推進・熟年者支援特別委員会

開催月日	審査事項
1月15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・視察 障がい者雇用の取組みについて (日本理化学工業株式会社)
2月4日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・視察 乳児の受け入れについて (わんぱく乳児院)
4月16日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・異動幹部職員の紹介 ・委員会調査概要作成に向けての意見交換 ・報告 (1) 「令和6年度江戸川区民生・児童委員訪問調査」の実施結果について (2) 後期高齢者に係る資格確認書の暫定運用の継続について
5月16日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会調査概要の確認 ・報告 (1) 平井・小松川地区の熟年相談室(地域包括支援センター)の分室廃止及び新規開設 (2) 「障害のある人が自分らしく暮らせるまち条例」啓発漫画の作成について

	<ul style="list-style-type: none"> (3) おやこで体験 障がい福祉フェスタ in アリオ葛西 (4) 令和7年度 Blue Sky Market (ブルースカイマーケット) 船堀駅前北口広場販売会 (5) 江戸フィルふれあいコンサート 2025 (6) 国民健康保険・後期高齢者医療制度の資格確認書等の一斉交付について
5月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長の互選
6月3日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・座席の指定 ・執行部職員の紹介 ・今年度の年間活動予定について ・報告 (1) 令和7年度介護保険料額決定通知書等の発送について <li style="padding-left: 2em;">(2) 歯と口の健康週間キャンペーンについて
7月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間活動予定について ・本区における孤独・孤立対策、未病の取組みについて ・報告 (1) 令和6年度江戸川区の高齢者虐待対応状況について <li style="padding-left: 2em;">(2) 令和6年度江戸川区の障害者虐待対応状況について <li style="padding-left: 2em;">(3) Edogawa Beer Project 推進 パートナー事業者の決定について <li style="padding-left: 2em;">(4) 夏の祭典 2025 について <li style="padding-left: 2em;">(5) がん患者アピランスケア支援事業の助成拡充について <li style="padding-left: 2em;">(6) 健康保険証の有効期限切れに伴う暫定的な取扱いについて <li style="padding-left: 2em;">(7) ゲートキーパー養成講座について
9月5日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間活動予定について ・視察 障害者支援について (地域活動支援センターこいわ) ・報告 (1) 令和7年度『笑顔いっぱい長寿の集い』開催日程について
9月5日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li style="padding-left: 2em;">(2) えどがわ障害者支援アプリ(ミライク)の機能追加について
12月12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間活動予定について ・視察 高齢者施設と障がい者施設の一体型複合施設について(特別養護老人ホームいずみ)

子ども支援・教育力向上特別委員会

開催月日	審査事項
1月22日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・視 察 新たな賑わいを創出する複合的文化施設について（ジェイトエル） ・報 告 (1) 令和6年度全国学力・学習状況調査結果報告 <li style="padding-left: 20px;">(2) 「江戸川区立学校プール整備方針（案）」への意見募集について <li style="padding-left: 20px;">(3) 江戸川区立小学校特別支援学級 連合てんらんかい <li style="padding-left: 20px;">(4) 「江戸川区こども計画」及び「社会的養育推進計画」の意見募集の実施 <li style="padding-left: 20px;">(5) 児童相談所の虐待相談対応状況
2月12日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・視 察 水素を見て触って体験しながら楽しく学べる学習施設について（東京スイソミル） ・報 告 (1) 令和7年江戸川区二十歳を祝う会実績報告 <li style="padding-left: 20px;">(2) 社会的養護自立支援拠点「You テラス」開設
4月18日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・異動幹部職員の紹介 ・委員会調査概要作成に向けての意見交換 ・報 告 (1) 令和7年度（第23回）鈴木「青少年の翼」の実施について <li style="padding-left: 20px;">(2) 未来を支える江戸川こどもプラン～江戸川区こども計画～の策定 <li style="padding-left: 20px;">(3) 江戸川区社会的養育推進計画の策定 <li style="padding-left: 20px;">(4) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律案の概要 <li style="padding-left: 20px;">(5) 令和6年度 教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査（結果概要） <li style="padding-left: 20px;">(6) 旧下鎌田小学校の後利用について（都立特別支援学校の新設） <li style="padding-left: 20px;">(7) 令和7年度江戸川区教育課題実践推進校における説明会等の日程について <li style="padding-left: 20px;">(8) 令和7年度体育的行事日程一覧 <li style="padding-left: 20px;">(9) 令和7年度土曜授業日程一覧 <li style="padding-left: 20px;">(10) 令和7年度チャレンジ・ザ・ドリーム実施日予定一覧 <li style="padding-left: 20px;">(11) 下小岩小学校 新校舎の竣工について <li style="padding-left: 20px;">(12) 江戸川小学校・下鎌田東小学校の統合・改築について <li style="padding-left: 20px;">(13) 「江戸川区立学校プール整備方針（案）」への意見募集結果及び「江戸川区学校プール整備方針」の公表について

5月19日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会調査概要の確認 ・報告 (1) 令和7年度認可保育施設の待機児童数について
5月26日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長の互選 ・副委員長の辞任 ・副委員長の互選
6月2日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・座席の指定 ・執行部職員紹介 ・今年度の年間活動予定について
7月1日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・年間活動予定について ・視察 文化スポーツプラザの取組みについて （文化スポーツプラザ） ・報告 (1) 「令和8年 江戸川区二十歳を祝う会」Next Stage～えどがわ20（トゥエンティ）～（運営委員）募集 (2) すくすくスクールの実施状況について (3) 区立小・中学校の児童（生徒）数・学級数 (4) 外国籍の児童・生徒の就学状況の確認について (5) 就学援助制度について（報告） (6) 令和10年度改築予定校について
9月1日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・視察 体験型英語学習施設について （TOKYO GLOBAL GATEWAY） ・報告 (1) 登校時間前の小学生の居場所づくり事業の先行実施について
12月12日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・年間活動予定について ・視察 児童相談所の現況と最新の取組みについて （江戸川区児童相談所 はあとポート） ・報告 (1) 令和9年二十歳を祝う会会場変更について (2) 令和8年度改築予定校のスケジュール変更について (3) 鎌田小学校の改築事業スケジュール変更について (4) 松江第一中学校の改築事業スケジュール変更について (5) 令和6年度における本区の暴力行為・いじめ認知件数・不登校の状況について

3 議案・報告

(1) 種類別議決件数

種 類		会 議	定 例 会				臨 時 会		計
			第一回	第二回	第三回	第四回	第一回	第二回	
区長提出議案	条例・予算等	条例の制定・改廃	30	24	4	20	0	0	78
		予 算	7	3	4	9	0	1	24
		契 約	2	3	16	0	0	0	21
		財産の購入売却等	0	3	0	0	0	0	3
		区道認定、変・廃	1	0	0	0	0	0	1
		町区域の変更等	0	0	0	0	0	0	0
		任命、選任同意	2	0	1	0	1	0	4
		そ の 他	8	0	0	17	0	0	25
		計	50	33	25	46	1	1	156
	報 告	決算の認定	0	0	1	0	0	0	1
		継続費等使用清算	0	2	1	0	0	0	3
		専決処分	1	0	0	1	1	0	3
		そ の 他	1	2	2	2	0	0	7
		計	2	4	4	3	1	0	14
小 計		52	37	29	49	2	1	170	
議員提出議案	条例、会議規則		2	1	1	0	0	0	4
	意 見 書		1	0	0	2	0	0	3
	そ の 他		0	1	0	0	0	0	1
	小 計		3	2	1	2	0	0	8
そ の 他	選 挙		0	0	0	0	2	0	2
	特別委員会の設置		1	0	1	0	0	0	2
	各委員会委員の選任	常任	0	0	0	0	5	0	5
		議運	0	0	0	0	1	0	1
		特別	1	0	1	0	4	0	6
	所管事務調査		0	5	0	0	0	0	5
小 計		2	5	2	0	12	0	21	
合 計			57	44	32	51	14	1	199

(2) 議案の審議結果

第1回定例会(2/14~3/25)

議案番号	件名	結果
第1号	令和7年度江戸川区一般会計予算	賛成37(自民12・公明12・超党5・無会5・維新2・無所属1) 7. 3. 25 可決 反対 5(共産4・無所属1)
第2号	令和7年度江戸川区国民健康保険事業特別会計予算	7. 3. 25 可決 全会一致(42:0)
第3号	令和7年度江戸川区介護保険事業特別会計予算	賛成38(自民12・公明12・超党5・無会5・維新2・無所属2) 7. 3. 25 可決 反対 4(共産4)
第4号	令和7年度江戸川区後期高齢者医療特別会計予算	賛成37(自民12・公明12・超党5・無会5・維新2・無所属1) 7. 3. 25 可決 反対 5(共産4・無所属1)
第5号	令和6年度江戸川区一般会計補正予算(第9号)	7. 3. 25 可決 全会一致(42:0)
第6号	令和6年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	7. 3. 25 可決 全会一致(42:0)
第7号	令和6年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	7. 3. 25 可決 全会一致(42:0)
第8号	江戸川区附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	7. 2. 20 可決 全会一致(43:0)
第9号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致(42:0)
第10号	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致(42:0)
第11号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致(42:0)
第12号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	7. 3. 25 可決 全会一致(42:0)
第13号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致(42:0)
第14号	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致(42:0)

議案番号	件名	結果
第15号	江戸川区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致 (42:0)
第16号	江戸川区長及び副区長の給料等に関する条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致 (42:0)
第17号	江戸川区長、副区長及び教育委員会教育長の給料の特例に関する条例	7. 2. 20 可決 賛成41 (自民12・公明12・超党6・無会5・共産4・無所属2) 反対 2 (維新2)
第18号	江戸川区監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 賛成41 (自民12・公明12・超党5・無会5・共産4・維新2・無所属1) 反対 1 (無所属1)
第19号	江戸川区行政委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致 (42:0)
第20号	職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致 (42:0)
第21号	江戸川区公契約条例の一部を改正する条例	7. 2. 20 可決 賛成42 (自民12・公明12・超党6・無会5・共産4・維新2・無所属1) 反対 1 (無所属1)
第22号	江戸川区事務手数料条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致 (42:0)
第23号	江戸川区児童発達支援センター条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致 (42:0)
第24号	江戸川区育成室条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致 (42:0)
第25号	江戸川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致 (42:0)
第26号	江戸川区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 全会一致 (42:0)
第27号	江戸川区一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例	7. 3. 25 可決 全会一致 (42:0)
第28号	江戸川区地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	7. 3. 25 可決 賛成41 (自民12・公明12・超党5・無会5・共産4・維新2・無所属1) 反対 1 (無所属1)

議案番号	件名 結果
第29号	江戸川区公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第30号	東京都市計画事業篠崎駅西部土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第31号	江戸川区「特別区道」道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第32号	江戸川区公共溝渠管理条例の一部を改正する条例 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第33号	江戸川区立公園条例の一部を改正する条例 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第34号	江戸川区新川さくら館条例の一部を改正する条例 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第35号	江戸川区教育研究所条例の一部を改正する条例 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第36号	江戸川区すくすくスクール事業条例の一部を改正する条例 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第37号	特別区道の路線認定について 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第38号	江戸川区立平井南小学校教室棟外解体工事請負契約 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第39号	江戸川区立松本小学校教室棟外解体工事請負契約 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第40号	債権の放棄について 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第41号	債権の放棄について 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第42号	債権の放棄について 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第43号	債権の放棄について 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第44号	債権の放棄について 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)
第45号	債権の放棄について 7. 3. 25 可決 全会一致 (42 : 0)

議案番号	件 結	名 果
第46号	債権の放棄について 7. 3. 25 可決	全会一致 (42 : 0)
第47号	債権の放棄について 7. 3. 25 可決	全会一致 (42 : 0)
第48号	江戸川区長、副区長及び教育委員会教育長の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例 7. 3. 25 可決	全会一致 (42 : 0)

同意番号	件 結	名 果
第1号	江戸川区教育委員会委員の任命同意について 7. 2. 20 同意	全会一致 (43 : 0)
第2号	江戸川区教育委員会教育長の任命同意について 7. 3. 25 同意	全会一致 (42 : 0)

報告番号	件 結	名 果
第1号	専決処分した事件の報告について 7. 2. 14 受理	
第2号	議決を得た契約の契約変更について 7. 2. 14 受理	

第1回臨時会 (5/26)

同意番号	件 結	名 果
第3号	江戸川区監査委員の選任同意について 7. 5. 26 同意	全会一致 (43 : 0)

報告番号	件 結	名 果
第3号	専決処分した事件の報告及び承認について 〔江戸川区特別区税条例の一部を改正する条例〕 7. 5. 26 承認	全会一致 (43 : 0)

第2回定例会（6/6～6/24）

議案番号	件名 結果
第49号	令和7年度江戸川区一般会計補正予算（第1号） 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第50号	令和7年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算（第1号） 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第51号	江戸川区附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第52号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第53号	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第54号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第55号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第56号	江戸川区特別区税条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第57号	江戸川区事務手数料条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第58号	江戸川区立くすのきカルチャーセンター条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第59号	江戸川区立障害者就労支援センター条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第60号	江戸川区指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第61号	江戸川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第62号	江戸川区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第63号	江戸川区保育認定子どもの利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）

議案番号	件名 結果
第64号	江戸川区児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)
第65号	江戸川区乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 7. 6. 24 可決 賛成39 (自民12・公明12・超党6・無会5・維新2・無所属2) 反対 4 (共産4) 反
第66号	江戸川区熟年者激励手当条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 賛成38 (自民12・公明12・超党6・無会5・維新2・無所属1) 反対 5 (共産4・無所属1)
第67号	江戸川区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)
第68号	江戸川区難病患者福祉手当条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)
第69号	江戸川区民間賃貸住宅家賃等助成条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 賛成38 (自民12・公明12・超党6・無会5・維新2・無所属1) 反対 5 (共産4・無所属1)
第70号	江戸川区子ども医療費助成条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)
第71号	江戸川区住まいの改造助成条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 賛成42 (自民12・公明12・超党6・無会5・共産4・維新2・無所属1) 反対 1 (無所属1)
第72号	江戸川区災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)
第73号	江戸川区私道排水設備改築助成条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)
第74号	江戸川区立学校設置条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)
第75号	小松川区民施設機械設備改修工事請負契約 7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)
第76号	江戸川区立中小岩小学校教室棟外解体工事請負契約 7. 6. 24 可決 賛成39 (自民12・公明12・超党6・無会5・維新2・無所属2) 反対 4 (共産4)
第77号	春江橋架替工事 (その5) 請負契約 7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)

議案番号	件名	結果
第78号	物品の買入れについて	7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)
第79号	物品の買入れについて	7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)
第80号	物品の買入れについて	7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)
第81号	令和7年度江戸川区一般会計補正予算 (第2号)	7. 6. 24 可決 全会一致 (43 : 0)

報告番号	件名	結果
第4号	放棄した私債権の報告について	7. 6. 6 受理
第5号	令和6年度江戸川区一般会計の継続費の繰越使用について	7. 6. 6 受理
第6号	令和6年度江戸川区一般会計の繰越明許費の繰越使用について	7. 6. 6 受理
第7号	議決を得た契約の契約変更について	7. 6. 6 受理

第2回臨時会 (8/1)

議案番号	件名	結果
第82号	令和7年度江戸川区一般会計補正予算 (第3号)	7. 8. 1 可決 賛成42 (自民12・公明12・超党6・無会5・共産4・ 維新2・無所属1) 反対 1 (無所属1)

第3回定例会 (9/19~10/27)

議案番号	件名	結果
第83号	令和7年度江戸川区一般会計補正予算 (第4号)	7. 10. 27 可決 全会一致 (43 : 0)
第84号	令和7年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)	7. 10. 27 可決 全会一致 (43 : 0)
第85号	令和7年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算 (第2号)	7. 10. 27 可決 全会一致 (43 : 0)

議案番号	件名	結果
第86号	令和7年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	7.10.27 可決 全会一致(43:0)
第87号	江戸川区附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	7.10.27 可決 全会一致(43:0)
第88号	江戸川区立障害者支援ハウス条例の一部を改正する条例	7.10.27 可決 全会一致(43:0)
第89号	江戸川区発達相談・支援センター条例の一部を改正する条例	7.10.27 可決 全会一致(43:0)
第90号	江戸川区自転車等の駐車秩序に関する条例の一部を改正する条例	7.10.27 可決 賛成42(自民12・公明12・超党6・無会5・共産4・ 維新2・無所属1) 反対1(無所属1)
第91号	江戸川区立葛西第二中学校改築工事請負契約	7.9.25 可決 賛成30(自民12・公明12・超党6) 反対13(無会5・共産4・維新2・無所属2)
第92号	江戸川区立葛西第二中学校改築に伴う電気設備工事請負契約	7.9.25 可決 賛成30(自民12・公明12・超党6) 反対13(無会5・共産4・維新2・無所属2)
第93号	江戸川区立葛西第二中学校改築に伴う機械設備工事請負契約	7.9.25 可決 賛成30(自民12・公明12・超党6) 反対13(無会5・共産4・維新2・無所属2)
第94号	総合文化センター非構造部材天井改造その他工事請負契約	7.10.27 可決 賛成42(自民12・公明12・超党6・無会5・共産4・ 維新2・無所属1) 反対1(無所属1)
第95号	総合文化センター電気設備改修工事請負契約	7.10.27 可決 全会一致(43:0)
第96号	総合文化センター機械設備改修工事請負契約	7.10.27 可決 全会一致(43:0)
第97号	総合文化センター舞台照明設備改修工事請負契約	7.10.27 可決 全会一致(43:0)
第98号	総合文化センター舞台機構設備改修工事請負契約	7.10.27 可決 賛成42(自民12・公明12・超党6・無会5・共産4・ 維新2・無所属1) 反対1(無所属1)
第99号	小岩アーバンプラザ電気設備改修工事請負契約	7.10.27 可決 全会一致(43:0)

議案番号	件名	結果
第100号	小岩アーバンプラザ機械設備改修工事請負契約	7. 10. 27 可決 全会一致 (43 : 0)
第101号	東葛西コミュニティ会館機械設備改修工事請負契約	7. 10. 27 可決 全会一致 (43 : 0)
第102号	旧下小岩小学校校舎等解体その他工事請負契約	7. 10. 27 可決 全会一致 (43 : 0)
第103号	上篠崎一丁目北部土地区画整理事業造成工事 (その4) 請負契約	7. 10. 27 可決 賛成27 (自民12・公明12・維新2・無所属1) 反対16 (超党6・無会5・共産4・無所属1)
第104号	江戸川区立上小岩小学校改築工事請負契約	7. 10. 27 可決 賛成30 (自民12・公明12・超党6) 反対13 (無会5・共産4・維新2・無所属2)
第105号	江戸川区立上小岩小学校改築に伴う電気設備工事請負契約	7. 10. 27 可決 賛成30 (自民12・公明12・超党6) 反対13 (無会5・共産4・維新2・無所属2)
第106号	江戸川区立上小岩小学校改築に伴う機械設備工事請負契約	7. 10. 27 可決 賛成30 (自民12・公明12・超党6) 反対13 (無会5・共産4・維新2・無所属2)

同意番号	件名	結果
第4号	江戸川区副区長の選任同意について	7. 9. 19 同意 全会一致 (43 : 0)

報告番号	件名	結果
第8号	令和6年度江戸川区各会計歳入歳出決算の認定について	7. 10. 27 認定 賛成38 (自民12・公明12・超党6・無会5・維新2・無所属1) 反対5 (共産4・無所属1)
第9号	令和6年度決算に基づく江戸川区健全化判断比率の報告について	7. 9. 19 受理
第10号	令和6年度江戸川区一般会計の継続費の精算について	7. 9. 19 受理
第11号	議決を得た契約の契約変更について	7. 9. 19 受理

第4回定例会（11/21～12/11）

議案番号	件名	結果
第107号	令和7年度江戸川区一般会計補正予算（第5号）	賛成41（自民12・公明11・超党6・無会5・共産4・維新2・無所属1） 7.12.11 可決 反対 1（無所属1）
第108号	令和7年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	7.12.11 可決 全会一致（42：0）
第109号	令和7年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	7.12.11 可決 全会一致（42：0）
第110号	令和7年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	7.12.11 可決 全会一致（42：0）
第111号	江戸川区議会議員選挙及び江戸川区長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	7.12.11 可決 全会一致（42：0）
第112号	江戸川区附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	賛成41（自民12・公明11・超党6・無会5・共産4・維新2・無所属1） 7.12.11 可決 反対 1（無所属1）
第113号	江戸川区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	7.12.11 可決 全会一致（42：0）
第114号	江戸川区個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	7.12.11 可決 全会一致（42：0）
第115号	江戸川区事務手数料条例の一部を改正する条例	7.12.11 可決 全会一致（42：0）
第116号	江戸川区育成室条例を廃止する条例	7.12.11 可決 全会一致（42：0）
第117号	江戸川区住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止する条例	7.12.11 可決 全会一致（42：0）
第118号	江戸川区印鑑条例の一部を改正する条例	7.12.11 可決 全会一致（42：0）
第119号	生活に困窮しても安心して暮らせるまち条例	7.12.11 可決 全会一致（42：0）
第120号	江戸川区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	7.12.11 可決 全会一致（42：0）
第121号	江戸川区認定こども園の認定要件に関する条例の一部を改正する条例	7.12.11 可決 全会一致（42：0）

議案番号	件名	結果
第122号	江戸川区客引き行為等の防止に関する条例	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第123号	江戸川区良好な生活環境の確保に関する条例	7.12.11 可決 賛成41 (自民12・公明11・超党6・無会5・共産4 維新2・無所属1) 反対 1 (無所属1)
第124号	使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	7.12.11 可決 賛成38 (自民12・公明11・超党6・無会5・維新2・ 無所属2) 反対 4 (共産4)
第125号	江戸川区自転車駐車場条例の一部を改正する条例	7.12.11 可決 賛成38 (自民11・公明12・超党6・無会5・維新2・ 無所属2) 反対 4 (共産4)
第126号	江戸川区総合区民ホールの指定管理者の指定について	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第127号	江戸川区総合文化センターの指定管理者の指定について	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第128号	江戸川区立穂高荘の指定管理者の指定について	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第129号	塩沢江戸川荘の指定管理者の指定について	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第130号	江戸川区民センターの指定管理者の指定について	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第131号	江戸川区総合体育館の指定管理者の指定について	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第132号	江戸川区スポーツセンターの指定管理者の指定について	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第133号	江戸川区スポーツランドの指定管理者の指定について	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第134号	江戸川区陸上競技場、江戸川区球場及び江戸川区臨海球技場の指定管理者の指定について	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第135号	江戸川区立ホテルシーサイド江戸川の指定管理者の指定について	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第136号	江戸川区そよ風松島荘の指定管理者の指定について	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第137号	江戸川区立障害者就労支援センターの指定管理者の指定について	7.12.11 可決 全会一致 (42:0)

議案番号	件名 結果
第138号	江戸川区小岩児童発達支援センターの指定管理者の指定について 7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第139号	江戸川区営本一色町第二アパート、江戸川区営江戸川中央一丁目第二アパート及び江戸川区営中葛西四丁目アパートの指定管理者の指定について 7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第140号	江戸川区自転車駐車場の指定管理者の指定について 7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第141号	江戸川区自転車駐車場の指定管理者の指定について 7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第142号	江戸川区自転車駐車場の指定管理者の指定について 7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第143号	令和7年度江戸川区一般会計補正予算 (第6号) 7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第144号	令和7年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算 (第3号) 7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第145号	令和7年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算 (第4号) 7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第146号	令和7年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号) 7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第147号	令和7年度江戸川区一般会計補正予算 (第7号) 7.12.11 可決 全会一致 (42:0)
第148号	江戸川区長及び副区長の給料等に関する条例の一部を改正する条例 7.12.11 可決 賛成40 (自民12・公明11・超党6・無会5・共産4・無所属2) 反対 2 (維新2)
第149号	江戸川区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例 7.12.11 可決 賛成40 (自民12・公明11・超党6・無会5・共産4・無所属2) 反対 2 (維新2)
第150号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 7.11.28 可決 全会一致 (41:0)
第151号	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 7.11.28 可決 全会一致 (41:0)
第152号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 7.11.28 可決 全会一致 (41:0)

報告番号	件名 結果
第12号	専決処分した事件の報告について 7. 11. 21 受理
第13号	放棄した私債権の報告について 7. 11. 21 受理
第14号	議決を得た契約の契約変更について 7. 11. 21 受理

4 議員提出議案

(1) 発議案の審議結果

第1回定例会（2/14～3/25）

発議案番号	件名 結 果
第23号	江戸川区議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例 7. 3. 25 可決 全会一致（42：0）
第24号	江戸川区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 7. 3. 25 可決 全会一致（42：0）
第25号	性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書 7. 3. 25 可決 全会一致（42：0）

第2回定例会（6/6～6/24）

発議案番号	件名 結 果
第26号	東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）
第27号	江戸川区政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例 7. 6. 24 可決 全会一致（43：0）

第3回定例会（9/19～10/27）

発議案番号	件名 結 果
第28号	江戸川区インターネット健全利用促進条例の一部を改正する条例 7. 10. 27 可決 全会一致（43：0）
第29号	江戸川区立園・学校の校外学習及び宿泊を伴う校外学習活動費無償化に関する条例 7. 10. 27 文教委員会付託 継続審査
第30号	江戸川区立幼小中学校学用品費無償化に関する条例 7. 10. 27 文教委員会付託 継続審査

第4回定例会（11/21～12/11）

発議案番号	件名 結 果
第31号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する意見書 7. 12. 11 可決 全会一致（42：0）
第32号	巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書 7. 12. 11 可決 全会一致（42：0）

(2) 発議案

第23号発議案

江戸川区議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

江戸川区議会の個人情報の保護に関する条例（令和五年十一月江戸川区条例第五十一号）の一部を次のように改正する。

第二条第十項中「以下」を「第十二条第五項において」に、「第二条第八項」を「第二条第九項」に改める。

第十二条第五項中「及び第二十九条」を削り、「第二条第九項」を「第二条第十項」に改める。

第十七条第一項各号列記以外の部分中「以下」を「第三項において」に改め、同条第二項第一号ア中「又は報酬、」を「若しくは報酬若しくは」に、「その他」を「又は」に改める。

第十八条第一項中「議会の保有する」を削り、同条第二項中「この章において」及び「この章及び第五十条において」を削る。

第二十七条第二項中「この章において」を削る。

第三十一条第一項中「この章において」を削り、同条第二項中「この章及び第五十条において」を削る。

第三十二条第四項中「この章において」を削る。

第三十九条第一項ただし書中「この章において」を削り、同条第二項中「この章及び第五十条において」を削る。

第四十条第四項中「この章において」を削る。

第四十九条中「第四章」を「前章」に改める。

第五十条中「特定」の下に「に資する情報の提供」を加える。

第五十五条から第五十七条までの規定中「懲役」を「拘禁刑」に改める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

一 第二条第十項の改正規定（「第二条第八項」を「第二条第九項」に改める部分に限る。）及び第十二条第五項の改正規定（「第二条第九項」を「第二条第十項」に改める部分に限る。） 令和七年四月一日

二 第五十五条から第五十七条までの改正規定及び次項から第四項までの規定
令和七年六月一日

(罰則の適用等に関する経過措置)

2 この条例の施行前にした行為の処罰については、なお従前の例による。

3 この条例の施行後にした行為に対して、他の条例の規定によりなお従前の例によることとされ、なお効力を有することとされ又は改正前若しくは廃止前の条例の規定の例によることとされる罰則を適用する場合において、当該罰則に定める刑に刑法等の一部を改正する法律（令和四年法律第六十七号。以下「刑法等一部改正法」という。）第二条の規定による改正前の刑法（明治四十年法律第四十五号。以下この項において「旧刑法」という。）第十二条に規定する懲役（以下「懲役」という。）（有期のものに限る。以下この項において同じ旧刑法第十三条に規定する禁錮（以下「禁錮」という。）（有期のものに限る以下この項において同じ。）又は旧刑法第十六条に規定する拘留（以下「旧拘留」という。）が含まれるときは、当該刑のうち懲役又は禁錮はそれぞれその刑と長期及び短期を同じくする有期拘禁刑と、旧拘留は長期及び短期を同じくする拘留とする。

(経過措置の規則への委任)

4 付則第二項及び前項に定めるもののほか、刑法等一部改正法及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律（令和四年法律第六十八号）並びにこの条例の施行に伴い必要な経過措置は、江戸川区議会規則で定める。

(説明)

刑法（明治四十年法律第四十五号）及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成二十五年法律第二十七号）の改正に伴い、規定を整備する必要があるので、本案を提出いたします。

第 24 号発議案

江戸川区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

江戸川区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（昭和三十一年十月江戸川区条例第十三号）の一部を次のように改正する。

第七条第一項中「車賃、日当、宿泊料、食卓料、支度料及び旅行雑費」を「その他の交通費、宿泊費、宿泊手当、渡航雑費及び死亡手当」に改める。

付 則

この条例は、令和七年四月一日から施行する。

（説明）

国家公務員等の旅費に関する法律（昭和二十五年法律第百十四号）の改正に伴い、規定を整備する必要があるので、本案を提出いたします。

性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書

性犯罪をした者に対して、矯正施設等において再犯防止プログラム等が実施されていますが、出所後も地域社会において継続することが重要です。

令和 5 年 3 月、法務省は自治体向けに「性犯罪の再犯防止に向けた地域ガイドライン～再犯防止プログラムの活用～」を策定し、このガイドラインを踏まえて、性犯罪の再犯防止に都道府県等が主体となって取り組むことが期待されています。

性犯罪をした者の出所後の住所等については、法務省から情報提供を受け都道府県等が把握する仕組みはなく、実際に当事者に対して直接再犯防止の取組を行うことは困難であるため、一部の都道府県では、子どもに対して性犯罪をした者に、矯正施設等を出所する際に住所等の届出を求める条例を制定し、届け出られた情報をもとに、カウンセリングなどの再犯防止・社会復帰支援を行っています。

こうした条例に基づく届出の仕組みがなくとも各自治体が再犯防止の取組を効果的に進めるためには、国、自治体、関係機関等の連携や性犯罪をした者に係る情報の共有が極めて重要であり、国からのより一層の支援が不可欠です。

よって政府は、次の事項について所要の措置を講じられるよう強く要望します。

記

- 1 性犯罪をした者に対し、矯正施設等を出所した後も自治体による再犯防止プログラム等を受ける意義について啓発を図ること。
- 2 再犯防止プログラム等への参加につなげるため、性犯罪をした者が矯正施設等を出所する際に、当事者の住所等を任意で国に届け出る仕組みをつくり、届け出られた情報を自治体に提供すること。
- 3 自治体では、性犯罪の再犯防止に必要な知識や技術を十分に有していないことから、再犯防止に係る人材の育成について支援すること。

以上、地方自治法第 99 条に基づき意見書を提出します。

令和 7 年 3 月 25 日

江戸川区議会議長 藤 澤 進 一

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣
法務大臣、厚生労働大臣 あて

第 26 号発議案

東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における
候補者の推薦について

東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙において、下記の者を候補者に推薦する。

記

江戸川区議会議員 島 村 和 成

(説明)

東京都後期高齢者医療広域連合規約(平成19年3月1日東京都知事許可)第8条第1項の規定に基づき、東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者を推薦する必要があるため、本案を提出いたします。

第 27 号発議案

江戸川区政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

江戸川区政務活動費の交付に関する条例（平成十三年三月江戸川区条例第二号）の一部を次のように改正する。

第六条第一項中「作成し」の下に「、議長に提示し、その事前確認を受けた上で」を加え、「一月」を「五十日」に、「提出しなければならない」を「提出しなければならず、その期限までに報告書等の提出がない活動費については、返還しなければならない」に改める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

（説明）

政務活動費の精算に際して、実績報告書等の提出期限を会計年度終了後一月以内から五十日以内に改めるとともに、提出に先立ち事前確認を受けることとするほか、期限を超過した場合の取扱いを明確にする必要があるので、本案を提出します。

第 28 号発議案

江戸川区インターネット健全利用促進条例の一部を改正する条例

江戸川区インターネット健全利用促進条例（令和四年三月江戸川区条例第十九号）の一部を次のように改正する。

第三条第二項中「特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律」を「特定電気通信による情報の流通によって発生する権利侵害等への対処に関する法律」に、「第二条第三号」を「第二条第四号」に改める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

（説明）

特定電気通信による情報の流通によって発生する権利侵害等への対処に関する法律（平成十三年法律第百三十七号）の改正に伴い、同法の規定に移動が生じるため、規定を整備する必要があるので、本案を提出いたします。

第 29 号発議案

江戸川区立園・学校の校外学習及び宿泊を伴う校外学習活動費無償化に関する条例

(目的)

第一条 この条例は、江戸川区立の幼稚園、小学校又は中学校（以下「区立園・学校」という。）に在籍する園児、児童又は生徒（以下「園児及び児童生徒」という。）に対し、在籍園又は在籍校の校外学習（宿泊を伴う校外学習を含む（以下「校外学習」という。））に要する費用を給付することにより、保護者の負担軽減を図り、もって子育て支援及び教育の充実に資することを目的とする。

(対象者)

第二条 第四条に規定する補助金の給付の対象者は、園児及び児童生徒とする。

2 前項の規定にかかわらず、直前の在籍校の休暇を理由とした一時的な編入その他の事情により、区立園・学校での在籍が短期間に限られることがあらかじめ明らかである者は、給付の対象者とししない。

(対象とする校外学習)

第三条 次の各号のいずれかに該当する校外学習を給付対象とする。

一 区立園・学校が教育課程として実施する校外学習で、園長又は学校長が江戸川区教育委員会に届出をし、その経費を算定した内容が妥当であるもの

二 前号に準ずる校外学習として江戸川区教育委員会が認めるもの

(給付方法)

第四条 園児及び児童生徒の在籍園又は在籍校の園長又は学校長に対し、前条に規定する校外学習に必要な費用（以下「補助金」という。）を、保護者への出欠確認後、実施時期に応じ給付する。

(補助金の額)

第五条 補助金の額は、事業年度の一年間に園児及び児童生徒が参加する第三条に規定する校外学習の費用を充当する額とし、江戸川区教育委員会規則で定める額を上限とする。

第六条 この条例の施行について必要な事項は、江戸川区教育委員会規則で定める。

付 則

この条例は、令和八年四月一日から施行する。

(説明)

区立の幼稚園及び義務教育諸学校に在籍する児童及び生徒の校外学習（宿泊を伴う校外学習を含む。）の保護者負担を無償化し、子育て支援及び教育の充実に資するため、本案を提出いたします。

第 30 号発議案

江戸川区立幼小中学校学用品費無償化に関する条例

(目的)

第一条 この条例は、江戸川区立の幼稚園、小学校又は中学校（以下「区立園・学校」という。）に在籍する園児、児童又は生徒（以下「園児及び児童生徒」という。）に対し、在籍園又は在籍校の教育活動に要する補助教材等を給付することにより、保護者の負担軽減を図り、もって子育て支援及び教育の充実に資することを目的とする。

(対象者)

第二条 補助教材等の給付の対象者は、園児及び児童生徒とする。

2 前項の規定にかかわらず、直前の在籍校の休暇を理由とした一時的な編入その他の事情により、区立園・学校での在籍が短期間に限られることがあらかじめ明らかである者は、給付の対象者とししない。

(対象教材)

第三条 次の各号のいずれかに該当する補助教材等（以下「対象教材」という。）を給付対象とする。

一 区立園・学校が選定した教材等又は園長若しくは学校長が江戸川区教育委員会に届出をし、継続使用する教材等

二 前号に準ずる教材等として江戸川区教育委員会が認めるもの

(給付方法)

第四条 園児及び児童生徒の在籍園又は在籍校の園長又は学校長に対し、対象教材の購入のために必要な費用（以下「補助金」という。）を交付することにより、当該園児及び児童生徒に対象教材の現物を給付する。

(補助金の額)

第五条 補助金の額は、園児及び児童生徒が事業年度の一年間に使用する対象教材の購入に必要な額とし、江戸川区教育委員会規則で定める額を上限とする。

第六条 この条例の施行について必要な事項は、江戸川区教育委員会規則で定める

付 則

この条例は、令和八年四月一日から施行する。

(説明)

区立の幼稚園及び義務教育諸学校に在籍する児童及び生徒の学用品費の保護者負担を軽減し、子育て支援及び教育の充実に資する必要があるため、本案を提出いたします。

第 31 号発議案

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する意見書

政府の経済見通しでは、賃金上昇による個人消費の増加等により、引き続き民間需要主導の経済成長が期待されるものの、区民や小規模事業者を取り巻く環境は、歴史的な円安による物価の高騰やエネルギー等原材料費の高騰、海外経済の不確実性など、依然として様々な危機にさらされています。

こうした中、東京都が独自施策として実施している、小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置、小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税の減免措置、及び商業地等における固定資産税及び都市計画税について負担水準の上限を引き下げる減額措置をそれぞれ廃止することになれば、小規模事業者の経営や区民の生活はさらに厳しいものになり、ひいては地域社会の活性化や景気の回復に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

よって、江戸川区議会は、東京都に対し、下記の事項を令和 8 年度以後も継続するよう強く要望します。

記

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を 2 分の 1 とする軽減措置を行うこと。
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を 2 割減額する減免措置を行うこと。
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について負担水準の上限を 65% に引き下げる減額措置を行うこと。

以上、地方自治法第 99 条の規定により、意見書を提出します。

令和 7 年 12 月 11 日

江戸川区議会議長 島 村 和 成

東京都知事 あて

第 32 号発議案

巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書

近年、我が国では地震・台風・豪雨など自然災害が頻発しており、国民の生命・生活・経済活動に甚大な被害をもたらしています。特に今後発生が懸念される東海南海トラフ地震や首都直下地震、さらには富士山噴火等の巨大災害は、我が国全体に極めて深刻な影響を及ぼすことが想定されています。

このような状況を踏まえ、政府は「防災庁」の設置を決定し、災害に強い国づくりを目指して体制整備を進めていますが、実際の災害対応においては、地方自治体・地域住民・民間団体・ボランティア組織などとの連携強化が不可欠です。

よって、政府におかれては、国民の命と暮らしを守るために、災害に強い国づくりの実現に向けて、次の事項について速やかに対応されるよう強く要望します。

記

- 1 東海南海トラフ地震や首都直下地震等の発生に備え、発災時における国の支援体制を一層強化し、被災地への人員・物資・情報支援が円滑かつ迅速に行われる仕組みを確立すること。
- 2 各地方自治体と連携し、災害時の情報共有体制、避難計画、医療・福祉・インフラ維持などの分野での協働体制を平時から確実に整備・確認すること。
- 3 新設される防災庁においては、中央政府と地方自治体、各種支援団体との緊密な連携を図り、災害対応の一元化・迅速化を実現するための機能を強化すること。
- 4 国の防災施策や制度変更については、地方自治体に対して十分な説明責任を果たし、人的・財政的支援を適切に講じること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により、意見書を提出します。

令和 7 年 12 月 11 日

江戸川区議会議長 島 村 和 成

内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣（防災担当）
総務大臣 あて

5 一般質問事項一覧

(1) 第1回定例会

島村和成（区議会自由民主党）

- 1 先々を見据える土台が築かれる中での、区政の方向性について
- 2 子どもたちへのSDGsの学びの提案について
- 3 防犯対策（防犯対策機器購入補助）について
- 4 江戸川区における製品プラスチックの回収について
- 5 江戸川区と公益社団法人在日インド商工協会及び東京商工会議所江戸川支部との包括連携に関する協定について
- 6 就労困難者への就労支援の取組みについて
- 7 児童・生徒の学力向上の取組みについて
- 8 友好都市鶴岡市への修学旅行実施について

関根麻美子（江戸川区議会公明党）

- 1 令和7年度予算に込めた区長の思いについて
- 2 「住み続けられるまちづくり」について
 - (1) 今後の災害対策の基本的な考え方について
 - (2) 高所カメラAI火災検知システムの活用と災害対応能力について
 - (3) IoT街路灯システムの活用について
- 3 本区における今後の子育て支援について
 - (1) 「えどがわ50の子育てプラン」の今後の取組みと区長の決意について
 - (2) 「未来を支える江戸川こどもプラン」について、これまでのプランと何が違い、何を重点にするのか
 - (3) 授乳室における搾乳マークの表示と周知啓発について
 - (4) HPVワクチンキャッチアップ接種の更なる周知啓発と高校1年生への個別勧奨について
- 4 質の高い教育の推進について
 - (1) 未来に生きる江戸川区の子どもたちへの教育長の思いについて
 - (2) 令和7年度の学力向上の目標と取組みについて
 - (3) 不登校対策について
 - ① 校内別室登校支援と不登校対応コーディネーターの小中学校全校展開について
 - ② 不登校未然防止として、L-Gate「毎日の記録」の活用について
 - ③ 多様な学びの学習評価と不登校がそもそも起きない学校づくりについて
 - (4) 特別支援教育について
 - ① ユニバーサルデザインの環境づくりについて
 - ② 学校現場と児童発達支援センター等関係機関との連携について
 - ③ 学校現場へ各種専門職の支援について

- 5 金魚文化の継承について
 - (1) 予算を組むに至った背景について
 - (2) 具体的な事業の展開について
 - (3) 金魚文化の継承に対する区長の熱き思いについて
- 6 新たな公共交通の検討について

笹本ひさし（超党派えどがわ）

- 1 令和7年度予算編成について効率戦略と経済成長の両立について
- 2 選択的夫婦別姓について
- 3 公契約の今後のあるべき制度改革に向けて
- 4 不適切発注について
- 5 監査制度について

小林あすか（無所属の会）

- 1 平井東小学校の渡り廊下における分割発注について
 - (1) 分割発注したことにより、割高な金額になっていないか
 - (2) 今回の建築物の金額は妥当であったのか
 - (3) 不適切事務発覚後の情報公開のあり方について
- 2 不適切事務の全庁調査について
 - (1) 調査チームのメンバー構成について
 - (2) 不適切事務を受けての区長、副区長、教育長の給料の特例のあり方について
 - (3) 監査のあり方について
- 3 たばこを吸う人も吸わない人も気持ちよく共存する街を目指して
 - (1) たばこについて共通認識するためのガイドラインが必要ではないか
 - (2) たばこ税を分煙対策事業にも積極的に活用してはどうか
 - (3) 公衆喫煙所等設置助成金を江戸川区でも活用してはどうか
- 4 区立小中学校における指定品や標準服について
 - (1) 標準服や上履き等を学校で指定する意義や理由は何か
 - (2) 制服リサイクルをより活用されるものにするための工夫を
- 5 デジタル社会における読書科推進の重要性について
 - (1) 読書科の現状とその課題について
 - (2) オンライン情報と書籍情報等の使い分けについて
- 6 きこえの教室の中央地域設置について検討してほしい

小俣則子（日本共産党江戸川区議員団）

- 1 終戦80年、平和都市宣言30年の節目の江戸川区の取組みについて
 - (1) 日本被団協のノーベル平和賞受賞、及び核兵器廃絶への区長の考えについて
 - (2) 江戸川区の平和都市宣言に非核を加え、「非核平和都市宣言」に発展させることについて

- (3) 3月の核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を政府に求めることについて
- 2 江戸川区の職員が生き活きと安定的・継続的に働ける環境について
 - (1) 今年度の普通退職者数の見込みについて
 - (2) 職員の普通退職の増加傾向や幹部職員の定年前の退職が続いたことについて
 - (3) 職員のモチベーションの維持と職場環境づくりの取組みについて
- 3 12月15日特別号広報えどがわ「江戸川区の今後の行政サービスと区民の負担『中サービスー中負担』」に関連して
 - (1) 区政に関する区民の認知度と区民の意見を聞く区政のあり方について
 - ① 区が目指す「共生社会について」の区民の約8割が「知らない」ことについて
 - ② 昨年10月のアンケートの回答数約46,000人の評価と、その結果「中サービスー中負担」に決定したことについて
 - ③ 1月31日までのパブリックコメントについて
 - ④ 区の情報や施策の区民への周知について、広報えどがわを全戸配布と2100年に向けた「区の考え方について」地域ごとのタウンミーティングなど実施について
 - (2) 「受益者負担の適正化」について
 - ① 次年度の施設使用料の負担増の見直しについて
 - ② 2026年度以降実施予定としている健（検）診費用の自己負担の見直しと医療関係者や区民への聞き取りについて
 - ③ そこで捻出された財源の活用について
 - (3) なぜ「2100年の江戸川区」なのか、区民が予測、想定できる未来について
 - ① 「中サービスー中負担」の具体的な状態（23区平均等）について、また、その時期について
 - ② 2023年から2024年にかけて、2100年の歳入推計額の変更について
 - ③ 江戸川区公共施設等総合管理計画と今回の「公共施設の再編・整備」の関連について

岩田将和（区議会自由民主党）

- 1 本区の災害時における職員体制について
 - (1) 本区の現職員体制で区民の生命と財産を守ることができるのか
 - (2) 職員確保が困難な場合、これを補う手段をどう考えているか
- 2 江戸川区インターネット健全利用促進条例の一層の活用について
 - (1) 本区の取組みを含め、本条例の意義とは
 - (2) 学校現場における相談体制や加害者・被害者への対応について
 - (3) 児童・生徒に対するリテラシー教育の重要性について
- 3 家庭教育はあらゆる教育の原点
 - (1) 親に対する知識や学習機会の提供について

(2) 家庭教育の重要性と親の学びについて

4 いじめ問題について

(1) いじめに繋がるとされる「あだ名」の禁止について

(2) 「あだ名」を発端に、いじめについて子どもたち同士で議論することの意義

所 隆宏（江戸川区議会公明党）

1 地方自治体における内部統制について

2 インフルエンザ等の感染症対策について

3 パラスポーツの更なる充実について

(1) パラリンピック22競技“できる”宣言から5年を経た成果と課題について

(2) 今後の取組みについて

4 今後の街路樹整備の考え方について

(1) 街路樹の管理計画について

(2) 区民とのコミュニケーションについて

(3) 多様性のある植樹計画について

5 小松川境川親水公園の更なるバリアフリー化について

6 防犯対策の更なる取組みについて

7 町会・自治会の防災力向上と地域のコミュニティ推進について

8 篠崎地区高台まちづくりの推進について

田村ひろし（超党派えどがわ）

1 区民の負担を減らして使えるお金を増やすべきだ！

定率の区民税の累進化や控除額の引き上げを実施すべきでは？

2 「中負担」を見直し、公的サービスは「低負担」に近づけるべきだ！

(1) 所得の多寡や属性で政策の適否を決める場合の合理的理由はあるか？

(2) 上記に合理的理由があるとするならば、「中サービスー中負担」という画一的基準で様々な公的サービスのあり様を包括的に規定することができる理由は何か？

3 区は新規事業の改善と予算の適正配分に努めるべきだ！

(1) 新庁舎建設費用が当初見積もりに比べ2倍以上値上がりした理由は？

(2) 区役所機能を一か所に一極集中化する必要性はあるのか？

(3) メタバース区役所は仮想空間上でもAIを活用し、DX化を進めては？

(4) 利便性向上のため生成AIを使ったウェブ上の検索を改良しては？

(5) 訪問介護事業所の報酬単価引き下げ分を補填してはどうか？

(6) 会計年度任用職員は災害時応援の際、給与保障や事故補償があるか？

(7) 医療保険制度の高額療養費の引き上げ分の付加給付は可能か？

(8) 奨学金制度の拡充や修学旅行費自己負担等への支援は可能か？

4 今後の区政に関して明確な方向性を示す時期ではないだろうか！

区長は江戸川区をどのような区にしたいのでしょうか？

金井しげる（無所属の会）

- 1 個人宅への防犯カメラ設置について
- 2 ALTについて
 - (1) 小岩二中の今後の対応
 - (2) 全中学校にALTの常駐
 - (3) 学力差への対応
- 3 エアボートの導入について

太田彩花（日本共産党江戸川区議員団）

- 1 高齢者向けの補聴器購入費助成の拡充について
 - (1) 東京都の「高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業」の具体化をどう検討してきたか
 - (2) 所得制限撤廃及び助成金額の引き上げを
 - (3) 買い替えの際に再申請できるよう拡充を
 - (4) 65歳から74歳の区民を対象に、問診や診察、聴力検査の実施を
 - (5) 補聴器装用後のフォローが適切に行えるよう体制の拡充を
- 2 家賃助成について
 - (1) 家計における家賃負担の重さ、近年の区内の家賃高騰傾向についての認識は
 - (2) 低所得者や子育て世代、若者、高齢者、シングル女性に家賃助成の実施を
- 3 区独自の給付型奨学金制度について
 - (1) 昨今の学費高騰とその負担の重さについての認識は
 - (2) 高等教育は「えどがわ50の子育てプラン」にないが、区の支援の対象としないのか
 - (3) 木全・手嶋育英資金を拡充ではなく廃止とした理由は
 - (4) 対象人数・給付額など希望者の実態に合った区独自の給付型奨学金制度の実施を
 - (5) 現在、奨学金返済中の区民を対象に返済支援を

林 あきこ（日本維新の会）

- 1 不適切な分割発注について
 - (1) 適正に入札を行ってれば、より安価に工事を発注できていたのではないか
 - (2) 地方自治法に違反しているかの認識と、その見解について
 - (3) 第三者委員会による調査が完了するまでの再発防止策について
- 2 幼保小連携について
 - (1) 幼保小連携を体系的に推進することについて
 - (2) 先進事例である横浜市の取組みを参考にする考えがあるか
 - (3) 地域と連携し、子どもたちのスムーズな移行を支える仕組みを構築するお考えはあるか

滝沢泰子（無所属）

- 1 デマや誹謗中傷で命が失われない江戸川区にしよう
 - (1) 関東大震災後の虐殺被害を追悼し、記憶しよう
 - ① 江戸川区地域で起きた関東大震災後の虐殺を記憶し、被害者を追悼する大切さについて
 - ② 江戸川区として江戸川区地域で起きた関東大震災後の虐殺を記憶し、追悼する取組み（行事等）を行おう
 - (2) いじめで命が失われない江戸川区にしよう
 - (1) いじめ重大事態について
 - (2) 江戸川区いじめ防止基本方針をつくろう
 - ① 教員・学校等のいじめへの対応力の大切さについて
 - ② 教員・学校等のいじめ対応力を高める取組みを盛り込もう
 - ③ 性的いじめ対策を具体的に盛り込もう
 - ④ パブリック・コメント（意見公募）を行おう
 - (3) 江戸川区子どもの権利擁護委員を定数の9人に増やし、定数増への条例改正を視野に入れよう
 - (4) 子どもの自殺対策への取組みを強化しよう
- 2 子どもの尊厳と権利が守られる江戸川区にしよう
 - (1) 子どもの参加・参画する権利について
 - ① 子どもが参加・参画する権利の大切さについて
 - ② 子どもが当事者である江戸川区の設ける場（一時保護所、すくすくスクール、共育プラザ等）で子どもが意見を表明できる「子ども会議」を行い、その開催を増やそう
 - (2) 子どもの知る権利について
 - ① 子どもの知る権利の大切さについて
 - ② 子どもが知る権利を江戸川区の計画と条例に盛り込もう
 - (3) 子どもが学ぶ権利について
 - ① 子どもが学ぶ権利の大切さについて
 - ② 転入してきた江戸川区民をはじめとする子どもの学ぶ権利が損なわれることがないようにこれまでの事例を組織的に検証し、今後の体制と仕組みを確立しよう
- 3 区政運営の公正性と透明性を高めて、区民一人ひとり、区職員一人ひとりの和と安全をつくりだそう
 - (1) 区長が不適切事案を認知したのちの議会等への報告、報道発表等のあり方（議会定例会閉会後の報告、発表が続いていること）への区民からの不信に向き合い、議会・区民に開かれた早期報告、早期発表で区政ガバナンスの質を高めよう
 - (2) 江戸川区における不適切事案の調査・検証・検討のあり方について
 - (3) 江戸川区役所における公益通報者保護法の2号通報者、3号通報者の探索を規則で禁ずることで、安全で公正な区政運営を実現しよう

5 学校改築の進め方について

平成19年9月に策定した「学校施設改築の基本的な考え方について（第一次報告）」を今日的に見直し、二次報告を策定しよう

五十嵐まさお（無所属）

1 激動の世界情勢における区政の行く先と参考にする指標について

- (1) 何を指標に区政の方向性を考えていくのか
- (2) SDGs ビジョンについて

2 納得度の高い区政の実現に向けて

- (1) 区民に区的意思決定が認識されていないいくつかの事象について
- (2) そのギャップをどう埋めていけると考えるか

3 6人に1人が外国人になる江戸川区の未来について

- (1) 外国人人口の増加について所見をお伺いする
- (2) 多文化共生をどのように実現していくか

榊 秀行（無所属の会）

小中学校の改築事業における区内業者を優先とする入札制度（総合評価方式）について

(2) 第2回定例会

藤澤進一（区議会自由民主党）

1 持続可能な成長が期待できる江戸川区の未来へ向けて

- (1) 区民施設の編成～整備について
- (2) 地域コミュニティ～人材育成と活性化について

2 社会的孤独・孤立問題改善への取組み

全国の注視を集める本区独自の取組みについて

3 文化・音楽・芸術で高める本区の魅力づくりについて

法人組織設立と文化スポーツプラザの展開

4 児童相談所について

設立から5年。本区の特徴と課題

5 JR小岩駅前再開発について

こいわ未来プロジェクトからの視点で

6 内野ビジョンを問う

教育長の描く本区の教育展開について

堀江創一（江戸川区議会公明党）

1 中サービス・中負担の検討と見直しについて

弱い立場の区民や団体に対し、減免制度などの配慮について

- 2 今後の江戸川区の教育の方向性について
 - (1) 不登校やいじめ対策の強化について
 - (2) 語学力を中心とした学力向上と体力向上について
 - (3) 教員の働き方改革について
- 3 物価高対策としての子育て世帯への支援について
 - (1) 「えどがわ50の子育てプラン」に「子どもベーシックサービス」の理念を取り入れた見直しや拡充について
 - (2) 教育関連費の無償化・負担軽減の検討について
- 4 出産から就学までの切れ目のない健診の実施体制について
 - (1) 1ヶ月児健診と産婦健診の迅速な実施について
 - (2) 5歳児健診の早急な実施について
- 5 地域公共交通の今後について
 - (1) 他区との連携の可能性について
 - (2) 新たな公共交通の導入検討について
- 6 防犯対策の更なる取組みについて
 - (1) 補助事業の開始時期と対象期間について
 - (2) 補助対象機器類について
- 7 京成小岩駅周辺のまちづくりについて
 - (1) 都市計画道路補助第264号線の現状と見通しについて
 - (2) 都市計画道路補助第264号線を活かしたまちづくりと地域の合意形成について

伊藤ひとみ（超党派派えどがわ）

- 1 公文書管理について
 - 公文書管理条例の制定について
- 2 P a r k－P F Iについて
 - (1) みどりの基本計画とP a r k－P F Iとの整合性について
 - (2) 公園の公共性について
 - (3) 住民の意見を反映するための仕組みについて
 - (4) P a r k－P F I事業の検証について
- 3 終活支援について
 - (1) 安心して暮らしていけるように、死後事務を含めた生前からの支援体制を整えることについて
 - (2) 引き取り手のいないご遺体・ご遺骨について
- 4 学校改築における入札不調について
 - (1) 今回第4回目の入札が落札に至らなかったことについて
 - (2) 予定価格について
 - (3) 学校改築計画、公契約条例について
 - (4) 児童、保護者、学校関係者への説明について

間宮由美（無所属の会）

- 1 食の支援について
 - (1) 子ども食堂の運営費補助について
運営費補助の継続、宅食・配食への補助の復活
 - (2) フードバンクへの支援について
国も促進に取り組んでいるフードバンク活動への連携と支援
- 2 SDGsフェスについて
フェスのあり方・予算の考え方
- 3 災害時の公園トイレと災害協定について
 - (1) 災害時に使えるトイレへ
 - (2) マンション、大型施設との災害協定を

牧野けんじ（日本共産党江戸川区議員団）

- 1 物価高騰対策について
 - (1) 低所得の世帯では消費税の負担が最も重い実態について。国に対して、物価高騰対策として消費税の減税を求めるべき
 - (2) 国の対策に先がけて、区独自の物価高騰対策として給付金やお米券などを支給し、自治体としての姿勢を示すべき
- 2 「中サービス・中負担」による区民負担増・サービス削減について
 - (1) 公共施設等の使用料の引き上げについて
 - ① 今定例会に引き上げの議案を提出しなかった経緯は
 - ② この間、示してきた引き上げ額は、どこでどのように検討されたのか？今後引き上げ額を変えることもあるのか
 - (2) 今後の説明と意見聴取のあり方について
 - ① 検（健）診の自己負担導入や子ども食堂への補助廃止は、関係団体への事前の説明、意見聴取が不十分だったのでは
 - ② 今後、タウンミーティングなど区民への直接の説明や意見交換の機会を設けるべき
 - (2) 今後の基本的な考え方について、2100年を想定することと、今現在の施策見直しは、切り分けて検討すべき
- 3 学校施設の今後のあり方について
 - (1) 不適切分割発注について
 - ① 区の情報発信より、メディアの報道が先行していることなど、発信のあり方について
 - ② 平井東小の渡り廊下の施工業者は指名停止に該当するのでは
 - ③ 建築物について、同様事例の7校の安全性についての認識は。「確認中」とは、いつの段階から、何を確認しているのか
 - (2) 学校改築の入札不調について
 - ① 4回不調を受けて、区としての考えの表明、発信を。今後も改築校については、保護者会などのタイミングで、学校・保護者・地域に現況説明の位置づけ

を

- ② 仮設校舎についての基本的な考え方について。年3校ペースは改めるべき
- 4 篠崎地区の「高台まちづくり」高規格堤防事業について
 - (1) 上篠崎一丁目の寺院・墓地の移転補償について
 - (2) 新たな手法を用いて進める都県橋エリアの「まちづくり」について
 - ① 高規格堤防を都市計画決定できるという根拠は
 - ② 高台まちづくりの新たなモデル地区となっていることなどについて、住民説明は
 - ③ 過去、区内の都施行の土地区画整理事業において、区の「まちづくり準備会」などにあたるような法定手続き外の住民参加の機会があったか

勝山まゆみ（区議会自由民主党）

- 1 学校教育について
 - (1) 不登校対策とエンカレッジサポーターの配置について
 - (2) 学校プール整備方針・計画について
- 2 子どもの貧困対策について
 - (1) 子ども食堂支援について
 - (2) フードバンク支援について
 - (3) ヤングケアラー支援について
- 3 誰もが文化やスポーツを楽しめるまちづくりについて
 - (1) ダンスの聖地づくりについて
 - (2) シティプロモーションにおける応援歌づくりについて
 - (3) 公共施設の再編・整備における中央地区の賑わいについて
- 4 産業振興について
 - (1) 産業振興とまちづくりについて
 - (2) 金魚文化の継承について
 - (3) 在日インド商工協会と東京商工会議所江戸川支部との包括協定について

伊藤照子（江戸川区議会公明党）

- 1 本区の学校教育について
 - (1) タブレットの更なる活用について
 - (2) 教育のデジタル化について
 - (3) 不登校支援の中でも、個別支援計画の作成、学習支援、保護者支援について
- 2 未来を担う子ども達の教育や本区の魅力向上及び賑わいの創出に向けた「プラネタリウム」施設の設置について
- 3 障がい児家庭の「18才の壁」について
- 4 災害時のトイレ問題とその備えについて
- 5 AI機能を搭載した「見守りカメラ」設置について
- 6 本区の終活支援について

- (1) 本区の終活支援の現状と専用相談窓口の設置について
- (2) 孤独死を防ぐためにも、おひとり様支援事業の条件緩和と終活登録の実施を

きもと麻由（超党派えどがわ）

- 1 働く人が希望を持てる地域づくりを
 - (1) 人をケアする人材への処遇改善について（ファミリーサポート）
 - (2) 子どもを教育する人材への処遇改善について（部活動・日本語指導員）
 - (3) ひきこもりの状態にある方のボランティア活動への参加費用について
 - (4) 就労支援のあり方について
 - (5) 就労後の相談支援について
- 2 子どもたちが将来に希望を持ち、自分らしく生きていくために
 - (1) 養育困難な家庭の支援について
 - (2) 発達の支援が求められる子どもをサポートする取組みについて
- 3 江戸川区らしさを活かしたブランディング戦略と予算のあり方について
 - (1) 東京藝大やW-TOKYO、LDHなど多様な主体と連携して取組みを行う目的について
 - (2) 費用対効果と施策の効果検証について
 - (3) 江戸川区らしさを活かしたブランディング戦略について

神尾昭央（無所属の会）

柿の木プロジェクトと平和教育について

長崎の被爆柿の木2世の苗木を活用した柿の木プロジェクトを通して、子どもたちや保護者に対する平和学習の重要性を認識した。今後、区立小中学校において同様の教育を実施していくことについての所見をうかがいたい。

大橋美枝子（日本共産党江戸川区議員団）

- 1 物価高騰対策、命を守る熱中症対策について
 - (1) 家庭用水道基本料無償化の継続を東京都に求めること
 - (2) エアコン設置・買い替え補助の要件を緩和し対象拡大を
- 2 区民・利用者不在のP a r k - P F I 事業について
 - (1) 公園利用者や近隣住民へのアンケート実施など、改修後の意見を聞き、出された意見を踏まえた対応を行うこと
 - (2) 子供の広場の暑さ対策や安全対策を徹底すること、子供の広場の遊ぶスペースにキッチンカー出店を取りやめること
 - (3) 公園の管理運営は、指定管理者ではなく直営にもどすこと
 - (4) 公園リニューアルで、今後はP a r k - P F I 事業は行わないこと
- 3 学校教育について
 - (1) 教員給与特別措置法の改定案では、時間外手当は見送られる法案になった経緯などもあり、教員の働き方改革について現場での経験を踏まえた教育長の所

見をうかがいたい

- (2) 小学校での学年アシスタント配置は現場で歓迎されており、区費で独自に新1年生全学級に学年アシスタント（副担任）配置を行うべき
- (3) 義務教育の無償化をすすめ、修学旅行無償化、学用品公費負担拡大、就学援助の拡充を
- (4) 学校プールについて
 - ① 学校プール整備方針は学校の先生たちの意見を踏まえ十分検討すること。
5校程度で利用する温水プール設置計画は課題が多くあり、今回の温水プール設計提案は時期尚早ではないか
 - ② 熱中症対策として、早急に学校プールの日差し対策を行うこと

丸山れいこ（日本維新の会）

- 1 学校施設の請負工事契約における不適切な事務について
 - (1) 第三者委員会による情報開示について
 - (2) 「慣習的」という、言葉の意味について
 - (3) 特別職を含む職員の処分について
 - (4) 契約事務規則に基づく見積合わせについて
- 2 2030年問題を見据えて
 - (1) おひとり様支援事業の現状における評価と課題について
 - (2) 単身高齢者等の総合相談支援事業について

滝沢泰子（無所属）

- 1 いじめと真剣に向き合える江戸川区にしよう
 - (1) 江戸川区におけるいじめの重大事態の申し出件数、そのうちの認定件数および調査件数、また申し出から認定および調査開始に要するそれぞれの期間について明らかにしてください。
 - (2) いじめの重大事態を調査する第三者委員会の事務局は、調査を受ける側の教育委員会ではなく区長部局にしよう。
 - (3) いじめの重大事態の調査は、保護者所見を受けての追加調査を行える調査体制としよう。
 - (4) いじめの重大事態の報告の公表では、被害者児童・生徒側の意向を尊重し、必要な配慮をしたうえでの報告書本体の公表、保護者所見の公表をできるようにしよう。概要版は事務局でなく調査委員会が作成するようにしよう。
 - (5) 再調査委員会の事務局は、区長部局におかず、独立した事務局を再調査委員会に設置してもらおうようにしよう。
 - (6) いじめ重大事態の当事者児童・生徒のケアに重層的支援をいかそう。
- 2 文化スポーツプラザの建物にエレベーターをつけよう
 - (1) 文化スポーツプラザを公共施設として設置しようとするにあたり、建物についての建築基準法にもとづく建築確認の事前相談が建築指導課と所管課の間で

行われていませんでしたが、どうしてですか。今からでも行うべきものと考えますが、いかがですか。

- (2) 江戸川区が条例で利用料金を定める公共施設の集会室等で車いすのままエレベーターで行くことができないところがありますか。
- (3) 公共施設を設置する建物である以上、既存不適格状態を解消すべきですが、区長はどうしていきますか。
- (4) 江戸川区行政のあり方として、公共施設の設定・運営においては、所管課が区民ニーズにこたえ、建築物にかんして法令にもとづく基本的な手順や手続きを理解し、説明する立場であるようにしてほしいですが、いかがですか。

3 公益通報者をまもろう

- (1) 消費者庁から自治体への通知、公益通報者保護法改正をうけとめて、江戸川区としてどうしていきますか。
- (2) 江戸川区行政において、公益通報者がまもられるために、公益通報の外部通報者（2号通報、3号通報）の探索を区長に戒めてほしいが、どうしていきますか。

4 歳を重ねても幸せに暮らせるまち条例について

- (1) 幸せに年を重ねられるまち条例に名称を変えることを提案しますが、いかがですか。
- (2) 「その希望及び能力を活かせる仕事に就き、活躍する機会を確保されるよう配慮されること」がされていない状況が最近、見受けられますが、どのように是正し、この条例をいかしていきますか。

- 5 区民の区への信頼回復のため、一連の不適切契約のはじまりを明らかにするための調査を区みずからおこなってほしいですが、区長はどう考え、どうしますか。

(3) 第3回定例会

田中寿一（区議会自由民主党）

1 船堀駅前地区について

- (1) 文化と交流のまち船堀駅前の実現に向けて
- (2) 江戸川区の玄関口となるタワーホールの今後について

2 介護に関わる人材とケアマネジャーの業務について

- (1) 介護人材の確保と定着、その両輪からなる取組みについて
- (2) 介護予防ケアプランにおける業務負担の軽減について
- (3) ケアマネジャーのシャドウワークについて

3 自分らしく輝けるまちをめざした、アーバンスポーツの普及について

4 教育力向上について

- (1) 学力向上について
- (2) 小中連携教育について

佐々木勇一（江戸川区議会公明党）

- 1 戦後80年、被爆80年 本区が平和な都市であり続けるために
 - (1) 区長の平和への思いとともに本区としてどの様に取り組んでいかれるのか
 - (2) 平和のための教育や国際交流の現状と今後の取組みについて
- 2 本区が目指す多文化共生社会の実現に向けて
 - (1) 在留外国人への現状認識と対応について
 - (2) 区民の意識向上と理解を深めるための取組みについて
 - (3) 公益社団法人在日インド商工協会及び東京商工会議所江戸川支部との包括連携協定の現状と今後の予定や展望について
- 3 今後の公共施設の整備について
 - (1) 文化・スポーツ基本構想を踏まえたスポーツ施設の整備について
 - ① スピアーズえどりくフィールドについて
 - ② 共生型陸上競技場と共生型スポーツ複合施設について
 - (2) 障害のある子が主役になれる拠点の整備について
 - (3) 江戸川区立日光林間学校の整備について
- 4 今後の学校改築について
 - (1) 最近の入札不調の原因分析について
 - (2) 入札方法の見直しと改善策について
 - (3) 毎年3校の改築目標について
- 5 公共施設の使用料の見直しについて
- 6 町会・自治会への支援について
 - (1) 在住外国人への入会促進について
 - (2) 町会・自治会会館の土地に関連した費用への助成について
 - (3) お祭りや町会費等での二次元コード決済利用への支援について
- 7 英語教育の更なる推進について

中野ヘンリ（超党派派えどがわ）

- 1 1型糖尿病患者の医療費負担軽減に向けた江戸川区独自の支援制度創設について
 - (1) 1型糖尿病の医療費負担の実態と区の認識について
 - (2) 国の制度の限界と20歳以上の患者の「制度の狭間」について
 - (3) 区民の健康と福祉向上に向けた具体的なアクションについて
 - (4) 区長のビジョンと今後の対応について
- 2 『メロンパン食べたら死ぬ！？』陰謀論と反ワクチンが脅かす区民の健康と安全を区はどうやって守るのか
 - (1) 誤情報による健康被害や不安に対し、相談窓口の設置や、科学的根拠に基づく情報提供体制について
 - (2) ワクチン未接種児の保育園受け入れに関し、感染症流行リスクを防ぐ具体的な対策と、保護者への正しい情報提供や啓発活動について

- (3) 学校教育において科学的根拠に基づく授業と情報リテラシー教育について
- 3 DX推進について
 - (1) 生成AIのさらなる活用について
 - (2) 区長自らのSNS発信について

梶 秀行（無所属の会）

- 1 民間提案制度の導入にあたり
 - (1) 事業の狙いと制度導入の背景について
 - (2) 事業スキームと検討委員会の重要性について
- 2 自主的に歳入を増やすための取組みについて
 - (1) ネーミングライツ事業の見通しについて
 - (2) Park-PFI事業の見通しについて
 - (3) ポートレース江戸川に「江戸川区議会議長杯」の創設を
- 3 学校改築事業において区と中堅ゼネコンとの関係構築を
- 4 “分割発注”等において筆跡が同様の見積書を作成したのは誰ですか？

小俣則子（日本共産党江戸川区議員団）

- 1 事実に反する情報や差別・分断につながる排外主義を許さず、ともに生きるまちをめざす条例実現の取組みをさらに強めていくために
 - (1) 今の状況について、改めて区長の認識をお聞かせください
 - (2) 共生社会づくりへの相入れない排外主義などに対して、区民への明確な区長のメッセージ発信を求めますがいかがでしょうか
- 2 2100年に向けた「中サービス・中負担」における「公共施設の使用料」「健（検）診費用の自己負担」見直しについて
 - (1) 公共施設の使用料について、区民の権利保障の視点からの検討はどのようにしてきたか、また「受益者負担」との関係では、今後権利保障をどのように位置づけていくか
 - (2) 今後の意見聴取については、どのタイミングで、どのような方法で実施するか
 - (3) 健（検）診の一部自己負担導入について、現在の検討状況の進捗状況について、自己負担導入と受診率の向上について検討した結果、自己負担導入を取りやめることもありうるのか
- 3 自動起動式防災ラジオの普及支援について
- 4 「こども誰でも通園制度」の実施に向けて、子どもを安心・安全に預ける、預かるために
 - (1) 実施方法と体制について
 - ① 要綱づくりに向けて重視すること（区の姿勢）及び安全対策について
 - ② 進捗状況及びスケジュールについて
 - ③ 事業所について保育施設限定にするとともに、専用室を設けること、保育

- 士基準、利用方法及び時間、健康診査についてどのように決めていくのか
- (2) 子どものための制度とは程遠い内容で、財政的にも、自治体・事業所に負担が重くなる「こども誰でも通園制度」の撤回と、一時保育預かり事業の拡充を国に求めること

小林智夫（区議会自由民主党）

- 1 SDGsを通じた子どもたちの未来について
- 2 障害者の入所施策について
- 3 福祉人材の育成と定着に向けた取組みについて
 - (1) 若手介護人材の将来展望と定着に向けた取組みについて
 - (2) 小中学校における福祉教育の充実について
- 4 自衛官OBの必要性について

竹内 進（江戸川区議会公明党）

- 1 新庁舎を中心とした船堀駅周辺のまちづくりについて
 - (1) 権利者対応の取組みについて
 - (2) 再開発ビルに整備する複合施設について
- 2 リチウム蓄電池等の適正処理について
- 3 今後の総合的な住宅施策について
- 4 江戸川区球場について
- 5 江戸川区のいじめ対策について

田村ひろし（超党派えどがわ）

- 1 税金を取り戻して公的サービスの充実を！
 - (1) ふるさと納税で流出する一方の税金を取り戻しては？
 - (2) 江戸川区も魅力ある返礼品を選定すべきでは？
- 2 公的サービスは対象を選別せず公平・公正に！
 - (1) 熱中症対策事業の対象範囲は広げるべきでは？
 - (2) 同事業の効果測定を行うなどして今後も継続を！
- 3 教育現場の負担軽減策で少子化対策を！
 - (1) 移動教室や修学旅行の費用負担を無償化すべきでは？
 - (2) 区独自の給付型奨学金制度をつくり教育負担軽減を！
- 4 介護事業者には区独自の手厚い支援を！
 - (1) 訪問介護事業所の報酬改定減額分を区で補填を！
 - (2) 介護崩壊を防ぐには介護労働の魅力づくりが不可欠では？
- 5 正規・非正規職員の待遇改善で行政サービス充実を！
 - (1) 会計年度任用職員の待遇改善を大胆に進めては？
 - (2) 正規職員の人材を確保し流出を防ぐ大胆な方策は？

間宮由美（無所属の会）

- 1 必要とされている子どもや家庭に届けられ、力になれる「KODOMOごはん便」とさらになれるように、対象者の拡大と、配達する人の拡大を
- 2 学校や子どもたちの力にすぐになれるように、「日本語指導員」の人材バンクを
- 3 金魚のふるさと江戸川区であるからこそ、金魚まつりでの「金魚すくい」について、検討の開始を
- 4 職員が安心して働くことのできる職場のために、ハラスメントをなくすこと。午後6時以降の冷房機器の提供を

太田彩花（日本共産党江戸川区議員団）

- 1 低所得者支援について
 - (1) 区内の低所得世帯やひとり親世帯などを対象におこめ券を支給すること
 - (2) 生活保護費引き下げ違法最高裁判決について
 - ① 保護費引き下げを違法とした6月の最高裁判決についての区長の認識は
 - ② 国に対し、原告らへの謝罪と違法とされた減額分の補償を速やかに実施するよう求めるべきと考えるがどうか
- 2 エアコン設置助成について
 - (1) 都のエアコン購入費8万円補助の対象拡大及び助成額増額を都に求めるべきだがどうか
 - (2) 都のエアコン購入費8万円補助を利用する際、区独自で上乗せ助成を行うこと
 - (3) 江戸川区生活困窮者エアコン購入費助成金の要件緩和及び対象拡大を行い、特に生活保護世帯にも適用すること
- 3 区独自の給付型奨学金制度について
 - (1) 「国や他自治体の動向を注視し研究」というが、これまでどのような検討がされたか
 - (2) 区内の生活保護世帯出身者で大学に進学した人は過去4年間でどれだけいるか。入学金や学費、パソコン本体代金など、生活保護世帯出身の学生に向けて区独自の支援を

林 あきこ（日本維新の会）

- 1 不適切契約事案における処分と契約手続きのあり方について
 - (1) 平井東小学校渡り廊下施工業者への指名停止措置について
 - ① 指名停止期間を1か月とした判断基準は「江戸川区競争入札参加有資格者指名停止措置要綱」に基づくとのことだが、要綱以外に内部マニュアルや過去の事例集のような判断基準が存在するのか
 - ② 過去の同種事案と比べて今回の判断内容は適切といえるのか。過去の事例を開示して説明していただきたい
 - (2) 見積もり業者の選定について
 - ① 区は、見積もりを依頼する業者をどのように選定すべきと考えているのか

- ② 見積もり業者が固定化されることは、結果として競争性の確保を損ない、談合の温床になる恐れもあると考えるが、区はどのように認識しているのか
 - ③ 公平性・透明性を高めるために、業者選定の方法を見直す考えはあるか
- 2 小中連携教育について
- (1) 現在の実施状況と課題について
 - (2) 授業交流や乗り入れ授業の実現性について
 - (3) 各学校で行われている好事例の横展開について

滝沢泰子（無所属）

- 1 災害時のデマや差別・ヘイトを防ごう
- (1) 災害時のデマや差別・ヘイトの危険をどう認識していますか
 - (2) 江戸川区地域防災計画にデマ対策、差別・ヘイト対策を盛り込み、命と人権を守ろう
 - (3) 災害など危機時の区民社会の安全のためにも、平時からのデマと差別・ヘイト対策の重要性をどう認識し、取り組めますか
- 2 いじめを許さず、いじめから救われる江戸川区にしよう
- (1) いじめが人間の人生にもたらす深刻な影響をどのように認識していますか
 - (2) いじめの重大事態調査では、報告を各区立学校や教育委員会等でのいじめ防止対策に確実に活かすためにも報告書本体を公表してほしいですが、いかがですか
 - (3) いじめの重大事態調査報告に対して保護者所見が提出されている場合、報告を読み解くためにも保護者所見もあわせて公表してほしいですが、いかがですか
 - (4) いじめに早期介入しやすい仕組みを築こう
 - (5) いじめへの早期介入を高く評価する江戸川区の教育行政にしよう
 - (6) いじめ当事者（加害者）に対して重層的支援を活用しよう
- 3 福祉川柳事件を検証し、反省を刻もう
- 福祉川柳事件を検証し、記録し、謝罪し、反省を江戸川区政に刻もう
- 4 超高額随意契約をきちんと検証し、説明できる江戸川区にしよう
- 包括外部監査を実施しよう

佐野朋子（江戸川区議会公明党）

- 1 SAF推進のための廃食用油回収事業の実施について
- (1) 区内7か所の回収拠点の現状と実績について
 - (2) 今後の事業継続と回収拠点の拡充について
- 2 帯状疱疹ワクチン任意接種の助成制度について
- 3 ユマニチュードの実践導入について
- (1) 全区民に対してのユマニチュードの実践導入の推進について
 - (2) 学校現場でのユマニチュードの普及啓発について

- 4 子どもに対する性暴力をなくすための取組みについて
- 5 包括的性教育・生命の安全教育について
 - (1) 生命の安全教育の実施状況と今後について
 - (2) 包括的性教育の推進について

(4) 第4回定例会

福本光浩（区議会自由民主党）

- 1 夢が膨らむ葛西南部エリアの今後の展開について
都市計画マスタープランの策定から6年半。特に、葛西南部エリアにおける新たな動きをタイムリーに示していくことについて
- 2 強い経済に向けた江戸川区版「経済対策」について
 - (1) 区内企業発展に向けた、公共発注と経済循環の重要性について
 - (2) 融資制度が充実した江戸川区。強い経済を下支えする融資制度の拡充について
- 3 学校改築事業に係る今後の展望と課題
 - (1) 新たな「学校施設改築の基本的な考え方」の策定について
 - (2) これからの発注に向けた課題である予算のあり方について
 - (3) サウンディング見積調査における費用負担のあり方について
- 4 防災面に限らずイベント等でのドローンの活用について
江戸川区花火大会でのエンターテインメント・ドローンの活用について
- 5 姉妹都市・ホノルルを感じる江戸川区の実現に向けて
 - (1) ホノルルと連携した国際教育について
 - (2) 多くの区民がホノルルを意識できる取組みについて

窪田龍一（江戸川区議会公明党）

- 1 公共施設使用料の見直しについて
- 2 歳を重ねても幸せに暮らせるまち条例の具現化について
- 3 5歳児健康診査について
 - (1) 概要と特徴について
 - (2) 未就園児の対応について
 - (3) 就学に向けての切れ目のない支援について
 - (4) 介助員の配置について
- 4 今後の保育政策の新たな方向性について
 - (1) こども誰でも通園制度の推進について
 - (2) 幼稚園に通う2歳児の保育料や保護者への経済的支援について
 - (3) 保育所等における医療的ケア児の受け入れについて
- 5 児童育成支援拠点事業について
こども家庭センターとしての取組みについて
- 6 中小企業支援について

人材不足に対する支援策について

本西光枝（超党派えどがわ）

- 1 子どもの意見表明・参加のしくみについて
 - (1) 子どもの権利アンケートについて
 - (2) 子ども会議の常設化について
 - (3) 子どもの声を反映するしくみについて
- 2 住宅確保要配慮者の住まい探しが円滑に進むために
 - (1) 住宅施策の今後について
 - (2) 入居を断らない住まいを増やしていくために
- 3 デジタル教育について
 - (1) 第1次ギガスクール構想の検証の成果と課題について
 - (2) 家庭学習について
 - (3) 端末の持ち帰りについて
 - (4) 使用制限の強化について
- 4 香害について
 - (1) 学校での対応の現状について
 - (2) 実態調査について

小林あすか（無所属の会）

- 1 児童・生徒に配布されたタブレット端末について
 - (1) タブレット端末を活用した学習環境の成果と課題について
 - (2) 長時間使用による児童・生徒の姿勢への影響について
 - (3) タブレット端末を含む通学時の荷物の重量とその対策について
- 2 家庭や地域とつながる学校づくりの推進について
- 3 区立小中学校における平和教育について
- 4 学校現場における性犯罪報道を受けた対応について
 - (1) 探知機等の配備による予防的措置の検討について
 - (2) 文部科学省通知を踏まえた区の対応状況と今後の方針について
 - (3) 教職員に対する性暴力防止研修および相談体制の整備状況について
- 5 子どものマンション転落事故防止に向けた現状と対策について
- 6 病児保育の現状と今後の充実に向けた課題について

牧野けんじ（日本共産党江戸川区議員団）

- 1 物価高騰への対応について
 - (1) 区独自の対策として、熱中症・物価高騰対策事業（電気代補助）の冬季の再度実施および来年夏季の実施を検討すべきでは
 - (2) 来年4月の区公共施設、駐輪場の使用料引き上げについて
 - ① 物価高騰の中、JRの運賃引き上げとも重なる時期に実施することについて

の認識

- ② 引き上げによる区民の負担総額および区民意見の聴取について
- 2 「住み続けられる江戸川区」について
 - (1) 住み続けられるという視点で、23区のマンション価格の高騰、投機目的のマンション購入・転売、家賃の高騰については、どのように認識しているか、また今後の実態把握や規制の必要性についての認識は
 - (2) 家賃引き上げトラブルの相談対応について、現状と都の賃料値上げ特別相談窓口と基本的知識の啓発・周知を
 - (3) 「住まいは人権」の立場で住宅課の設置を
- 3 学校改築など区公共施設建設の今後について
 - (1) 学校改築など公共施設の建設工事が民間需要に押されているとの指摘がある中、今後の見通しについての認識は
 - (2) 学校改築など区公共施設の建設工事の入札不調対策について
 - ① 入札不調の件数の近年の傾向と区の検証状況および入札不調となった場合の基準を設けること
 - ② 高額の随意契約の妥当性についての基準を設け、随意契約結果は理由等（根拠条項）とともに公表を
- 4 篠崎地区の「高台まちづくり」高規格堤防事業について
 - (1) 上篠崎一丁目（2次移転地区）の地盤強度について
 - ① 事前と事後の地盤調査の実施について
 - ② 沈下観測結果の公表について
 - (2) 都が主導する新たな篠崎地区「高台まちづくり」のプロセスについて、意見交換会の今後の開催やワークショップなどの進め方は

田島寛之議員（区議会自由民主党）

- 1 人手不足の解消、人材の確保について
（区が推進してきたひきこもり支援、外国人との共生に絡めて）
- 2 少額随意契約の現状について
- 3 子どもの遊び場について
- 4 保育施設における障害児への対応について

川瀬泰徳（江戸川区議会公明党）

- 1 区民葬儀制度の今後のあり方について
- 2 防災教育の充実について
- 3 避難行動要支援者対策について
 - (1) 個別避難計画作成の進捗状況と避難行動要支援者への実効性のある支援について
 - (2) 避難所での対応について
 - (3) 安否確認と情報発信について

4 ペットの同行避難の推進と周知・啓発の強化について

- (1) 町会や自治会等の防災訓練におけるペットの避難に関する取組みと現状について
- (2) ペットの同行避難訓練の必要性についての認識と今後の進め方について
- (3) ペットの同行避難に関する周知や今後の啓発方針について

5 東部地区の喫緊の諸課題について

- (1) くつろぎの家の跡施設について
共生型複合施設の実現に向けて、今後の取組みと区長の思いについて
- (2) 江戸川4丁目の防災公園整備について
江戸川4丁目の防災公園整備の進捗状況、今後のスケジュール、完成の目途について
- (3) 新たな公共交通「グリーンスローモビリティ」について
試験走行実施の経過・概要と実施する3地区の場所や内容、更に実証運行までのスケジュールについて

きもと麻由（超党派えどがわ）

1 不法投棄を改善する取組みについて

- (1) 現状の課題認識と対策について
- (2) 改善が見られない集積場へは踏み込んだ対策を

2 区の広報物（ポスターやチラシ、パンフレット等）のクオリティを上げる取組みについて

- (1) 「広報物相談」の周知・活用について
- (2) 東京藝術大学との連携によるクオリティを上げる取組みについて

3 包括的性教育について

- (1) 外部講師による出前授業の実施状況について
- (2) 区内すべての保育園・幼稚園・小学校・中学校での出前授業の実施を

梶 秀行（無所属の会）

1 来年度当初予算編成方針について

『証拠に基づく政策形成』を踏まえた今後の展望について

2 建築基準法違反建築物への指導と同法における高さ制限について

- (1) 違法状態の屋上プレハブに対する指導事業において優先順位をつけた取組みを
- (2) 時代の要請に応じた建築物の高さ制限緩和の検討を

3 学校改築事業史上初の区外業者単独となる上小岩小学校改築工事について

区内業者による施工と区外業者による施工の定量的比較検証を
(下請活用状況・安全・品質・工程管理等)

4 『戦後80年伝えてくださいあなたの思い』事業について、想いを伝えます

5 区は『実質同一会社』をどのように見なすか

“法人格否認の法理”が適用されない理由は

大橋美枝子（日本共産党江戸川区議員団）

1 医療保険制度について

- (1) 2025年度国民健康保険料均等割を今年度は1200円引き下げたが、まだ23区で一番高い。法定外繰り入れを行い、保険料は来年度も引き下げるべきだがどうか。また、物価高騰対策としても引き下げを検討する必要があると考える。
- (2) 国保加入者全員へ「資格確認書」の交付を。自治体の自治事務として区として判断して交付できると考えるがどうか。
- (2) 医療費4兆円削減の国の施策は患者負担を大幅に増額することとなる。とりわけ、OTC類似薬の保険外しについて、国に対し反対の意見をあげてほしいがどうか。

2 やむをえず学校に通うことができない（不登校）子の対応について

- (1) 区内の不登校の実態及びこの間の増加傾向についての要因をどう認識しているか。
 - (2) 不登校の子どもの様々な思いを受け止め、学校を安全・安心の場にするためにどう努力してきたか。また、篠崎中学校のチャレンジクラスを葛西地域などにも設置するよう都教委にはたらきかけを。
 - (3) 先行きの不安を抱え悩みが多い親・保護者への支援の拡充について
 - ① 学校内でのスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの保護者支援、相談場所の紹介など
 - ② 区の相談場所の拡充、不登校親の会の紹介、進路説明会開催など
 - ③ 不登校特例校の利用者への学費補助金を区独自で
 - ④ 働いている親が安心して子どもと過ごすために、国に介護休暇の拡充を求めること。
 - (4) 学級に戻すことを優先するのではなく、子どもの居場所を豊かにし、学ぶ喜び、新たな友達作りなど、子どもの意欲を励ますために、学校での支援を拡充するしくみづくりについて
 - ① 校内別室指導支援員・エンカレッジサポーターの拡充、定期的な研修、時給単価の引き上げなどの処遇改善、専門職の配置をすすめること。
 - ② 学校ごとに関係教職員の情報共有の場を設定すること。不登校コーディネーターを配置し、校内別室指導支援員・エンカレッジサポーターをはじめ関係者の情報共有をすすめること。
- 3 中学校の35人学級を全学年で即時実施することについて
- (1) 現在の中1ギャップ教員1名加配の目的、また、1名加配のプラス面をどう認識しているか。
 - (2) 都に対して、中学校の全学年実施を要請してほしいがどうか。

丸山れいこ（日本維新の会）

- 1 分割契約に関連する事項について
 - (1) 区が行った損害賠償請求の状況について
 - (2) 法人の捉え方について
- 2 江戸川区民まつり等の事業補助金交付について
 - (1) 現在の事業運営経費への補助金の考え方について
 - (2) 区民まつりにおける送迎バス運行について
- 3 高齢者に向けての情報伝達について
 - (1) 高齢者への情報伝達の問題点の捉え方と対応について
 - (2) 高齢者に向けた広報えどがわの配布について
 - (3) 高齢者ガイドブックについて

滝沢泰子（無所属）

- 1 江戸川区生活援護第二課職員が生活保護受給者を揶揄する川柳をつくっていた福祉川柳事件の隠ぺいを反省し、検証し、謝罪しよう
- 2 江戸川区の区施設管理等を建築基準法等の建築法令に照らして検証しよう
- 3 不適切契約事案の調査報告書を区職員等が全員読める研修をしよう
- 4 公益通報制度が機能する江戸川区にしよう
- 5 子どもの知る権利を大切にしよう
- 6 攻めの不登校対策として通知表の廃止、学級制の廃止に取り組もう
- 7 子どもの最善の利益を考えるいじめ対策にしよう

五十嵐まさお（無所属）

- 1 現代教育の方向性（グローバル教育・学力偏重）に関する現状と課題の確認について
 - (1) グローバル教育を推進する目的と判断基準について
 - (2) アイデンティティを形成する教育について
 - (3) 学力偏重型教育への懸念と本区の対策について
- 2 部活動の教育的意義について
 - (1) 部活動が果たしてきた役割と意義について
 - (2) 部活動の位置づけをどのように捉えているか
- 3 部活動の縮小・地域移行に伴う課題について
 - (1) 部活動の縮小・地域移行が子どもの教育や人格育成にどのような影響を及ぼすと考えるか
 - (2) 区内の学校が「当面は部活動を維持したい」と判断された場合、江戸川区として、その判断を尊重されるお考えがあるか

川合佐奈子（江戸川区議会公明党）

- 1 子どもの主体性・当事者意識を育む教育の推進について
 - (1) 「子どもの主体性・当事者意識を育む教育」の現状について
 - (2) 全教育活動における「子どもの主体性・当事者意識を育む教育」の推進について
- 2 不登校の支援強化について
 - (1) 不登校支援に関する情報提供・発信の現状について
 - (2) 相談窓口や居場所等の不登校支援情報を集約した「ポータルサイト」について
 - (3) 不登校初期対応や支援の流れがわかる「不登校支援リーフレット」について
- 3 子どもの自殺対策について
 - (1) 法改正に伴う学校をはじめとする関係機関と連携した法定協議会の設置について
 - (2) 法改正に伴う学校の責務と取組みについて
- 4 子宮頸がんの撲滅に向けてHPVワクチンの接種率の向上と男性接種への助成について
 - (1) 定期接種対象者と保護者への周知の充実とキャッチアップ未完了者への年内中のさらなる周知について
 - (2) 区独自の9価ワクチン男性接種助成について
- 5 篠崎地域の高台まちづくりについて
 - (1) 高台まちづくりにおける高規格堤防整備の意義に対する考えについて
 - (2) 篠崎地域における補助第286号線の都県橋計画を見据えた一体的なまちづくりの展望について

6 請願・陳情

(1) 付託件数

※前年からの継続は 令和6年の4定で閉会中の継続審査としたもの]

種別	委員会	総務	生活振興環境	福祉健康	文教	建設	議会運営	計
請願	前年からの継続	0	0	1	0	0	0	1
	新規付託	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	1
陳情	前年からの継続	2	3	5	7	5	0	22
	新規付託	6	2	7	5	4	5	29
	付託替え	0	0	0	0	0	0	0
	計	8	5	12	12	9	5	51
合計		8	5	13	12	9	5	52

(2) 参考送付件数

種別	委員会	総務	生活振興環境	福祉健康	文教	建設	議会運営	計
参考送付		7	0	0	0	0	0	7

(3) 審査状況

※翌年へ継続は 令和7年の4定で閉会中の継続審査としたもの

種別	委員会	総務	生活振興環境	福祉健康	文教	建設	議会運営	計
請願	採択	0	0	0	0	0	0	0
	一部採択	0	0	0	0	0	0	0
	趣旨採択	0	0	0	0	0	0	0
	不採択	0	0	0	0	0	0	0
	取下げ	0	0	0	0	0	0	0
	審議未了	0	0	1	0	0	0	1
	翌年へ継続	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	1
陳情	採択	1	0	0	0	0	0	1
	一部採択	0	0	0	0	0	0	0
	趣旨採択	0	0	0	0	0	1	1
	不採択	0	1	2	1	4	0	8
	取下げ	0	0	0	0	0	0	0
	審議未了	2	2	3	6	1	0	14
	翌年へ継続	5	2	7	5	4	4	27
	計	8	5	12	12	9	5	51
合計		8	5	13	12	9	5	52

(4) 請願・陳情の審議結果

請願・陳情

受理番号	件 名	
	受 理 日	付託日・付託先 / 参考送付日・送付先
結 果		
第29号	「子どもの扶養控除に関する意見書」に関する陳情	
	6. 1. 26 受理	6. 2. 21 総務委員会付託
	7. 3. 25 審査未了	
第31号	江戸川区の生活保護行政における生活保護受給者の著しいプライバシー侵害といえる江戸川区独自書式の生活状況報告書に関する陳情	
	6. 2. 13 受理	6. 2. 21 福祉健康委員会付託
	7. 3. 25 不採択 賛成15 (超党5・無会5・共産4・無所属1) 反対27 (自民12・公明12・維新2・無所属1)	
第32号	パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る意見書を国に提出することを求める請願	
	6. 2. 13 受理	6. 2. 21 福祉健康委員会付託
	7. 3. 25 審査未了	
第33号	江戸川区内の小学校児童登下校時におけるシルバー人材センター活用による小学生見守りのための予算計上に関する陳情	
	6. 3. 11 受理	6. 3. 25 文教委員会付託
	7. 3. 25 審査未了	
第34号	自然を破壊している葛西臨海水族園建て替え計画への対応に関する陳情	
	6. 5. 10 受理	6. 6. 19 生活振興環境委員会付託
	7. 3. 25 不採択 賛成11 (超党5・共産4・無所属2) 反対31 (自民12・公明12・無会5・維新2)	
第35号	スーパー堤防事業に代わる耐越水堤防の建設を求める陳情	
	6. 5. 22 受理	6. 6. 19 建設委員会付託
	7. 3. 25 不採択 賛成15 (超党5・無会5・共産4・無所属1) 反対27 (自民12・公明12・維新2・無所属1)	
第36号	都市計画道路補助第283号線拡幅計画の撤回を求める陳情	
	6. 5. 22 受理	6. 6. 19 建設委員会付託
	7. 3. 25 不採択 賛成10 (超党5・共産4・無所属1) 反対32 (自民12・公明12・無会5・維新2・無所属1)	

受理番号	件 名	
	受 理 日	付託日・付託先 / 参考送付日・送付先 結 果
第37号	接種台帳の保存期間延長に関する陳情	
	6. 5. 23 受理	6. 6. 19 福祉健康委員会付託
	7. 6. 24 審査未了	
第39号	篠崎公園地区高台まちづくりの模型に浸水時の水面を透明な板等で追加することを求める陳情	
	6. 6. 10 受理	6. 6. 19 建設委員会付託
	7. 3. 25 不採択 賛成15 (超党5・無会5・共産4・無所属1) 反対27 (自民12・公明12・維新2・無所属1)	
第40号	補助第288号線のボックスカルバートをやめて道路を堤防上面に設置することを求める陳情	
	6. 6. 10 受理	6. 6. 19 建設委員会付託
	7. 3. 25 不採択 賛成14 (超党5・無会5・共産4) 反対28 (自民12・公明12・維新2・無所属2)	
第42号	中学校英語スピーキングテスト結果の令和7年度都立高校入試への活用中止に関する陳情	
	6. 6. 12 受理	6. 6. 28 文教委員会付託
	7. 3. 25 不採択 賛成10 (超党5・共産4・無所属1) 反対32 (自民12・公明12・無会5・維新2・無所属1)	
第43号	子ども達に豊かな学びのスタートを保障することを求める陳情	
	6. 6. 18 受理	6. 6. 28 文教委員会付託
	7. 6. 24 審査未了	
第44号	教職員の増員で、少人数学級推進、働き方改革を求める陳情	
	6. 6. 19 受理	6. 6. 28 文教委員会付託
	7. 6. 24 審査未了	
第45号	図書館における既存図書のテキストデータ化について、恒常化を求める陳情	
	6. 6. 19 受理	6. 6. 28 文教委員会付託
	7. 6. 24 審査未了	
第48号	羽田新ルートの運用について、教室型住民説明会の開催を国に働きかけるよう求める陳情	
	6. 6. 26 受理	6. 9. 26 生活振興環境委員会付託
	7. 10. 27 審査未了	
第49号 の1	区政等に関する陳情	
	6. 8. 1 受理	6. 9. 26 総務委員会付託
	7. 10. 27 審査未了	

受理番号	件 名	
	受 理 日	付託日・付託先 / 参考送付日・送付先 結 果
第49号 の2	区政等に関する陳情	
	6. 8. 1 受理	6. 9. 26 生活振興環境委員会付託
	7. 10. 27 審査未了	
第49号 の3	区政等に関する陳情	
	6. 8. 1 受理	6. 9. 26 福祉健康委員会付託
	7. 10. 27 審査未了	
第49号 の4	区政等に関する陳情	
	6. 8. 1 受理	6. 9. 26 建設委員会付託
	7. 10. 27 審査未了	
第51号	マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を求める陳情	
	6. 9. 11 受理	6. 9. 26 福祉健康委員会付託
	7. 10. 27 不採択	賛成17 (超党6・無会5・共産4・無所属2) 反対26 (自民12・公明12・維新2)
第52号	学校給食の食材選定と献立作成について指針の策定を求める陳情	
	6. 9. 13 受理	6. 9. 26 文教委員会付託
	7. 10. 27 審査未了	
第53号	自己増殖型mRNAワクチン (レプリコンワクチン) を含むmRNAワクチンの国民への接種中止及び、国民へmRNAワクチンの健康被害状況の周知と、mRNAワクチン接種で生じた健康被害に対する救済強化に関する意見書提出を求める陳情	
	6. 9. 17 受理	6. 9. 26 福祉健康委員会付託
	7. 10. 27 審査未了	
第57号	船堀駅前地区まちづくりに関する陳情	
	6. 11. 22 受理	6. 12. 10 文教委員会付託
	7. 12. 11 審査未了	
第58号	議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるような図をつくり、自治体のホームページで公開することに関する陳情	
	7. 1. 14 受理	7. 2. 20 議会運営委員会付託
	7. 10. 27 趣旨採択 全会一致 (43 : 0)	
第59号	区民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情	
	7. 1. 14 受理	7. 2. 20 総務委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	

受理番号	件 名	
	受 理 日	付託日・付託先 / 参考送付日・送付先 結 果
第60号	国に対し、対外的情報省を設立、横田基地空域の航空管制返還の意見書提出に関する陳情	7. 1. 17 受理 7. 2. 20 総務委員会参考送付
第61号	江戸川区立中学校・小学校の修学旅行や移動教室等の費用を無償化し、保護者負担の軽減を求める陳情	7. 2. 3 受理 7. 2. 20 文教委員会付託 7. 12. 11 継続審査
第62号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情	7. 2. 5 受理 7. 2. 20 総務委員会参考送付
第63号	富士公園バーベキュー場の現状維持を求める陳情	7. 2. 10 受理 7. 2. 20 生活振興環境委員会付託 7. 12. 11 継続審査
第64号	江戸川区の今後の「行政サービスの水準」案に対する陳情	7. 2. 10 受理 7. 2. 20 総務委員会付託 7. 12. 11 継続審査
第65号	江戸川区民間子育てひろば事業補助要綱の改正に関する陳情	7. 2. 12 受理 7. 2. 20 福祉健康委員会付託 7. 12. 11 継続審査
第66号	判決の記録に関する陳情	7. 3. 7 受理 7. 3. 25 総務委員会参考送付
第67号	保育園建設計画中止を求める陳情	7. 3. 7 受理 7. 3. 10 上程前に取下げ
第68号	江戸川区内の小学校登下校時におけるPTA、子ども会、地域ボランティアなど地域ぐるみにおける子ども達の見守り活動支援とともに、シルバー人材センターなどの活用による小学生見守りのための予算計上に関する陳情	7. 4. 25 受理 7. 6. 12 文教委員会付託 7. 12. 11 継続審査
第69号	スーパー堤防に代わる耐越水堤防の建設を求める陳情	7. 5. 14 受理 7. 6. 12 建設委員会付託 7. 12. 11 継続審査
第70号	都市計画道路補助第283号線拡幅計画の撤回を求める陳情	7. 5. 14 受理 7. 6. 12 建設委員会付託 7. 12. 11 継続審査

受理番号	件 名	
	受 理 日	付託日・付託先 / 参考送付日・送付先 結 果
第71号	電磁波を悪用（エレクトロニクス・ハラスメント）及び電磁波の人体と健康への悪影響を訴え、電磁波に対する法整備・法改正を国に働きかけるよう求める陳情	
	7. 5. 23 受理	7. 6. 12 福祉健康委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第72号	「あはき・柔整広告ガイドライン」の適正かつ積極的な運用を求める陳情	
	7. 5. 29 受理	7. 6. 12 福祉健康委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第73号	補助第288号線のボックスカルバートをやめて、道路を非浸水高さに設置することを求める陳情	
	7. 5. 30 受理	7. 6. 12 建設委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第74号	高台まちづくり事業での移転先を浸水しない高さとするを求める陳情	
	7. 5. 30 受理	7. 6. 12 建設委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第75号 の1	『共生社会ビジョン』の充実を求める陳情	
	7. 6. 2 受理	7. 6. 12 総務委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第75号 の2	『共生社会ビジョン』の充実を求める陳情	
	7. 6. 2 受理	7. 6. 12 福祉健康委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第76号	中学校英語スピーキングテスト結果の令和8年度都立高校入試への活用中止に関する陳情	
	7. 6. 3 受理	7. 6. 12 文教委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第77号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情	
	7. 6. 3 受理	7. 6. 12 総務委員会参考送付
第78号 の1	魅力的な江戸川区にするための陳情	
	7. 6. 4 受理	7. 6. 12 総務委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第78号 の2	魅力的な江戸川区にするための陳情	
	7. 6. 4 受理	7. 6. 12 福祉健康委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第79号	教職員の増員で、少人数学級推進、働き方改革を求める陳情	
	7. 7. 25 受理	7. 9. 26 文教委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	

受理番号	件 名	
	受 理 日	付託日・付託先 / 参考送付日・送付先 結 果
第80号	7. 8. 1 受理	7. 9. 26 総務委員会参考送付
第81号	7. 8. 12 受理	7. 9. 26 福祉健康委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第82号	7. 8. 28 受理	7. 9. 26 生活振興環境委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第83号	7. 9. 12 受理	7. 9. 26 総務委員会参考送付
第84号	7. 9. 17 受理	7. 9. 26 議会運営委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第85号	7. 9. 17 受理	7. 9. 26 議会運営委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第86号	7. 9. 17 受理	7. 9. 26 議会運営委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第87号	7. 9. 17 受理	7. 9. 26 議会運営委員会付託
	7. 12. 11 継続審査	
第88号	7. 9. 18 受理	7. 10. 27 総務委員会付託
	7. 12. 11 採択 全会一致 (42 : 0)	

受理番号	件 名	
	受 理 日	付託日・付託先 / 参考送付日・送付先
	結 果	
第89号	江戸川区内の小・中・高・特別支援学校における「いじめ」をなくす取り組みに関する陳情	
	7.11.12 受理	7.11.28 文教委員会付託
	7.12.11 継続審査	
第90号	職員団体の組合費給与天引き（チェックオフ）手続きの適正運用および行政の政治的中立性確保を求める陳情	
	7.11.12 受理	7.11.28 総務委員会付託
	7.12.11 継続審査	
第91号	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	
	7.11.21 受理	7.12.11 総務委員会参考送付
第92号	シルバー人材センターの会員に対し、熱中症対策として空調服を支給するよう求める陳情	
	7.12. 1 受理	7.12.11 福祉健康委員会付託
	7.12.11 継続審査	

(5) 新規付託の請願・陳情

受 理 番 号 第 5 8 号 (議会運営委員会付託)

議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるような図をつくり、自治体のホームページで公開することに関する陳情

受理年月日 令和 7 年 1 月 1 4 日

付託年月日 令和 7 年 2 月 2 0 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 日本は民主主義国家なので、国民は政治家を選挙で選びます。国民は、自分の理想を実現してくれると思える政治家に投票するわけですが、自分の理想を実現してくれる政治家を見分けるのは、簡単ではありません。選挙に立候補する人は、街頭演説やマニフェスト等で自分の考えを表明しますが、それらが守られないこともあるので、それだけでは十分とは言えません。

この度私が陳情することが行われれば、国民は「政治家が言っていること」ではなく、「実際の行動」を知ることができるので、より正確に自分の理想を実現してくれる政治家を選ぶことができます。どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるようにすることは、民意を政治に反映する上でとても重要なことであり、国民の知る権利であり、民主主義の根幹であり、政治家の怠慢や横暴を防ぐための重要な仕組みであると、私は考えます。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

「議案の審議結果」「意見書・決議の審議結果」「請願・陳情の審議結果」について、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるように、図をつくり、自治体のホームページで公開してほしいです。また、それを見やすいものにしてほしいです。

区民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取組みについての陳情

受理年月日 令和 7 年 1 月 1 4 日

付託年月日 令和 7 年 2 月 2 0 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 現在の日本の治安は、いい状態とは言えません。

政府の発表によると、2023年に全国の小、中、高、特別支援学校で認知された「いじめ」の件数は732,568件です。これは、一日に約2,007件認知されたということです。同じく2023年の全国の「自殺死亡者数」は21,837人で、一日約60人が亡くなったということです。2022年の全国の「児童虐待相談件数」は214,843件で、一日約589件の相談があったということです。2023年に全国で起きた「殺人事件」は912件でした。一日平均、約2.5人が殺されたということです。「強盗」は1,361件起きました。一日約3.7人の方が被害にあったということです。「不同意性交等(強制性交等)」は2,711件で、一日約7.4人の方が被害にあっています。

多くの方はこのような状況に慣れてしまったせいか無関心でいますが、私はこれは異常な状態だと思っています。特に「自殺死亡者数」に関しては、G7の中で最も多いという、非常に残念な状況にあります。

多くの自治体は、これらの問題に対処するために様々な取組みをされていると思いますが、目立った成果は出ていないようです。それどころか、これらの数値は全て、前年と比べて増加しています。

私はこのような状況を改善するために、ある施策を考えましたので、是非、自治体の運営に取り入れていただきたいと思っております。多くの方が苦しんでいる今の状況は、普通ではありません。放置してはいけないと思います。治安を回復し、より良い社会を実現するために、是非、前向きに検討していただきたいと思っております。

私の一つ目の提案は、自治体(市区町村)が、その地域の「治安の状態」を数値化し、図表をつくり、自治体のホームページや機関誌等で公表し、区民と共有することです。

現在、日本政府は、治安に関する様々な統計データをネット上に公開していますが、私はそれらの中で、以下17の項目の数値を減らすこと(人口増減は除く)が「より良い社会」を実現する上で、特に重要だと考えています。

① 社会の状況 計9項目

自殺死亡者数、いじめの認知件数、児童虐待相談件数、死亡事故発生数、完全失業率、ホームレス数、離婚件数、ひとり親世帯数、人口増減数

② 犯罪の認知件数 計8項目

「強盗」認知件数、「殺人」認知件数、「不同意性交等(強制性交等)」認知件数、「不同意わいせつ(強制わいせつ)」認知件数、「窃盗犯」認知件数、「放火」認知件数、「略取誘拐・人身売買」認知件数、「来日外国人による刑法犯・特別法犯」総検挙件数

ここで重要なのは、「区民と共有すること」です。また、そのために必要なのは、ホームページや機関誌に掲載するなどして、「区民がいつでも見られるようにしておくこと」「定期的に公表し、しっかり伝えること」です。積極的に情報を発信して「治安の状態を区民と共有すること」がとにかく重要です。

この施策には、主なメリットが5つあります。

① 区民の「社会意識」が高まる

「地域(市区町村)の治安の状態」を数値化し、図表をつくり、常に自治体のホームページや機関誌等に掲載しておけば、その地域に住む全ての方が、自分が住んでいる地域の状態をいつでも数値で確認することができます。そのため、その地域に住む人が「地域の課題に関心を持つようになる」「社会意識が高まる」「地域に愛着を持つようになる」「地域の

政治に関心を持つようになる」「地域に貢献するようになる」といったことが期待できます。区民の「社会意識」が高まることは、自治体のあらゆる活動にプラスに作用します。

② 子供に、地域の課題を「自分ごと」として考えさせることができる

この取組みを、地域の小・中・高校の道徳教育に取り入れれば、地域の子供に子供の頃から、地域の課題を「自分ごと」として考えさせることができます。このような教育を子供の頃から継続して行えば、子供の「社会意識」は自然と高まると考えられます。

③ 自分が住んでいる地域の「良し悪し」が分かる

公表する数値は「地域の良し悪しを判断する基準」になるので、政治に詳しくない人でもその数値を見ることによって、自分が住んでいる地域が「良い状態か、悪い状態か」「良くなったか、悪くなったか」「他の地域と比べてどうか」等を知ることができます。

④ 自治体で働く人の「責任感」と「真剣さ」を高めることができる

この取組みを全国の全ての自治体(市区町村)で行えば、日本の全ての自治体を数値で評価できるようになるので、自治体で働く全ての人の「責任感」と「真剣さ」を高めることができます。

⑤ コストがかからず、リスクがない

17の項目は、全て政府と警察庁のホームページに掲載されているので、新たに調査する必要がありません。つまり、実施するにあたってコストがほとんどかからず、リスクがほとんどないということです。

この取組みをするにあたり、デメリットというほどのことではありませんが、それぞれの数値を調べ、図表をつくり、公表する作業が必要になります。これらの数値は、政府が都道府県別でネット上に公開していますが、市区町村別の数値は一部の地域を除いて公開されていません。ただ、集計は市区町村ごとに行われているようなので、問い合わせることによって知ることができると思います（東京都の犯罪の発生件数は市区町村別で公開されています）。また、以前私が八王子市役所に、八王子市における「自殺死亡者数」「いじめの認知件数」「児童虐待相談件数」を問い合わせたところ、教育委員会の方針で八王子市の数値は公開していないとのことでした。ただし、把握はしているとのことでした。自治体によっては、一部の数値は公開しづらいのかもしれませんが、私はむしろ積極的に公開するべきだと考えています。なぜなら、「現状を知ること」なしに、改善することなどできないからです。治安を良くする上で、「現在の治安の状態を知ること」は、避けては通れないのです。現状から目をそらさず、区民の幸せに直結するそれらの数値を公開し、区民と共有することこそ誠実な態度なのです。より良い社会を実現するために、是非、この重要な一歩を踏み出してほしいと思います。

二つ目の提案は、「一つ目で公表した数値を減らす方法」を考え、「数値目標」を決め、「実施計画」を立て、公表し、区民と協力して、それを行うことです。

ここで重要なのは、「数値目標」「実施計画」「具体的な取組み」等を「区民と共有すること」です。また「区民に対して、定期的に進捗状況を伝えること」、そして「その活動を、政治の仕組みとして定着させること」も重要です。ここでも、「区民と情報を共有すること」が、何より重要です。この施策のメリットは、これをしっかり行えば、少なからずその数値が減ることです。また、その地域に住む全ての人が「共通の目的」を持つことになるので、地域の団結が得やすくなりますし、地域がまとめやすくなります。この取組みのデメリットは、「数値を減らす方法」を考え、「数値目標」を決め、「実施計画」を立てるのに、時間と労力がかかることです。また、区民と協力してそれを行うためには、行政の適切なリーダーシップが必要になります。

現在、「いじめ」「自殺」「児童虐待」は、社会問題として注目されていますが、改善する兆しが見えません。恐らく、今行っている取組みを続けているだけでは、改善できないと思います。私の提案はこの状況を打破するための新しい取組みです。この取組みを継続して行い、行政の「仕組み」として定着させることができれば、必ず成果が得られるはずです。私はこの取組みが、全国の市区町村、都道府県で行われるように働きかけています。全国の市区町村、都道府県がこの取組みをすることによって、日本全体の治安が良くなる、よ

り良い社会が実現する。それが、私が期待していることです。日本全体の治安を良くするために、是非、この施策を自治体の活動に取り入れていただきたいと思っております。つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 自治体（市区町村）が、その地域の「治安の状態」を数値化し、図表をつくり、自治体のホームページや機関誌等で公表し、区民と共有すること。
- 2 「1で公表した数値を減らす方法」を考え、「数値目標」を決め、「実施計画」を立て、公表し、区民と協力して、それを行うこと。

受 理 番 号 第 6 1 号 (文教委員会付託)

江戸川区立中学校・小学校の修学旅行や移動教室等の費用を無償化し、保護者負担の軽減を求める陳情

受理年月日 令和 7 年 2 月 3 日

付託年月日 令和 7 年 2 月 2 0 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 江戸川区立の中学校では 3 年生で修学旅行、小学校では 5・6 年生はウィンタースクールや移動教室を実施しています。費用負担は各家庭の出費です。

最近の物価高騰やインバウンド需要の増加・運転手不足等により交通費や宿泊費、食事代等が値上がりし、それに伴い旅行費用も値上がりしています。家庭の負担としては特に大きな金額です。

修学旅行や移動教室等は教育活動として大切な行事であり、江戸川区の負担が必要と考えます。

つきましては、江戸川区立の中学校・小学校の修学旅行や移動教室等の行事負担を江戸川区予算として計上いただきたく、貴議会において、審議・可決いただけるよう、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 江戸川区立中学校の修学旅行や小学校のウィンタースクール等の移動教室の経費を無償化し、保護者負担を軽減すること。経費については、保護者の所得にかかわらず江戸川区が負担すること。
- 2 都や国に対し、修学旅行や移動教室等の自治体負担軽減と自治体間格差を軽減するため補助金支給を要請すること。

富士公園バーベキュー場の現状維持を求める陳情

受理年月日 令和 7 年 2 月 1 0 日

付託年月日 令和 7 年 2 月 2 0 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 富士公園のバーベキュー場は、緑豊かな森の中で、区民が安価に楽しく寛げる憩いの場所です。区民の共有財産（コモンズ）であり、多くの区民にとって大切な場所です。民間委託による儲ける公園化と環境破壊の計画は区民のためになっていないため現状維持を求めます。西なぎさや新左近川のバーベキュー場が民間委託され、価格が上昇して手軽に利用できなくなった現状を考えると、富士公園のバーベキュー場は貴重な施設です。区民が気軽に利用できる場所であり、おしゃれさや儲けは不要です。

このバーベキュー場は居心地が良く、安価で、森林に囲まれた自然と一体となった場所です。パーク P F I 方式によるスクラップ&ビルドの再生計画は環境破壊に他なりません。7, 0 0 0 本の木を切り倒し、8, 0 0 0 本を植える計画は、3 0 年以上育まれてきた木々を破壊するものです。木々の移植には費用が嵩むことから、コスト削減のための見せかけの植栽に過ぎません。このような計画は環境だけでなく、そこに根ざした文化も破壊します。

真の豊かさとは、文化や自然が存在することです。これも資本と言えます。お金だけが資本ではなく、このような社会共有資本こそ江戸川区の魅力です。例えば、公園が多く緑豊かで川に囲まれていることは子育て世代にとって大きな魅力です。また、温もりある下町文化は親水公園を中心としたふれあいや祭りなどによって育まれています。このような環境が老若男女問わず住み心地の良い地域を作り出しています。

お金のために公園を作り変えたとしても、3 0 年後に同じ業者が経営できているかは疑わしいです。儲けが前提であると継続性には疑問符がつきます。しかし、自然は3 0 年後も生き続け、根ざした文化も継続します。スターバックスやドトールコーヒー、有料駐車場、有料スポーツジムなどを作り、お金を払った人しか安らぎを享受できない状況は不平等です。行政サービスを受けるために税金を払っている区民にとって、このような状況は納得できません。

住民アンケートを少し行っただけで行政の長が勝手に決めることは暴挙です。社会共有財産である公園や森は住民のものです。海外では、公園などは行政のものではなく、多数による共有資源として管理されている例があります。

富士公園を、お金を払った人しか楽しめない儲けの場所に変えないでください。古びた杭などを取り除き、安全面だけを配慮しコストをかけずに現状維持してください。バリアフリーや老朽化対策を旗印に儲けるための公園に変えることはやめてください。未来世代の資本を食物にして短期的に今だけ稼ぐ姿勢は、区民のためになっていません。民間委託はおやめください。現状維持で十分です。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

富士公園バーベキュー場の周囲の自然環境を保存し、現状維持を求めます。

受 理 番 号 第 6 4 号 (総務委員会付託)

江戸川区の今後の「行政サービスの水準」案に対する陳情

受理年月日 令和 7 年 2 月 1 0 日

付託年月日 令和 7 年 2 月 2 0 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 昨年、8 月 1 5 日号の広報えどがわで 2 1 0 0 年アクションプランが発表され、その後区民に意見を募集したりアンケートを行ったりして、今回の「行政サービスの水準」が発表されました。しかし、私達の様々な要求や意見は思ったように反映されず、区民アンケートも 3 つの選択肢で、内容も漠然としていました。アンケートへの参加を躊躇した区民も多かったのではないのでしょうか。回答人数も区民の 1 割にも満たない 4 6 , 0 2 4 人でした。このサービス内容が区民の総意として実施されることには納得がいきません。

私達、新日本婦人の会は子どもや女性・すべての人の幸せを願い結成された女性団体です。様々な区民施設を利用して、健康にも留意し、元気で親睦を深める活動を進めてきました。今回の提案にある「公共施設の使用料の見直し」による値上げ案は、区民のささやかな楽しみに、大きく影響を及ぼすものです。

減免制度は多くの団体が活用しており、大変ありがたい制度です。この制度の見直しも併記されています。区民の居場所作りがうたわれているなか、子どもや高齢者にとっては大問題です。2 0 2 5 年度 1.5 倍、2 0 2 8 年度には 2 倍以上となり、区民の足は区民施設から遠のいてしまいます。区民の健康対策・コミュニケーション力の向上等からも区民施設の使用料見直しとしての大幅な値上げを中止してください。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 公共施設の使用料見直し・大幅値上げを中止してください。
- 2 減免制度の見直しも中止して、諸活動の支援を継続してください。

江戸川区民間子育てひろば事業補助要綱の改正に関する陳情

受理年月日 令和 7 年 2 月 1 2 日

付託年月日 令和 7 年 2 月 2 0 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 私たちは、江戸川区において子どもたちの健全な育成を目的とし、地域に根ざした「民間子育てひろば」の運営に携わる者として、現行の江戸川区民間子育てひろば事業補助要綱の改正と補助額の増額を求めます。

ファミリーセンター東京ベーテルは平成 1 2 年より、葛西地域で子育て支援活動を始めて 2 5 年になります。葛西地区は転勤で転入してきた家庭が多く、知り合いがいない慣れない環境下での育児により、孤立してしまう親子が少なくありません。そんな親子に寄り添うため、積極的な声掛けで温かく迎え入れ、ひろばに来る親子の交流を促進し、時には個別の相談に応じるなど、誰もが安心して子育てができる環境整備のために日々活動をしております。

現在、江戸川区が実施している「民間子育てひろば支援事業」として事業補助を頂いておりますが、運営費の補助額は平成 2 2 年度から 1 5 年間ずっと同額のままとっております。物価高により、特に人件費、施設家賃の面で大きな課題を抱えており、このままでは参加する多くの親子のニーズに答えられなくなる状況にあります。

一方で、令和 5 年にこども基本法が施行され、こども家庭庁が設立されたことにより、「こどもまんなか社会の実現」に向け、子ども・子育て支援交付金制度ができ、全国的に自治体はその基準を参考に補助額の引き上げを進めています。令和 5 年度以降、東京 2 3 区以内でも荒川区・北区・練馬区が、すでに子育てひろばに関する要綱を改正、補助額の増額をしており、文京区では光熱費高騰に対応するために事業費とは別途光熱費の補助を行うなど、運営団体の支援を拡充しています。

私たちは長年、同地で子育て支援活動を行い、いつも同じスタッフがいう安心感からか、対象年齢以外の子どもやその親も訪れる場所となっています。親子が安心できる場所、相談できる場所が身近にあるということが子どもを育児する親にとって非常に大切であり、子育てひろばに求められる役割であると考えております。少子化対策は急務です。私たちはこども家庭庁の推進する政策により近い、充実した支援を受けられる子育てひろばの運営を続けていく必要があります。つきましては、こども家庭庁の政策を踏まえた江戸川区民間子育てひろば事業補助要綱の改正と補助額の増額を求め、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 こども家庭庁の政策に準じた額（9,023千円）までの基本事業補助の増額
- 2 こども家庭庁の政策に準じた加算事業に対する補助の設定
- 3 こども家庭庁に準じた貸借料補助の設定

受 理 番 号 第 6 8 号 (文教委員会付託)

江戸川区内の小学校登下校時における P T A、子ども会、地域ボランティアなど
地域ぐるみにおける子ども達の見守り活動支援とともに、シルバー人材センター
などの活用による小学生見守りのための予算計上に関する陳情

受理年月日 令和 7 年 4 月 2 5 日

付託年月日 令和 7 年 6 月 1 2 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 地域の財産である子ども達の安全と安心を確保するため、江戸川区内の小学校
登下校時における見守り活動が、P T A や子ども会、地域ボランティアの方々により実施され
ております。

しかし、各小学校児童数・家庭数・学区域、道路・交通状況などの違いで取り組み方はまちま
ちです。特に下校時については、保護者の就労時間とも重なり、手薄になっている現況です。
通学路も複数あり、中には建築工事・道路工事などで通学時の危険度が高まっている子ども達
がいます。実際に交通事故に巻き込まれた子ども達もいます。一方、活動する皆さんも苦勞し
ながらの活動で、子ども達の安全・安心に関し大変苦慮しておられます。

また、江戸川区は 2 3 区の中で、小学校登下校時にシルバー人材センターなどに予算計上さ
れていない数少ない区となっています。

つきましては、地域ぐるみにおける登下校時見守り活動の支援と、シルバー人材センターな
どを活用するための予算を計上していただきたく、貴議会において、審議・採択いただけるよ
う、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 P T A や子ども会、地域ボランティアなど、地域ぐるみにおける子ども達の小学校登下
校時見守り活動の支援。
- 2 江戸川区内の小学校登下校時における、シルバー人材センターなどの活用による小学生
見守りのための予算計上。

受 理 番 号 第 6 9 号 (建設委員会付託)

スーパー堤防に代わる耐越水堤防の建設を求める陳情

受理年月日 令和 7 年 5 月 1 4 日

付託年月日 令和 7 年 6 月 1 2 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 スーパー堤防は、「沿川まちづくり」から「高台まちづくり」へとその事業の名称を変え、「高台づくり」が目的として強調され、本来の治水という事業目的が大幅に後退しているのではないのでしょうか。

この「高台づくり」は、点の整備で繋がらず、堤防として機能しないことを批判され、「繋がらなくても高台になる」と後付けの説明で使われはじめ、その「高台」は「緊急避難先」になるといいます。しかし、堤防高が同じため、洪水時には既存堤防と同様に越流が発生しうる盛土の斜面を「高台」と呼び、緊急避難先として指定することができるのか疑問です。

「越流水が斜面を緩やかに流れるために壊れない」というスーパー堤防。つまり、30Hという長大な土の斜面は、越流水を緩やかに流すことにより、盛土の洗堀を避けるためのものであり、この長大な盛土工事のために、住民は生活を中断され、立退きや長期の移転が必要となります。そして、設計上、その長大な斜面が許容する越流水深は、最高15cmであるといえます。それ以上の越流の発生は「想定外」ということなのでしょう。

このようにスーパー堤防は、一連の連続した区間の整備を見通せず、堤防として機能しない上に、「壊れない堤防」というその「治水性能」にも疑問が残ります。

スーパー堤防に代わる耐越水堤防は、国のフロンティア堤防だけでなく、民間からも多くの提案がなされています。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

長大な盛土の堤防建設を止め、新しい知見と工法による耐越水堤防の建設を求めます。

受 理 番 号 第 7 0 号 (建設委員会付託)

都市計画道路補助第 2 8 3 号線拡幅計画の撤回を求める陳情

受理年月日 令和 7 年 5 月 1 4 日

付託年月日 令和 7 年 6 月 1 2 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 この補助第 2 8 3 号線は、蔵前橋通りの江戸川交番の交差点から、江戸川の右岸に沿って北上し、葛飾区の鎌倉 3 丁目からは補助第 2 8 2 号線となって、再び、蔵前橋通りの六軒島交差点に至る道路です。

今から 6 0 年近く前に計画されたもので、当初計画の目的は不明ですが、補助第 2 8 3 号線は補助第 2 8 2 号線と繋がって、はじめて道路として機能する計画と思われます。

この計画の予定地の状況は、拡幅対象の道路で全てが繋がっているわけではなく、補助第 2 8 3 号線の北小岩 7 丁目以北は、新たに道路造りが必要であり、補助第 2 8 2 号線は当時から京成線の線路に分断されたままで、「開かずの踏切」対策としての京成線の高架化と車両基地の移転の完成を待たなければなりません。

計画から 6 0 年後の現在、外環道の開通や社会環境の変化により、この地域の車の通行量は大きく減少しています。都の優先整備路線からも外されており、補助第 2 8 3 号線拡幅の必要性和緊急性は全くありません。

人口減少社会をむかえ、不必要な道路建設は控えるべきと考えます。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

私たちは、都市計画道路補助第 2 8 3 号線の拡幅計画の撤回を求めます。

受 理 番 号 第 7 1 号 (福祉健康委員会付託)

電磁波の悪用 (エレクトロニクス・ハラスメント) 及び電磁波の人体と健康への悪影響を訴え、電磁波に対する法整備・法改正を国に働きかけるよう求める陳情

受理年月日 令和 7 年 5 月 2 3 日

付託年月日 令和 7 年 6 月 1 2 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 スマートフォンが普及し、今から 1 5 年前に国会でも質問された電磁波の人体への悪影響や電磁波過敏症に関しては、一向に法整備がされず対策もせず、今日に至っています。最近では、5 G となり悪影響を訴える人が広がっていて、その中に集団ストーカー犯罪を訴える方々や、電磁波の悪用、エレクトロニクス・ハラスメント、また、過敏症と攻撃被害を叫ぶ方が増えています。

日本全国に電磁波過敏症の被害者は 5 万人、エレクトロニクス・ハラスメントの被害者は 2 万人点在していると言われていています。それに対して行政は不知で、対策を考えていません。そこで、調査 (専門調査研究部門を設置) と対策 (診断を出せる医師育成) 及び保護支援 (保障制度、公的保険の適用) を求め、国に対し法改正・法整備を働きかけるよう求めます。

1 電磁波過敏症

2 0 1 1 年の民主党政権時、自由民主党の議員が「電磁波に関する質問主意書」を提出しました。その内容は以下のようなものです。

『私たちの身の回りには、目に見えない電磁波が飛び交っており、携帯電話、ワイヤレスブロードバンドなどの普及により、電磁波の量は飛躍的に増加していると考えられ、それにつれて、これらの電磁波が健康に影響を及ぼしているのではないかと不安を感じている人が増加している。特に携帯電話やワイヤレスブロードバンドの基地局から発せられる高周波の電磁波に対しては、その安全性について疑問の声があがっている。

(1) 海外の電磁波に対する法整備等

欧州諸国では、電磁波過敏症は社会的に認知されつつあり、公的保険の対象として治療が受けられる。

アメリカでも電磁波過敏症の専門医が患者のケアを行っている。

スウェーデンのストックホルム市では、自治体が、電磁波過敏症の発症者に対し、より電磁波漏えいの少ない電化製品への交換や、遮蔽フィルムを貼ったり塗料を塗ったりといったリフォーム費用を負担または補助しており、さらには、電磁波過敏症の発症者が働き続けられるように雇用主にも対策を求めているという。

欧米では疫学調査に基づき、低周波の規制値を 4 ~ 1 0 ミリガウスまでとしているのに対し、日本では 1, 0 0 0 ミリガウスとしている。

世界保健機関は、低周波の新環境保健基準を発表し、この中で 4 ミリガウス以上での小児白血病のリスクを認めている。

高周波の規制値は、欧州などでは、1 平方センチメートルあたり 0. 1 ~ 1 0 マイクロワットとされているのに対し、日本は 1, 0 0 0 マイクロワットとされている。欧州などのように予防原則の立場から、より厳しい規制に改める必要がある。

携帯電話の電磁波を規制する動きとして、比吸収率 (S A R) という安全基準が設け

られている。フランスの法律では、「フランス国内で販売される全ての携帯電話は、比吸収率（SAR）をフランス語で明確に表示しなければならない。また、通話中の頭部への電波ばく露を制限する付属品の使用推奨にも言及しなければならない。」とされている。日本でも総務省令により、毎キログラムあたり2ワットの許容値を満たすことが義務づけられてはいるが、一般的にこの比吸収率（SAR）について知られていないのが現状である。携帯電話購入の際の検討要素として、この比吸収率（SAR）も、より周知されるようにすべき。

フランスでは、電磁波による子どもの健康への影響を考慮して、「保健省は、6歳以下の子ども向けの電波放射機器の販売または無料配布を禁止する法律を制定することができる。」と法律で定められている。

ロシアの国立非電離放射線防護委員会は、「16歳以下の子どもは携帯電話を使うべきではない」と述べている。

イギリスの国立放射線防護委員会は、「8歳未満の子どもには携帯電話を使わせないように」と、カナダのトロント市公衆衛生局は、「8歳以下の子どもたちには固定電話を」、アイルランドのアイルランド医師環境協会は、「16歳以下の子どもには携帯電話を使用させないように」と、携帯電話の子どもたちの体への影響を考慮した規制・勧告・要請を行っている。

（2）国内での条例

岩手県滝沢村では、電磁波や低周波による影響などの調査研究や規制について、「滝沢村環境基本条例」が施行されており、全国の他の市町村においても、携帯電話基地局の設置に関する条例などが施行されている。

これら海外の規制値等を政府に質問していましたが、翌年に政権交代し、この質問以降も変化が見られず、電磁波の健康への悪影響は忘れ去られています。

また、宮崎県小林市において、保育園児に鼻血が止まらない園児が続出しました。2014年12月議会で全国初の快挙として条例を勝ち取り、「小林市携帯電話等中継基地局の設置又は改造に係る紛争の予防と調整に関する条例」が可決されました。

2 電磁波悪用

その後、さらに5G・6Gと電磁波の量も増え、人々への健康被害も増え続けています。海外では体調不良を訴える電磁波悪用攻撃のハバナ症候群の報告と法整備がなされ、医師の検診も受けることができ、保険も使用できる流れになっています。

また、昨年5月にはアメリカのコロラド州で、7月にはカリフォルニア州にて、人権法案として「脳データ」の悪用を禁じる法案が採決されました。これも電磁波を使用して人の「脳データ」を採取するもので、さらにそれが売り買いされているというものです。

衛星からのGPSと携帯基地局による位置情報と「脳データ」の悪用で、人々を監視しマインドコントロールまでできると、2017年の国会質問では共産党議員がエドワード・スノーデンのファイルを引用し、政府がエックス・キー・スコアという生体情報から監視するシステムを米国企業から購入し、防衛省情報本部電波部に渡し、警察と個人情報を共有しているということを質問していますが、政府の回答は「出所不明の文章」として答えませんでした。2025年現在、米国ではトランプ政権が再度誕生し、スノーデンが恩赦される方向で進められているようで、明らかな出所の文章として認識される時期も近づいています。

ここに一般市民の電磁波被害者として、電磁波過敏症と電磁波による悪用（エレクトロニクスハラメント）の調査、対策及び法整備について、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 行政で電磁波の人体への悪影響の調査、エレクトロニクス・ハラスメント対策チーム設置（測定と発生元特定）及び保護と周知をすること
- 2 電磁波過敏症及び電磁波被害の専門医の設置、公的保険の適用を推進するよう日本政府に働きかけること。
- 3 地域内の携帯基地局の所在地を明記し区民に知らせること。
- 4 海外の規制値と国内の規制値を比べ、何故現在大きな隔たりがあるのかを調べ、電磁波の人体への影響（特に子どもたちの身体への影響）を考慮し、危機意識の高い国々の水準に合わせた法改正を日本政府に働きかけること。

受 理 番 号 第 7 2 号 (福祉健康委員会付託)

「あはき・柔整広告ガイドライン」の適正かつ積極的な運用を求める陳情

受理年月日 令和 7 年 5 月 2 9 日

付託年月日 令和 7 年 6 月 1 2 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 令和 7 年 2 月 1 8 日、厚生労働省から「あん摩業、マッサージ業、指圧業、はり業、きゅう業若しくは柔道整復業又はこれらの施術所に関して広告し得る事項等及び広告適正化のための指導等に関する指針」（いわゆる「あはき・柔整広告ガイドライン」）が公表されました。

国民が適切にあん摩マッサージ指圧、はりきゅう、柔道整復の施術を受けるためには、施術所のルール順守が重要となります。各法に違反するような広告や国民に誤解を与えるような広告が、施術所の信頼を損ない、国民の健康被害に繋がる可能性も否定できません。

地域保健法第五条におけるこれらの改善指導を行う権限を有する保健所を設置している自治体においては、通報対応だけではなく、一斉点検や文書配布等の適切な施策によって、保健所による「あはき・柔整広告ガイドライン」に違反する広告の改善指導を強く希望します。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

「あはき・柔整広告ガイドライン」を、適正かつ積極的に運用すること。

受 理 番 号 第 7 3 号 (建設委員会付託)

補助第 2 8 8 号線のボックスカルバートをやめて、道路を非浸水高さに設置することを求める陳情

受理年月日 令和 7 年 5 月 3 0 日

付託年月日 令和 7 年 6 月 1 2 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 篠崎公園地区高台まちづくりでは、江戸川との一体整備を図り、緊急避難場所の充実を図るとされています。具体的には、堤防から公園になだらかな斜面を構成し、高台公園と高規格堤防の上面とを活用した高台まちづくりであるとされています。

また、篠崎公園地区の下流側、京葉道路までの区間で、都県橋も視野にいたした篠崎周辺地区高台まちづくりが新たなモデル地区として検討が開始され、広域避難を見据えた篠崎公園の防災拠点としての機能を充実する計画としようとしています。

想定最大浸水深さよりも高く設置される篠崎公園は、緊急避難場所であると同時に、貴重な高台防災拠点としての役割を果たしてくれるものと期待できると思います。

ところが、篠崎公園地区高台まちづくりでは、高規格堤防盛土や公園盛土の中にボックスカルバートを設置して補助第 2 8 8 号線を通す計画になっています。このボックスカルバートは、高規格堤防等の盛土部分の約 3 0 0 m をトンネル構造とすることになっており、その道路面は最大浸水深さよりも低く、車両通行が不可能となると予想されています。

そこで、補助第 2 8 8 号線のボックスカルバートをやめて、道路を非浸水高さに設置することを求めたいと思います。道路面を盛土の上面に設置することにより、篠崎公園に一時的に避難した人々をより安全な場所へと移動する交通手段として、また、復旧対策の拠点として車両や重機を使うことを是非ご検討いただきたいと考えます。せっかく新設する道路を水没させるよりも、防災機能として格段の向上が見込まれるのではないかと思います。

このボックスカルバートをやめて盛土の上面に道路を敷設する方法は、設置費用、維持管理費用、更新撤去費用等を含めた費用の面でも、ボックスカルバートよりも優位であるのではないかと考えられます。ボックスカルバートは、設置にあたっての総費用もさることながら、区の負担も発生するのではないのでしょうか。また、底面の杭などによる支持構造敷設の費用も少なくはないのでしょうか。さらに、供用開始後の維持管理費用は長期にわたり区の単独負担となるのではないのでしょうか。それに対して、堤防上面と同じ高さに道路を敷設するのであれば、設置費用も、支持構造費用も、維持管理費用もずっと小さく抑えることができるのではないかと推察されます。

さらに、篠崎地区と同様に高台まちづくりのモデル地区になっている荒川の舟渡・新河岸地区(板橋区)では、堤防の天端道路を利用したバスなどの車両による避難経路の確保が、流域治水プロジェクト 2. 0 で検討が追加されています。また、葛飾区が東京都と進めている新小岩公園再整備事業においては、中川堤防と接する部分を堤防天端と同じ高さで整備し、堤防天端との接続のみならず、都道 3 1 5 号線、平井大橋を経由して、首都高速道路中央環状線との接続を想定しています。都道をボックスカルバートとするようなことは計画されていません。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

補助第 2 8 8 号線のボックスカルバートをやめて、道路を非浸水高さに設置することを求めます。

受 理 番 号 第 7 4 号 (建設委員会付託)

高台まちづくり事業での移転先を浸水しない高さとするをを求める陳情

受理年月日 令和 7 年 5 月 3 0 日

付託年月日 令和 7 年 6 月 1 2 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 東京東部低地における高台まちづくりは、避難場所、防災拠点、非浸水動線を確保しうる優れた手法であると受け取れます。現在、篠崎公園地区高台まちづくりに引き続き、その下流側、京葉道路までの江戸川沿川で、篠崎周辺地区高台まちづくりもモデル地区としての検討が始まっています。これらの高台まちづくりには高規格堤防整備事業が含まれており、篠崎公園地区や篠崎周辺地区は最大浸水深さが 3 m に及ぶとされています。

高規格堤防整備では、地区住民は現存住宅の除却に引き続き、新たに住宅を再建することが必要です。その多くは高規格堤防盛土造成工事の間、仮住まいを余儀なくされる中断移転になります。

高規格堤防盛土は堤防の高さの 30 倍の幅を持つと説明されていて、約 1 / 30 の傾斜面になります。住民が住宅を再建する宅盤は、その傾斜面に擦り付けた平地として用意され、階段状の宅地が出来上がることが一般的です。宅盤の高さは、川に近いところは高く、川から離れるに従って宅盤は低くなり、最終的にはほぼ既存地盤の高さになります。

川に近いところに換地された場合は非浸水高さに住宅を再建できますが、川から離れたところでは、そのままでは浸水が予想されるところに再建を余儀なくされることになります。川に近くても、川から離れていても、再建する負担は高さによらず変わりはありません。しかし、川に近いと浸水を免れ、川から離れると浸水するかもしれないという不均衡が生じます。

住宅を再建するという負担は住民にとって決して簡単なものではありません。それなのに、高規格堤防を採用することによって、再建後の浸水リスクに不均衡が生じるなどということがないように、高台まちづくりにおいては、移転先の宅盤高さを浸水しない高さとするを是非ご検討されるようお願い申し上げます。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

高台まちづくり事業での移転先を浸水しない高さとするを求めます。

受 理 番 号 第 7 5 号 の 1 (総 務 委 員 会 付 託)

『共生社会ビジョン』の充実を求める陳情

受理年月日 令和 7 年 6 月 2 日

付託年月日 令和 7 年 6 月 1 2 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 先日、江戸川区は施策の柱を「中サービス・中負担」で行うと広報で発表しました。区役所を利用しやすくする、公園が多目的に活用されるようにする、人材育成（教育）に力を入れる等、未来に向けての施策もありますが、多くは公共施設の使用料を引き上げる、健康診断を一部有料化する等、区民に一層負担をかける方向での内容です。将来、少子高齢化で区財政の逼迫が予想されるので、このような見直しをしたようです。

「住民の福祉の増進を図ることを基本とする」（地方自治法第 1 条の 2）ということが地方自治体の一番重要な役割です。少子高齢化が予想される中で、この事態を優れた発想の施策で乗り切るのが行政の役目ではないでしょうか。

区民の代表として区政の方向性を決めるのが区議会の役割です。是非、区民の福祉増進のため力を注いでいただきたいと存じます。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 公共施設の使用料は値上げせず、現状の料金を維持してください。また、使用料の減免制度を継続してください。
- 2 『共生社会ビジョン』を区民福祉増進の方向で見直ししてください。

受 理 番 号 第 7 5 号 の 2 (福 祉 健 康 委 員 会 付 託)

『共生社会ビジョン』の充実を求める陳情

受理年月日 令和 7 年 6 月 2 日

付託年月日 令和 7 年 6 月 1 2 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 先日、江戸川区は施策の柱を「中サービス・中負担」で行うと広報で発表しました。区役所を利用しやすくする、公園が多目的に活用されるようにする、人材育成（教育）に力を入れる等、未来に向けての施策もありますが、多くは公共施設の使用料を引き上げる、健康診断を一部有料化する等、区民に一層負担をかける方向での内容です。将来、少子高齢化で区財政の逼迫が予想されるので、このような見直しをしたようです。

「住民の福祉の増進を図ることを基本とする」（地方自治法第 1 条の 2）ということが地方自治体の一番重要な役割です。少子高齢化が予想される中で、この事態を優れた発想の施策で乗り切るのが行政の役目ではないでしょうか。

区民の代表として区政の方向性を決めるのが区議会の役割です。是非、区民の福祉増進のため力を注いでいただきたいと存じます。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 子ども食堂の援助を拡充してください。
- 2 健康診断の一部有料化を中止してください。

中学校英語スピーキングテスト結果の令和 8 年度都立高校入試への活用中止に関する陳情

受理年月日 令和 7 年 6 月 3 日
付託年月日 令和 7 年 6 月 1 2 日
陳 情 者

陳 情 原 文 東京都教育委員会 (以下都教委) は民間業者と協定を結び、令和 4 年度から全公立中学 3 年生を対象に中学校英語スピーキングテスト (E S A T - J) を実施し、その結果を都立高校入試の合否判定に活用してきました。これには多くの問題点があることが専門家、教員、保護者等から指摘されていますが、都教委はそれに応えようとせず、さらに令和 5 年度から入試で活用するだけでなく、新たに 1・2 年生でもスピーキングテストを実施しています。1 透明性・公平性・公正性・個人情報保護の観点がなく、当事者への負担が大きいテスト
令和 4・5 年度の E S A T - J においては、解答に影響する音漏れがあったこと、高校範囲の内容が出題されたことが大きな問題でした。令和 6 年度は、W e b 登録と当日運営、そして不受験者への得点付与等が問題となりました。

- (1) 業者による W e b 登録システムが十分に機能せず、多数の登録ミスを生じ、その確認作業、保護者、業者への連絡に保護者、教員の負担はあっという間に増加したことが、保護者、教員へのアンケートから明らかになっています。情報漏洩の危険性、個人情報利用の不透明さへの懸念を持っている受験生・保護者への配慮もなされていません。
- (2) 当日、解答音声録音するタブレットの不具合や、試験監督の人手不足から、本人には何の落ち度もない中、後日、再受験を余儀なくされた受験生は、255 人にのぼりました。試験監督者の数が足りず、当日実施直前まで試験監督者の募集が出ており、研修・準備が不十分なまま実施されたことは隠しようがありません。
- (3) 不受験者には、学力検査の得点が同程度の受験生 (前後 10 名程度) の E S A T - J 結果平均から見込み点が与えられましたが、その妥当性を示す統計的根拠はありません。都教委もそれを認めながら実際の合否判定への影響について一切明らかにしていません。

2 テストによる動機付けではなく授業の質の向上を、英語教員の確保など教育環境の整備を E S A T - J は「話す力の向上」「グローバル人材の育成」という目標の下、実施されていますが、テストによる動機付けだけでは、学習効果は生まれません。むしろ、異文化コミュニケーションを豊かにし、話す内容を豊かにすることが大切であり、授業の中で教師、仲間との人間的な関わりの中で学んでいくことで、ことばの力は向上するという事は多くの研究者が述べています。すべての生徒が外国語の力をつけることができるよう、指導法の研究や、教育条件の整備に税金を使うべきです。E S A T - J の令和 6 年度予算額が 43 億円に増額されていますが、これだけの予算があれば、外国人英語指導員も含め不足している英語科教員の確保、中学 3 年生までの 35 人学級の実現が可能となり、英語を話す力の育成にも十分効果をもたらします。いずれも、受験生本人、保護者、教員の声をまず聴くべきです。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 E S A T - J 出願、受験等に関わった教職員、生徒、保護者に向けて、可能な範囲で「実施状況調査」を行い、結果を公表してください。
- 2 東京都教育委員会に中学校英語スピーキングテスト (E S A T - J) 結果の令和 8 年度都立高校入試への活用を中止するよう意見書を提出してください。

受 理 番 号 第 7 8 号 の 1 (総 務 委 員 会 付 託)

魅力的な江戸川区にするための陳情

受理年月日 令和 7 年 6 月 4 日

付託年月日 令和 7 年 6 月 1 2 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 現在、生活必需品が異常な高騰状況にあります。また、年金は目減りし、介護保険料、国民健康保険料などの負担も増え続けています。年金生活者と労働者とも、生きていくのは大変になっています。このような状況下で、区民に更なる負担増を求めるのは、区政にとってもプラスにはなりません。このような時代にこそ、人と人との繋がり、コミュニティ関係を強め、地域力を高める施策が求められていると考えます。

全日本年金者組合江戸川支部は、区が公表している「2100年の江戸川区共生社会ビジョン」について、学習会や議論を重ねてきました。

私たちは、若い人も高齢者も安心して生活できる、魅力的な江戸川区、住みたい街と噂されるような江戸川区を作り上げたいと思っています。今後は人口減少傾向が続くと思われます。全国的な人口減少への唯一の対策は、何でしょうか。住みたい自治体と人気がある自治体は、人口が減らないという事態も考えられます。そんな江戸川区にするために、下記のとおり強く陳情いたします。

記

公共施設の使用料は値上げをせず、現状の料金を維持してください。また、使用料の減免制度を継続してください。

受 理 番 号 第 7 8 号 の 2 (福 祉 健 康 委 員 会 付 託)

魅力的な江戸川区にするための陳情

受理年月日 令和 7 年 6 月 4 日

付託年月日 令和 7 年 6 月 1 2 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 現在、生活必需品が異常な高騰状況にあります。また、年金は目減りし、介護保険料、国民健康保険料などの負担も増え続けています。年金生活者と労働者とも、生きていくのは大変になっています。このような状況下で、区民に更なる負担増を求めるのは、区政にとってもプラスにはなりません。このような時代にこそ、人と人との繋がり、コミュニティ関係を強め、地域力を高める施策が求められていると考えます。

全日本年金者組合江戸川支部は、区が公表している「2100年の江戸川区共生社会ビジョン」について、学習会や議論を重ねてきました。

私たちは、若い人も高齢者も安心して生活できる、魅力的な江戸川区、住みたい街と噂されるような江戸川区を作り上げたいと思っています。今後は人口減少傾向が続くと思われます。全国的な人口減少への唯一の対策は、何でしょうか。住みたい自治体と人気がある自治体は、人口が減らないという事態も考えられます。そんな江戸川区にするために、下記のとおり強く陳情いたします。

記

- 1 子ども食堂の補助は段階的解消ではなく、拡充してください。
- 2 健（検）診の有料化導入を中止してください。

教職員の増員で、少人数学級推進、働き方改革を求める陳情

受理年月日 令和 7 年 7 月 2 5 日

付託年月日 令和 7 年 9 月 2 6 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 教育の ICT 化、小学校での教科担任制、L-G a t e など、次々と新しい施策が展開される教育現場において、それらは働き方改革に結びついている面もあると言われているものの、多岐にわたる業務の量は変わらず、一向に教育現場での負担は減っていません。

6 月 1 1 日に、給特法の改正案が参院本会議で可決成立し、残業代の不支給と教職調整額を段階的に引き上げ 2 0 3 1 年までに 1 0 % とする方針が柱となっていますが、それでは従来の「定額働かせ放題」と何ら変わりがありません。また、特別支援教育に関わる「給料の調整額」を削減する一方で、担任手当や役職手当を新設することは、業務の軽減にはつながらないどころか、同じ職場で様々な子ども達と向き合う教職員の気持ちを分断し、ますます働きづらい職場になることが懸念されます。また、役職がつけばわずかな手当の代わりに業務が増えるということが常態化すれば、ますます教員や管理職のなり手がなくなります。

また、教員未配置問題についても、江戸川区は今年度の 4 月時点での担任未配置はゼロとしていますが、産育休代替教員の不足により専科教員や巡回指導教員を学級担任にする事例は後を絶ちません。また、中学校の技術科教員の不足により、正規職員が他校と兼任して授業を担うという事態も発生しています。正規教員の校務分掌は授業だけではなく、生活指導や特別活動、行事、部活動など多岐にわたり、単純に授業時数だけで軽重を計れるものではありません。このようなごまかしの未配置ゼロではなく、正規教員の穴は正規教員で埋めなければ、他の教職員の負担は増すばかりです。

さらに、増加する一方の子ども達の不登校に関しても、教職員の増員と働き方改革によって、教職員がゆとりをもって子ども達に接することが、不登校の子ども達と家庭を支えることにつながります。

年々、若い教員が早期に退職してしまうことが話題となっています。このまま、抜本的業務削減による負担軽減が進まなければ、定年が引き上げられても、定年まで働けない教職員がますます増えてしまいます。私たちは、江戸川区として是非、「教職員の働き方に関するアンケート」を毎年実施し、教職員の声をボトムアップで取り上げ、江戸川区の教員が意欲的に働ける職場作りを進めて欲しいと考えています。

これらを踏まえて、さらなる「教職員の働き方改革」を、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 毎年、「教職員の働き方に関するアンケート」を実施し、教職員の声を聞いてください。
- 2 教科担任制は担任等教員の分担ではなく、専任の教科担任を付けること。
- 3 担任の持ち時間(教材研究の時間確保などを鑑み、小学校 2 0 時間、中学校 1 8 時間を上限と考える)を減らし、標準を超える場合は区独自の時間講師等で対応すること。
- 4 現在週 1 勤務である図書館司書を区で採用し、勤務日数を増やすことで全校バーコード化を

含む教職員の業務負担を減らすこと。

- 5 中学校の35人学級即時完全実施、さらに進んで、小中学校の30人学級実施を江戸川区として東京都に要望すること。
- 6 教職員の増員のための定数増を、江戸川区として東京都に要望すること。

受 理 番 号 第 8 1 号 (福祉健康委員会付託)

国民健康保険の区民に対する資格確認書の一斉交付に関する陳情

受理年月日 令和 7 年 8 月 1 2 日

付託年月日 令和 7 年 9 月 2 6 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 国は2024年12月2日をもって健康保険証の新規発行を停止しました。その結果、マイナ保険証を登録した加入者はマイナ保険証を、登録していない加入者は資格確認書を窓口で提示するという複雑な仕組みになりました。この混乱を終息するべく、渋谷区と世田谷区では国民健康保険の全ての加入者に資格確認書を一斉発行する判断を行い、福岡厚生労働大臣は6月6日の衆議院厚生労働委員会において、「最後は自治体の判断」と答弁し、自治体が国民健康保険の加入者に一斉送付することを容認しました。

現状、東京都後期高齢者医療広域連合では、後期高齢者である加入者に資格確認書を一斉交付する方針を示しています。また、渋谷区・世田谷区では、国民健康保険の加入者に資格確認書を一斉交付することとしています。このように、国民健康保険の加入者の資格確認書の発行について、区市町村で対応に差が生じれば、住民の医療アクセスに大きな格差を及ぼしかねません。

マイナ保険証は、登録者の割合が約7割であるのに対し、その利用率は2025年5月で約3割と低調なままです。その理由として、マイナンバーカードの紛失リスクなどから、マイナ保険証の利用を控える加入者が一定いることが明らかになっています。このままでは、マイナ保険証の登録解除申請をして資格確認書の発行を行う国民健康保険の加入者が相当いると考えられ、江戸川区の住民のみならず、江戸川区においても業務負担増による相当な混乱や負担が生じます。

つきましては、貴議会において、住民の混乱や区の負担増を解決するよう、下記のとおり陳情いたします。

記

江戸川区において、国民健康保険の加入者については、マイナ保険証保有の有無にかかわらず「資格確認書」を一斉交付してください。

地方消費者行政の維持・強化のための対策を求める意見書を国会等に提出することを
求める陳情

受理年月日 令和 7 年 8 月 2 8 日

付託年月日 令和 7 年 9 月 2 6 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 1 消費者被害の現状と地方の相談窓口の重要性

令和 6 年版消費者白書によれば、2023 年の消費生活相談件数は 90.9 万件（前年 87.6 万件）であり、前々年の 85.9 万件に比べると約 5 万件増加しています。消費者被害・トラブル額の推計は、2023 年過去最高の約 8.8 兆円（前年約 6.5 兆円）に達しました。65 歳以上の相談件数が契約当事者全体の 30.5% となり、高齢者の消費者被害・トラブルが大きな割合を占めています。被害態様についても、インターネット通販の「定期購入」に関する相談や SNS をきっかけとする被害の相談件数が過去最多となるなど、多様化・高度化しています。

この傾向は東京都においても同様であり、相談件数は、ここ数年、合計 13 万件前後、うち高齢者の相談は約 3 分の 1 を占めています。

高齢者が自分で問題解決することは難しい場合が多いことや、多様化・高度化する消費者被害に対応するためには専門的知識や経験が必要であることなどから、住民にとって身近な地方公共団体の相談体制の維持・拡充が重要であることは明らかです。

2 国の地方に対する支援策の推移と交付金の期限到来の影響

国は、地方に対する支援策として、地方消費者行政活性化交付金（2009 年度～2011 年度）、地方消費者行政推進交付金（2012 年度～2017 年度、以下「推進交付金」といいます。）を措置しました。推進交付金は、補助率 10 割で相談員の人件費にも充てることができるものでしたが、地方消費者行政予算を徐々に自主財源に移行させる政策方針下で、2017 年に自治体毎の活用期限（原則として事業開始から 7 年間、小規模自治体は 9 年間等）が定められ、2018 年度以降は、現行の地方消費者行政強化交付金（原則 2 分の 1 補助、以下「強化交付金」といいます。）に移行しました。

消費者行政推進事業（以下「推進事業」といいます。）に対する強化交付金は、推進交付金によって立ち上げた事業に対して推進交付金と同様に支援を継続するとされましたが、上記活用期限もそのまま引き継がれました。

推進交付金と推進事業に対する強化交付金は、啓発や消費者教育などの事業だけでなく、消費生活相談員の人件費にも充てることができることから、長い間消費者庁創設後に新設・増設された相談体制を下支えしてきました。

しかし、全国的にその活用期限が迫っており（2024 年～2025 年度に多くの自治体が終了し、令和 9 年度で全て終了）、全国で、どこにいても専門家（消費生活相談員）による相談が受けられる体制を維持していくことができるのかが大きな課題となると指摘されています（日本消費経済新聞 2023 年 12 月 5 日号）。東京都内においても、同様の課題が指摘できます。

3 陳情の趣旨について

- (1) 推進事業分の強化交付金に引き継がれた交付期限は、地方公共団体における消費者行政予算を自主財源に移行するための呼び水として設定されたものですが、全国の地方公共団体の自主財源は、交付金がなくなっても現状の施策を維持できるほど十分な程度に達していません。
このような状況のまま強化交付金が終了してしまうと、自主財源への移行が難しい小規模自治体において、相談窓口の維持が困難になったり、そうでないとしても、交付金で実施してきた啓発・消費者教育、消費者被害防止対策等の事業の継続が困難となり、縮小される可能性が高いと予想されます。
- (2) 国は、2026年移行を目指して、P I O－N E T刷新及び消費生活相談のデジタル化を進めていますが、これらについては、地方公共団体に多大な経済的負担を生じることが危惧されており、その負担によっても消費生活相談業務を始めとする地方消費者行政が縮小・後退するおそれがあります。
- (3) P I O－N E T情報は、国の法執行の端緒や立法政策の根拠となるものであって国の事務の性質を有する消費者行政費用と言え、全国各地の消費生活相談情報の収集が適時・適切・安定的に行われることが国の消費者行政にとっても必要です。また、P I O－N E T情報は、地方公共団体が相談窓口を維持し、多大なコストを掛けて得られた貴重な情報であることから、地方と国のコストの分担の観点からも、国の費用負担が行われるべきです。

以上のとおり、地方消費者行政の一層の充実・強化のため、国会、内閣、財務省及び消費者庁に対し、国民生活の安全・安心を担う地方消費者行政が安定的に遂行されるよう、貴議会において下記の施策を求める意見書を提出することを採択していただきたく、陳情いたします。

記

- 1 地方消費者行政推進事業に対する地方消費者行政強化交付金の交付期限を相当期間延長すべきであり、少なくとも、同交付金と同様に消費生活相談員の人件費にも充てることができる交付金等の財政支援を早急に措置すること。
- 2 P I O－N E T刷新及び消費生活相談のデジタル化において地方公共団体に生じる費用を国において措置すること。
- 3 消費生活相談情報の聴取及びP I O－N E T登録事務等、国と地方公共団体相互の利害に関係がある事務であって、国全体の消費者被害防止の意義を有する事務として円滑な運営を推進する必要があるものについて、地方財政法第10条を改正して国の恒常的な財政措置を検討すること。

受 理 番 号 第 8 4 号 (議会運営委員会付託)

江戸川区内の町内会掲示板に江戸川区議会の開催案内を掲示することを求める陳情

受理年月日 令和 7 年 9 月 1 7 日

付託年月日 令和 7 年 9 月 2 6 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 江戸川区議会の開催情報は、ウェブサイト及び区議会だよりでアナウンスされているところではありますが、これらに加え、広く周知できる手段として、日常でよく目に触れる各町内会掲示板に開催情報があることで、この情報に簡単にアクセスできる環境が整い、区民の区議会への関心がより一層高まることが期待されることと思います。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

各町内会掲示板に江戸川区議会の開催情報（回数及び期日）を掲示してください。

受 理 番 号 第 8 5 号 (議会運営委員会付託)

ウェブサイトの本会議、委員会などの日程に「資料」及び「記録」表示を求める陳情

受理年月日 令和 7 年 9 月 1 7 日

付託年月日 令和 7 年 9 月 2 6 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 江戸川区議会及び委員会の議事録情報は、ウェブサイト及び区議会だよりでアナウンスされているところではありますが、令和 7 年 9 月 1 3 日現在ウェブサイトでは、定例会は令和 7 年第 1 回 3 月 2 5 日－0 4 号、福祉健康委員会は令和 7 年 4 月 1 1 日－1 4 号が最新となっております。議事録の正確性を担保するためにも、議事録作成にかかる時間は必要なことですが、会議実施日から公開までに時間がかかりすぎている感が否めません。

そこで、少しでも議会及び委員会の内容が、区民に開示されるよう、本会議、委員会の日程に「資料」及び「記録」を掲載することを要望いたします。

「資料」とは、当日議員に配られる資料で、これを見れば傍聴者や傍聴希望者も議題がわかることとなります。

「記録」とは、当日の簡単な質問と回答で、掲載する前の校正中の原稿のため、実際の会議録と一部異なる場合があることも前提としたものであることを提案いたします。

千代田区議会では、「資料」「記録」は、閉会后 2 週間を目途に掲載し、掲載文書は校正中の原稿のため、実際の会議録等と一部異なる場合があることを前提とすることを記載し公開しています。

このようにウェブサイトに議会の情報があることで、区民の区議会への関心がより一層高まることが期待されることと思います。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

ウェブサイトの本会議、委員会などの日程に「資料」及び「記録」を掲載してください。

受 理 番 号 第 8 6 号 (議会運営委員会付託)

江戸川区議会としてエックスのアカウントを作り、江戸川区議会の開催情報
(回数及び期日)をお知らせすることを求める陳情

受理年月日 令和7年9月17日

付託年月日 令和7年9月26日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 江戸川区議会の開催情報は、ウェブサイト及び区議会だよりや広報えどがわで
アナウンスされているところではありますが、これらに加え、周知徹底の方法として、江戸川区
議会としてエックスでのアカウントを作り、議会開催情報を周知してくださることで、この情
報に簡単にアクセスできる環境が整い、迅速かつ正確な情報が区民に共有され、区民の区議会
への関心がより一層高まることが期待されることと思います。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

江戸川区議会としてエックスのアカウントを作り、江戸川区議会の開催情報(回数及び期日)
をお知らせしてください。

受 理 番 号 第 8 7 号 (議 会 運 営 委 員 会 付 託)

「江戸川区議会だより」における文字数の制限による質疑応答の趣旨簡略化を極力避けて、議論の詳細がわかる内容を記載していただくことを求める陳情

受理年月日 令和 7 年 9 月 1 7 日

付託年月日 令和 7 年 9 月 2 6 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 江戸川区議会の議事録は、ウェブサイトで全文が、区議会だよりでは抜粋が公開されているところではありますが、日常、目に触れやすい区議会だよりでは、抜粋のため、議論の内容がわからないことがあります。

例えば、「2025年(令和7年)8月1日発行 第262号」において以下のような記載があります。

「問 P a r k - P F I 事業について。

- ①公園利用者や近隣住民へ改修後の意見を聞き、出された意見を踏まえた対応策の実施を。
- ②子どもの広場の暑さ対策・安全対策の徹底と、キッチンカーの出店の中止を。
- ③指定管理者への委託から区直営に戻すべき。
- ④今後、P a r k - P F I 事業はやめるべき。

答

- ①今後も地域の意見を聞き管理・運営を行う。
- ②暑さや安全への対策は配慮や工夫をしている。キッチンカーは利便性向上に寄与している。
- ③今後も指定管理者による管理・運営を行う。
- ④今後もP a r k - P F I 制度の活用も視野に入れて、最適な整備手法を選定していく。」

特に、③④については、区としてどのような理念に基づいて指定管理者を継続していくのかわかりません。紙面の都合上、文字数制限があることとは思います。詳細はウェブサイトを確認することを推奨されることもわかりますが、なるべく、すぐに情報が手に取って見れるのが広報紙のメリットであります。この広報において、イラストスペースが必ず必要であるというわけであれば、イラスト部分を割愛し、少しでも議論の詳細がわかるように文字数を増やすことを要望します。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

「江戸川区議会だより」において議論の詳細を記載してください。

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情

受理年月日 令和 7 年 9 月 1 8 日
付託年月日 令和 7 年 1 0 月 2 7 日
陳 情 者
.

陳 情 原 文 長期化したコロナ禍に加え、物価高騰や極端な円安、エネルギー・原材料費の上昇などにより、多くの事業者が売上減や収益悪化に直面し、事業の存続が危ぶまれています。特に、青色申告者を含む小規模事業者は、インボイス制度の導入後、課税事業者への登録を選択せざるを得ない場面も増え、これまで以上の税負担と事務負担が発生し、経営環境は一段と厳しくなっています。

例えば、飲食業や小売業では仕入れ価格の高騰により値上げを余儀なくされ、顧客離れが進んでいます。製造業や建設業では資材価格の高騰により採算が悪化し、廃業を検討する事業者も少なくありません。

このような状況下で、都独自の軽減措置が廃止されれば、事業継続や都民生活に深刻な影響を及ぼし、地域経済や日本経済の回復にも悪影響を与えかねません。

つきましては、固定資産税及び都市計画税に係る下記の軽減措置について、令和 8 年度以後も継続されるよう、東京都に対して意見書を提出されますようお願いいたします。

記

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を 2 分の 1 とする軽減措置を、令和 8 年度以後も継続すること。
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を 2 割減額する減免措置を、令和 8 年度以後も継続すること。
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について負担水準の上限を 6 5 % に引き下げる減額措置を、令和 8 年度以後も継続すること。

江戸川区内の小・中・高・特別支援学校における「いじめ」をなくす取組みに関する陳情

受理年月日 令和 7 年 1 1 月 1 2 日
付託年月日 令和 7 年 1 1 月 2 8 日
陳 情 者
.

陳 情 原 文 「いじめ」は、相手に肉体的・精神的苦痛を与え、勉強に集中できなくさせ、学力を低下させ、不登校にし、相手の人生を狂わせる、とても重大な問題行動です。それは、重大な人権侵害であり、絶対にやってはならないことです。

政府統計によると、2023年度に全国の小・中・高・特別支援学校で認知された「いじめ」は、732,568件でした。政府は、この状況を改善するために、平成29年度から全国の小学校で、30年度から全国の中学校で、道徳教育を教科として新たに実施するようになりました。ですが、「いじめ」を減らすことはできていません。それどころか、平成29年度から令和5年度にかけて、「いじめ」の認知件数は約32万件も増えています。このことから、政府は「いじめ」を減らす方法を十分に理解していないことが分かります。

私は、この状況を改善するためには、以下のことを実施する必要があると考えています。

- ① 各自治体の小・中・高・特別支援学校における月間、年間「いじめ」の認知件数を、自治体のホームページで公開すること。
- ② その数値から数値目標を設定し、それもホームページで公開し、地域住民と共有すること。
- ③ 地域住民と協力して、その目標を達成する努力をすること。

これらが必要な理由は、「いじめ」を無くす上で最も重要なのは、地域住民の努力だからです。学校において「いじめ」をするのは、自治体の職員でも学校の先生でもなく、生徒です。

また、生徒が「いじめ」をする一番の原因は、家庭において道徳教育が十分に行われていないからです。子供の人格形成に最も強い影響を与えるのは両親であり、家族です。ですから、「いじめ」を無くす上で、学校における道徳教育を充実させることは重要ですが、「家庭における道徳教育を充実させること」の方が重要なのです。

また、子供たちと接点があり、身近な存在である地域住民による「見守り」や「声かけ」が重要になるのです。「いじめ」を無くすために国や自治体ができることは、ほとんどありません。主役は、あくまで地域住民です。ですが、ほとんどの人は、自分が住んでいる地域でどれくらい「いじめ」が起きているのか知る方法がないので、それを知りません。そのため、「いじめ」を意識する機会がありませんし、それを無くす努力をすることもありません。

私は、市町村レベルの「いじめ」の認知件数を公開すれば、多くの人が、「いじめ」を今よりも「身近なこと」「自分ごと」として捉えるようになって考えています。現在、政府は、都道府県別の「いじめ」の認知件数を公開していますが、都道府県レベルの数値では、「身近なこと、自分ごととして捉えること」「危機感を持つこと」は難しいと思います。

このような考えから、私は以前、複数の自治体(市)に電話をかけ、「その地域の『いじめ』の認知件数を、自治体のホームページで公開するべきだ」と訴えたことがあります。その時の回答は、いずれも「それはできません」というものでした。(「いじめ」の認知件数自体は自治体が把握しているが、公開していないのが現状。)その理由は、「市町村の『いじめ』の認知件数を公開すると、学校や関係者が特定される恐れがあるから」というようなものでした。

一見もっともらしく聞こえますが、私は、その考えは間違っていると思います。

そもそも、「いじめ」というのは、相手に肉体的・精神的苦痛を与え、勉強に集中できなくさせ、学力を低下させ、不登校にし、相手の人生を狂わせる、とても重大な問題行動です。そのようなことが、年間732, 568件以上も起きていて、しかも改善する兆しが見えないというのは、深刻な状況です。これは、深刻な社会問題なのです。それなのに、それを解決することよりも、学校や関係者が特定されないようにすることを優先させるというのは、明らかに間違っています。

また、「学校や関係者が特定される」と言いますが、公開するのはあくまで認知件数なので、簡単に特定されるわけではありません。認知件数からそれらを特定しようとする人はほとんどいないと思いますし、特定しようとして特定できるものでもありません。逆に、ニュースになるほどの「いじめ」の場合、ニュースによって地域や関係者が公開されますし、関心を持った人が、インターネットやSNS等を駆使して学校や関係者を特定し、ネットで公開することもあります。つまり、自治体のホームページで公開しなくても、特定されるときは特定されるのです。また、公開することによって、特定される可能性が格段に高まるということではないのです。

「いじめ」が、年間732, 568件以上も起きているというのは、非常に深刻な状況です。この状況を改善するために、江戸川区には、勇気をもって、小・中・高・特別支援学校における月間、年間の「いじめ」の認知件数を、ホームページで公開してほしいと考えています。実際に「いじめ」を無くすのは簡単ではありませんが、自治体が、月間、年間の「いじめ」の認知件数を公開し、地域住民と共有し、数値目標を設定することは、「いじめ」を無くす上で必要不可欠な、とても重要な一歩です。

つきましては、江戸川区内の小・中・高・特別支援学校における「いじめ」の発生件数を減らすために、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 江戸川区内の小・中・高・特別支援学校における月間、年間の「いじめ」の認知件数を、区のホームページで公開すること。
- 2 その数値から数値目標を設定し、それもホームページで公開し、地域住民と共有すること。
- 3 地域住民と協力して、その目標を達成する努力をすること。

職員団体の組合費給与天引き (チェックオフ) 手続きの適正運用および行政の政治的中立性確保を求める陳情

受理年月日 令和 7 年 1 1 月 1 2 日
付託年月日 令和 7 年 1 1 月 2 8 日
陳 情 者
.

陳 情 原 文 行政の政治的中立性は、地方自治体が住民の信頼を得て公正に運営されるための最も基本的な原則です。地方公務員法第 3 6 条は、職員の政治的行為を制限し、庁舎内における特定政党や議員・候補者への支援活動を禁止しています。

しかし一方で、職員団体 (自治労・自治労連など) においては、組合費が給与から自動的に天引き (チェックオフ) され、その一部が上部団体を通じて特定政党・議員・候補者の支援活動や政治的活動に充てられているとの報告があります。この仕組みは、行政職員の給与支給事務という公的な財務システムを通じて、結果的に政治的活動を行う団体へ資金が流れる構造を生じさせており、「公金が政治目的に関与」しているように見える点で、適正性を欠くおそれがあります。

チェックオフは、行政が給与システムを用いて組合費を一括徴収・送金することで、団体側が本来負担すべき事務手数料や振込手数料を免除する、特定団体への便宜供与です。政治活動を行ったり特定政党・議員・候補を支援する団体に対し、公的事務を通じて便宜を与えることは、「行政の政治的中立性を損なう」おそれがあります。職員団体の組合費チェックオフについても、政治活動を行う、あるいは特定政党・議員・候補を支援・支持する団体においては、行政の給与支給システムからの分離が望ましく、各職員が自らの意志で振込や口座引落により納付する方式への移行を検討することが、公正で中立な行政運営の確保に資すると考えます。

一方、職員団体がチェックオフ制度の継続を希望する場合には、当該団体が庁舎内での政治的活動や特定政党・議員・候補の支援表明を控える配慮を行い、行政との協議を通じて、住民に政治的中立性への誤解を生まないよう透明性の構築に努めることが求められます。

あわせて、地方公務員法第 5 2 条により、労働組合 (職員団体) への加入・非加入は完全に任意であり、職員個人の自由意思が最大限に尊重されなければなりません。しかしながら、近年もなお、加入・非加入や活動参加において、職員の自由意思が十分に反映されない事例が報告されており、行政と職員団体は改めて職員個人の自由と意思決定の尊重を確認する必要があります。

以上の理由から、行政の労働組合 (職員団体) によるチェックオフ制度の運用に際しては、

- ① 行政の政治的中立性の確保
- ② 地方公務員法第 3 6 条に基づく政治的行為の制限
- ③ 職員一人ひとりの組合加入・非加入、活動参加の自由の尊重

という三原則のもとで、制度的な矛盾や不透明さを排除することが求められます。これらの原則が住民に十分理解・納得される形で提示・公開されるよう、関係者間で制度運用を丁寧に再確認し、必要に応じて見直し・合意形成を行ってください。

なお、広島県ウェブサイトに掲載されている「組合費のチェックオフの注意点」に記載のとおり、チェックオフを運用するには、

- ① 当該事業場の過半数組合（ない場合は過半数代表者）と行政との間で労使協定（合意文書）を締結すること
- ② 個々の組合員から組合費支払の委任同意を受けることの二条件が必要です。これらが欠けている場合は「違法状態」と評価される可能性があるため、速やかに確認し、行政の政治的中立性および公金取扱いの適正性の観点から、疑念を生じさせないよう改善を求めます。つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 行政と職員団体の間で、チェックオフ（組合費の給与天引き）に関する明確な合意文書（労使協定または覚書等）が締結されているか確認してください。未締結の場合は速やかに締結し、その内容・法的根拠・運用手順を公表、ないし情報公開制度により取得可能な状態としてください。合意に当たっては、行政の政治的中立性に十分配慮し、チェックオフを利用する職員団体が、庁舎内において特定政党（議員・候補者を含む）への支援や政治活動への呼びかけを行わない旨を明確に約束してください。
- 2 組合員一人ひとりが署名した「チェックオフ同意書」を行政が保管しているか確認してください。未整備の場合は改めて個別同意を取得するとともに、チェックオフの利用・不利用、組合の加入・非加入および活動参加・不参加の自由が不利益取扱いなく保障されるよう、加入手続きおよび停止手続きの方法を明示してください。
- 3 地方公務員法第36条の趣旨に基づき、庁舎・設備・資金を政治活動に利用しないよう、職員に対して政治的中立性を保持する義務の内容を、職員研修や通知等を通じて明確に周知徹底してください。

受 理 番 号 第 9 2 号 (福祉健康委員会付託)

シルバー人材センターの会員に対し、熱中症対策として空調服を支給するよう求める陳情

受理年月日 令和 7 年 1 2 月 1 日

付託年月日 令和 7 年 1 2 月 1 1 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 私は現在、江戸川区シルバー人材センター（以下、人材センターと略記）の紹介により、マンション清掃に従事しています。人材センターでは熱中症対策として 2 0 2 4 年の夏より、公園清掃従事者については空調服（冷房機能を有する作業服）が支給されています。しかし、公園清掃のほかにも、熱中症の危険に直面しながら働かざるを得ない作業現場がいくつもあります。例えばマンション清掃では、外周の清掃は炎天下の作業になりますし、密閉状態のごみ倉庫内でごみを整理したり運び出す作業などもたいへん暑苦しく、熱中症の危険を感じます。現に、マンション清掃に従事していた人材センターの会員で、熱中症で倒れた人がいたという事実もあります。

高齢者にとって熱中症は直接命にかかわる問題です。そして、熱中症に対する最も有効な対策は、空調服の着用です。例えば厚労省の「エイジフレンドリー補助金」制度では、中小企業に対して空調服購入の補助金が支給されています。また、2 0 2 5 年 6 月から施行されている厚労省の省令は、職場における熱中症対策を罰則付きで事業者の義務としています。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

シルバー人材センターから紹介されて働く会員で、夏期において作業上空調服を必要とする会員に対して、人材センターから空調服が支給されるよう、江戸川区として適切な対処をしてください。

7 議会日誌

1月

日	曜	議 会 関 係	そ の 他
1	水	元旦	
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月	仕事始め	
7	火		新年賀詞交歓会
8	水		
9	木	各常任委、委員長会、理事会	
10	金		
11	土		
12	日		小岩消防団始式 葛西消防団始式
13	月	成人の日	二十歳を祝う会
14	火	行財政改革・SDGs推進特別委	
15	水	施策協議会（自民党）、健康推進・熟年者支援特別委（視察）、区議会だより4定号発行	
16	木	施策協議会（公明党） 災害対策・街づくり推進特別委（視察）	
17	金		
18	土		
19	日		江戸川消防団始式
20	月	施策協議会（超党えどがわ）	
21	火	施策協議会（無所属の会）	子ども・子育て応援会議
22	水	子ども支援・教育力向上特別委（視察）	
23	木	施策協議会（日本共産党）、理事会	
24	金		
25	土		
26	日		
27	月	予算内示会	
28	火		青少年問題協議会、熟年しあわせ計画及び介護保険事業計画検討委
29	水		
30	木		
31	金		幹部会

2月

日	曜	議 会 関 係	そ の 他
1	土		
2	日		町会自治会役員表彰式
3	月	各常任委、委員長会	
4	火	健康推進・熟年者支援特別委（視察）	予算プレス発表
5	水		国民健康保険運営協
6	木	理事会、議会運営委	
7	金	第1回定例会告示日、災害対策・街づくり推進特別委（視察）、 理事会	
8	土		
9	日		
10	月	行財政改革・SDGs推進特別委（視察）	幹部会
11	火	建国記念の日	
12	水	子ども支援・教育力向上特別委（視察）	財産価格審
13	木	理事会、議会運営委	
14	金	↑第1回定例会 理事会、議会運営委、本会議、総務委（議案審査）、予算特別委	
15	土		
16	日		
17	月		
18	火		廃棄物審
19	水	理事会、議会運営委、本会議（一般質問）	
20	木	理事会、議会運営委、本会議（表決・一般質問）	
21	金	予算特別委①〔歳入、歳出（議会費、総務費、公債費、 予備費）、各特別会計〕	
22	土		
23	日	天皇誕生日	
24	月	振替休日	
25	火	予算特別委②〔経営企画費、SDGs推進費、 新庁舎・施設整備費、危機管理費〕	
26	水	予算特別委③〔文化共育費、生活振興費、産業経済費〕	
27	木		消防団運営委
28	金	予算特別委④〔環境費、健康費〕	

3月

日	曜	議 会 関 係	そ の 他
1	土		
2	日		
3	月	予算特別委⑤〔福祉費、子ども家庭費〕	
4	火	予算特別委⑥〔都市開発費、土木費〕	
5	水		
6	木	予算特別委⑦〔教育費〕	
7	金	第29回ホノルルフェスティバルへ参加のため、正副議長と江戸川区・ホノルル市友好議連会長の福本議員がハワイ州ホノルル市を訪問（～10日）	
8	土		
9	日		
10	月		
11	火	予算特別委⑧（総括意見）	都市計画審
12	水	総務委（議案審査）、建設委（議案審査）	
13	木	各常任委（議案及び請願・陳情の審査）、委員長会、理事会、広報委	
14	金		
15	土		
16	日		
17	月		
18	火		幼稚園修了式
19	水		中学校卒業式
20	木	春分の日	
21	金		幹部会
22	土		
23	日		
24	月		小学校卒業式
25	火	↓理事会、議会運営委、本会議、総務委（議案審査）	
26	水		
27	木		
28	金		
29	土		
30	日		
31	月	広報委	

4月

日	曜	議 会 関 係	そ の 他
1	火		
2	水		
3	木		
4	金	理事会	
5	土		
6	日		
7	月		小学校入学式
8	火		中学校入学式
9	水		
10	木		幼稚園入園式
11	金	各常任委、委員長会	
12	土		
13	日		
14	月		
15	火	行財政改革・SDGs推進特別委、区議会だより1定号発行	
16	水	健康推進・熟年者支援特別委	
17	木		
18	金	子ども支援・教育力向上特別委	幹部会
19	土		
20	日		
21	月	災害対策・街づくり推進特別委	
22	火		
23	水		公共団体連絡会
24	木	理事会、議会運営委	
25	金		
26	土		
27	日		
28	月		
29	火	昭和の日	
30	水		

5月

日	曜	議 会 関 係	そ の 他
1	木		
2	金		
3	土	憲法記念日	
4	日	みどりの日	
5	月	こどもの日	
6	火	振替休日	
7	水		
8	木	理事会	
9	金		
10	土		
11	日		
12	月	各常任委、委員長会	
13	火	理事会、災害対策・街づくり推進特別委	
14	水	行財政改革・SDGs推進特別委	
15	木		
16	金	健康推進・熟年者支援特別委	
17	土		
18	日		
19	月	第1回臨時会告示日、子ども支援・教育力向上特別委	
20	火	理事会	
21	水		
22	木		幹部会
23	金	理事会、議会運営委	
24	土		
25	日		
26	月	第1回臨時会 理事会、議会運営委、本会議、各常任委、各特別委	
27	火		
28	水		合同水防訓練
29	木	広報委、議会運営委	
30	金	第2回定例会告示日、理事会	
31	土		

6月

日	曜	議 会 関 係	そ の 他
1	日		
2	月	子ども支援・教育力向上特別委	
3	火	災害対策・街づくり推進特別委、健康推進・熟年者支援特別委	
4	水	行財政改革・SDGs推進特別委	
5	木	理事会、議会運営委	
6	金	第2回定例会 理事会、議会運営委、本会議	
7	土	江戸川区SDGs中学生議会全体勉強会	
8	日		
9	月		
10	火		
11	水	理事会、議会運営委、本会議（一般質問）	
12	木	理事会、議会運営委、本会議（一般質問）	
13	金	総務委（議案審査）	
14	土		
15	日		環境フェア
16	月		
17	火	各常任委（議案及び請願・陳情の審査）、委員長会、 理事会、広報委	
18	水		
19	木		幹部会
20	金		
21	土		
22	日		東京都議会議員選挙投・ 開票日
23	月		
24	火	理事会、議会運営委、本会議	
25	水		
26	木		
27	金		
28	土		
29	日		
30	月		

7月

日	曜	議 会 関 係	そ の 他
1	火	子ども支援・教育力向上特別委（視察）	
2	水	行財政改革・SDGs推進特別委	
3	木		財産価格審議会
4	金		
5	土		
6	日		
7	月	災害対策・街づくり推進特別委（視察）	
8	火		
9	水	広報委、各常任委、委員長会	
10	木	健康推進・熟年者支援特別委	
11	金	理事会	
12	土		
13	日		
14	月		都市計画審
15	火		
16	水		
17	木		
18	金		幹部会
19	土		
20	日		
21	月	海の日	
22	火		民生委員推薦会
23	水		廃棄物審
24	木		
25	金	理事会、広報委、区議会防災訓練	
26	土		
27	日		
28	月		
29	火		メトロ促進協議会総会
30	水	理事会	
31	木	第2回臨時会告示日、理事会、議会運営委 利根川治水同盟治水大会（茨城県牛久市）	

8月

日	曜	議 会 関 係	そ の 他
1	金	第2回臨時会、区議会だより2定号発行 各常任委、委員長会、理事会、議会運営委、本会議、総務委（議案審査）	
2	土		花火大会
3	日		
4	月		
5	火	理事会	防災会議・国民保護協
6	水	生活振興環境委所管事務調査（～8日）弥富市、名古屋市、メタウォーター下水道科学館なごや 福祉健康委所管事務調査（～8日）医療法人聖粒会慈恵病院、熊本市、厚生労働省福岡労働局、株式会社福岡丸福水産、福岡市認知症フレンドリーセンター 建設委所管事務調査（～8日）室蘭市、登別市、石狩市	幹部会
7	木		
8	金		
9	土		
10	日		
11	月	山の日	
12	火		
13	水		
14	木		
15	金		
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水		
21	木		
22	金		幹部会
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水	総務委所管事務調査（～29日）旭川市、公益社団法人北海道観光機構、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 文教委所管事務調査（～29日）広島県立広島中学校・広島高等学校、少年サポートセンターひろしま、ひめじ防災プラザ	第1回持続可能な地域のあり方懇話会
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

9月

日	曜	議 会 関 係	そ の 他
1	月	子ども支援・教育力向上特別委（視察）	
2	火		
3	水		
4	木		区総合防災訓練
5	金	健康推進・熟年者支援特別委（視察）	
6	土		
7	日		
8	月	災害対策・街づくり推進特別委（視察）	
9	火	理事会、各常任委、委員長会	
10	水	議会運営委	表彰審
11	木	行財政改革・SDGs推進特別委（視察）	幹部会
12	金	第3回定例会告示日、理事会	
13	土		
14	日		
15	月	敬老の日	
16	火		
17	水		財産価格審
18	木	理事会、議会運営委	
19	金	第3回定例会 理事会、議会運営委、本会議、総務委（議案審査）、決算特別委	
20	土		
21	日		
22	月	広報委	
23	火	秋分の日	
24	水		
25	木	理事会、議会運営委、本会議（表決・一般質問）	
26	金	理事会、議会運営委、本会議（一般質問）	
27	土		
28	日		
29	月	決算特別委①〔歳入、歳出（議会費、総務費、公債費、予備費）、各特別会計〕	
30	火	決算特別委②〔経営企画費、SDGs推進費、新庁舎・施設整備費、危機管理費〕	

10月

日	曜	議 会 関 係	そ の 他
1	水		
2	木	決算特別委③〔文化共育費、生活振興費、産業経済費〕	
3	金	決算特別委④〔環境費、健康費〕	
4	土		
5	日		
6	月	決算特別委⑤〔福祉費、子ども家庭費〕	
7	火	決算特別委⑥〔都市開発費、土木費〕、理事会、議会運営委	
8	水		
9	木	決算特別委⑦〔教育費〕	
10	金		
11	土		
12	日		区民まつり
13	月	スポーツの日	
14	火	決算特別委⑧〔総括〕、理事会、議会運営委、本会議	
15	水	総務委（議案審査）	
16	木		文化振興審
17	金		
18	土		第2回持続可能な地域のあり方懇話会
19	日		
20	月	理事会、各常任委（議案及び請願・陳情の審査）、委員長会	産業賞選考委
21	火	広報委	都道路整備事業推進大会
22	水		
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		
27	月	▼ 理事会、議会運営委、本会議	
28	火		幹部会
29	水		葛西二中70周年 春江小60周年
30	木		
31	金	広報委	鹿本小110周年、大杉二小50周年、区政功労者表彰式

11月

日	曜	議 会 関 係	そ の 他
1	土		
2	日		
3	月	文化の日	文化賞等表彰式
4	火		鹿骨東小50周年
5	水		
6	木	議員健康診断	
7	金	各常任委、委員長会	
8	土	江戸川区SDGs中学生議会	
9	日		
10	月		
11	火		
12	水		
13	木	議員健康診断、議会運営委	
14	金	第4回定例会告示日、議員健康診断、理事会	
15	土		
16	日		
17	月	議員健康診断	幹部会
18	火	議員健康診断、議員研修	
19	水		
20	木	理事会、議会運営委	
21	金	↑第4回定例会 理事会、議会運営委、本会議	
22	土		
23	日	勤労感謝の日	
24	月	振替休日	
25	火	広報委、理事会、議会運営委	
26	水		
27	木	理事会、議会運営委、本会議（議案・一般質問）、 総務委（議案審査）、文教委（議案審査）	
28	金	理事会、議会運営委、本会議（表決・一般質問）	
29	土		
30	日		

12月

日	曜	議 会 関 係	そ の 他
1	月	区議会だより3定号発行	
2	火	総務委（議案審査）	
3	水	各常任委（議案及び請願・陳情の審査）、委員長会、 理事会、広報委	
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月		産業賞
9	火		
10	水		財産価格審
11	木	理事会、議会運営委、本会議、全員協議会	
12	金	健康推進・熟年者支援特別委（視察） 子ども支援・教育力向上特別委（視察）	
13	土		
14	日		
15	月	区議会だよりSDGs中学生議会号発行	幹部会
16	火		
17	水		
18	木		
19	金	各常任委	
20	土		
21	日		
22	月	広報委、災害対策・街づくり推進特別委	都市計画審議会
23	火	行財政改革・SDGs推進特別委	第3回持続可能な地域の あり方懇話会
24	水		民生委員推薦会
25	木		
26	金	仕事納め	
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		

8 議会の刊行物

(1) 区議会だより

号数	発行月日	発行部数 折込部数	主な内容
260号	7.1.15	発行数 155,200 折込数 80,900	1面 議長、副議長新年のあいさつ 2～5面 令和6年第4回定例会概要、代表質問、一般質問 6面 区長提出議案、請願・陳情 7面 ホノルル市議会の来訪について、議員研修、ホームページの多言語翻訳機能について、議員提出議案、第2回臨時会概要 8面 江戸川区議会の1年間
261号	7.4.15	発行数 155,510 折込数 80,900	1面 令和7年第1回定例会概要、予算特別委員会について 2～4面 代表質問、一般質問 5～6面 予算特別委員会審査概要、令和7年度予算に対する各会派の意見・賛否 7面 区長提出議案、請願・陳情 8面 令和7年度予算の概要、SDGsに基づく主な新規・拡充事業、議員提出議案
262号	7.8.1	発行数 153,860 折込数 79,150	1面 議長、副議長就任のあいさつ、常任委員会構成 2面 特別委員会等構成、第1回臨時会概要、令和7年第2回定例会概要 3～6面 代表質問、一般質問、議員提出議案、安曇野市議会からの表敬訪問について 7面 区長提出議案、請願・陳情 8面 江戸川区議会議員名簿、中学生議会全体勉強会について
263号	7.12.1	発行数 153,880 折込数 79,150	1面 決算特別委員会について、令和7年第3回定例会概要、議員提出議案 2～4面 代表質問、一般質問 5～6面 決算特別委員会審査概要、令和6年度決算に対する各会派の意見・賛否 7面 区長提出議案、請願・陳情、第2回臨時会概要、SDGs 中学生議会の開催について 8面 令和6年度決算のあらまし、決算特別委員会で審査された主な事業

264号	7.12.15	発行数 151,330 折込数 76,600	1面 SDGs 中学生議会概要・SDGs 中学生議会宣言、SDGs 中学生議会実行委員名簿、SDGs 中学生議会議員名簿 2～3面 中学生議員からの主な質問・答弁 4面 SDGs 中学生議会開催までの流れ、SDGs 中学生議会を終えて
------	---------	---------------------------	---

(2) 会議録

収録内容	第1回定例会	第1回臨時会	第2回定例会	第2回臨時会	第3回定例会	第4回定例会
	自第1号至第4号	第5号	自第6号至第9号	第10号	自第11号至第15号	自第16号至第19号
発行数	38部	38部	38部	38部	38部	38部

9 議会図書室

面積 46.19 m²

分類別蔵書数 合計 1,544 冊

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学
冊数	96	11	104	1,086	14

分類	技術	産業	芸術	言語	文学
冊数	28	11	66	77	51

10 議会のホームページ

		令和7年アクセス数		開設・公開時からの累計	
区議会ホームページ		474,690 件		5,392,305 件	
インターネット 議会中継	録画	8,249 件		441,249 件	
	ライブ (本会議)	19 日	9,009 件	334 日	132,748 件
	ライブ (予算・決算 特別委員会)	16 日	11,471 件	168 日	151,867 件

※令和元年より、区議会ホームページのアクセス数の計上方法が延件数になりました。

※令和5年4月より、インターネット議会中継のアクセス数の計上方法が再生数のみの計上になりました。(表示数は含まない。)

・区議会ホームページ

平成16年3月31日開設

平成21年第1回臨時会から委員会会議録の掲載開始

平成22年3月30日にホームページを改訂

平成29年10月1日にホームページを改訂、スマートフォン・タブレット端末での利用を開始

令和3年7月19日に音声読み上げ機能及び多言語対応機能を導入

令和4年8月19日にホームページをリニューアル

令和4年8月19日に中学生向けのコンテンツを作成

令和4年12月23日に小学生向けのコンテンツを作成

令和5年11月10日に江戸川区議会の個人情報の保護のページを追加

・インターネット議会中継

平成19年第2回定例会から録画映像を公開

平成19年第3回定例会からライブ映像を公開

平成 27 年第 1 回臨時会から手話通訳付で本会議中継を配信

平成 27 年 10 月から予算・決算特別委員会のライブ映像・録画映像を公開

平成 29 年 10 月からスマートフォン・タブレット端末での視聴を開始

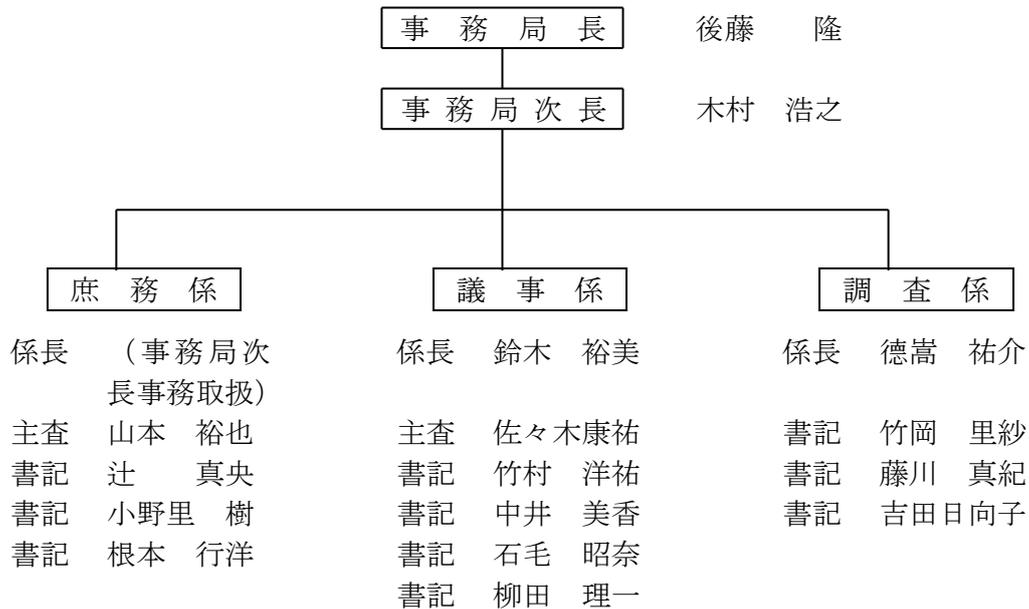
11 予 算

令和 7 年度 議会費（当初予算）

906,770 千円

12 議会事務局

組織図 現員 16 人 (令和 7 年 4 月 1 日現在)



事務分掌

- | | |
|-----|--|
| 庶務係 | <ol style="list-style-type: none"> 1 公印の管理に関する事項 2 人事及び文書に関する事項 3 予算及び経理並びに諸給与に関する事項 4 議事堂及び会議室の管理に関する事項 5 局の庶務に関する事項 |
| 議事係 | <ol style="list-style-type: none"> 1 本会議及び委員会に関する事項 2 会議の招集及び議案に関する事項 3 議事日程及び諸般の報告に関する事項 4 議会で行う選挙に関する事項 5 会議録及び会議記録並びに議事日誌に関する事項 6 決議文、建議書及び意見書等の処理に関する事項 7 陳情、請願等の受理及び処理に関する事項 8 議決事件の処理顛末報告に関する事項 9 その他会議に関する事項 |
| 調査係 | <ol style="list-style-type: none"> 1 議案の調査及び立案に関する事項 2 資料の収集及び統計に関する事項 3 議会広報に関する事項 4 議会図書室に関する事項 5 地方制度の調査研究に関する事項 |

13 他区市町村からの視察状況

No.	月 日	議 会 人	委員会・会派	人 数	視 察 項 目
1	1月14日	宮城県 仙台市	市民フォーラム仙 台	1人	江戸川区発達相談・支援セ ンターについて
2	1月15日	神奈川県 綾瀬市	あやせ未来会議 日本共産党あやせ	4人	「江戸川区駄菓子屋居場所 よりみち屋」
3	1月21日	愛知県 稲沢市	総務委員会	9人	メタバース区役所について
4	1月23日	鹿児島県 鹿児島市	立憲社民	6人	「江戸川区避難行動要支援 者対策」について
5	1月24日	福島県 福島市	公明党福島市議団	4人	2100年のまちを見据えた空 想系の創設について
6	1月27日	愛知県 名古屋市	教育子ども委員会	11人	江戸川区児童相談所につい て
7	1月31日	東京都 新宿区	日本共産党新宿区 議会議員団	7人	介護人材確保策について 介護・福祉人材緊急確保・定 着奨励金事業について
8	4月9日	兵庫県 姫路市	市民クラブ	1人	江戸川区メタバース区役所 について
9	4月11日	福岡県 北九州市	市民とともに北九 州市議会議員団	1人	ひきこもり施策の取組等につ いて
10	4月14日	新潟県 南魚沼市	未来創政会	3人	ひきこもり支援推進事業につ いて
11	4月16日	福岡県 福岡市	公明党福岡市議団	3人	障害者支援アプリ(ミライク) について
12	4月21日	富山県高岡 市・氷見市・ 小矢部市	高岡地区広域圏事 務組合	14人	江戸川区の「出会い・結婚の 支援」について
13	4月22日	福岡県 福岡市	公明党福岡市議団	3人	AI 防災システムについて
14	4月24日	東京都 葛飾区	日本共産党葛飾区 議会議員団	3人	学校プール整備方針につい て

15	4月30日	東京都 立川市	公明党	1人	江戸川区発達相談・支援センターについて
16	5月8日	東京都 中野区	立憲・国民・ネット・ 無所属議員団	7人	江戸川区発達相談・支援センターについて
17	5月14日	青森県 青森市	議会運営委員会、 無所属	8人	江戸川区インターネット健全利用促進条例及び区議会議員による情報発信ガイドラインについて
18	5月15日	大阪府 摂津市	総務建設常任委員会	6人	河川氾濫時における広域避難計画について
19	5月15日	東京都 江東区	江東区議会維新・ 国民・共生クラブ	1人	江戸川区シルバー人材センターについて
20	5月29日	沖縄県 那覇市	公明党	1人	地域コミュニティ活性化事業について
21	7月3日	長野県 小諸市	市民福祉委員会	7人	ひきこもり支援について
22	7月8日	静岡県	ふじのくに県民クラブ	1人	AIによる危機管理について
23	7月9日	長野県 安曇野市	安曇野市議会	13人	DXの取り組み「メタバース区役所」について
24	7月23日	宮崎県 宮崎市	文教民生委員会	9人	児童相談所について
25	7月28日	愛知県 岡崎市	公明党	4人	アプリを活用した町会・自治会等と地域のボランティアのマッチング事業について
26	7月28日	愛知県 西尾市	公明党西尾市議団	2人	アプリを活用した町会・自治会等と地域のボランティアのマッチング事業について
27	7月30日	兵庫県 赤穂市	民生生活委員会	6人	ひきこもり支援推進事業について
28	8月6日	山形県 河北町	無所属	1人	公園の自己完結型トイレ及び自己処理型水洗トイレについて
29	8月21日	大阪府 大阪市	財政総務委員会	12人	メタバース区役所について

30	8月25日	福岡県 福岡市	公明党福岡市議団	1人	依存症対策について
31	8月26日	京都府 宇治市	総務常任委員会	7人	AIを活用した被害把握システムについて
32	10月28日	大阪府 松原市	福祉文教委員会	9人	江戸川区文化スポーツプラザについて
33	10月29日	愛知県 田原市	文教厚生委員会	9人	ひきこもり支援について
34	10月31日	埼玉県 さいたま市	公明党さいたま市 議会議員団	10人	雨水貯留施設の整備・東部 交通公園について
35	11月6日	沖縄県 豊見城市	教育民生常任委員 会	7人	ひきこもり支援事業について
36	11月12日	東京都 小平市	厚生委員会、 市議会公明党	8人	ひきこもり支援の取組につ いて
37	12月17日	東京都 中央区	中央区議会公明党	1人	「ひきこもりの状態にある人や その家族等へのサポート推 進条例」に沿った「ひきこも り」に対する施策推進につ いて
38	12月19日	福岡県 北九州市	北九州市議会公明 党議員団	6人	ひきこもり施策について
合 計				38件	207人

区 議 会 年 報

〔令和7年版〕

発行日 令和8年3月

発 行 江戸川区議会

編 集 江戸川区議会事務局

〒132-8501

江戸川区中央1-4-1

電 話 5662-6736

F A X 3674-5875